

昭和63年度

学校教育要覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 81-7354



1385155

目 次

◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点	1
◇ 学校教育指導の重点	2
◇ 東京都教育委員会の教育目標及び学校教育の課題と指導の重点	5
◇ 日野市教育委員会の学校訪問について	7
◇ 日野市教育委員会指導室の年間活動計画	9
◇ 日野市教育委員会指導室関係及び幼小中学校行事予定表	17
◇ 日野市教育相談室	29
◇ 日野市心身障害教育推進協議会	32
◇ 日野市立小学校科学教育センター	35
◇ 指導主事分担表	38
◇ 日野市教育委員会委嘱事業等担当校長・教頭	40
◇ 日野市教育委員会事務局組織	42
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧表	44
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧表	46
◇ 日野市立小・中学校主任（担当）一覧表	48
◇ 授業研究主題	52
◇ 都教育研究員等一覧	54
◇ 就学・進学状況の推移	55
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒の数	56
◇ 日野市産業大分類別就業者数	57
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	58
◇ 園児・児童・生徒・学級調べ	59
◇ 避難場所と地区割当表	61
◇ 日野市公立小中学校施設一覧	62
◇ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	
日野市立第一幼稚園	64
" 第二 "	65
" 第三 "	66
" 第四 "	67
" 第五 "	69
" 第六 "	70
" 第七 "	71
日野市立日野第一小学校	72
" 日野第二 "	75
" 日野第三 "	78
" 日野第四 "	81
" 日野第五 "	84
" 日野第六 "	87
" 潤 徳 "	90
" 平 山 "	93
" 日野第七 "	96
" 日野第八 "	99
" 百 草 台 "	102
日野市立滝合小学校	105
" 高幡台 "	108
" 南平 "	111
" 程久保 "	114
" 旭が丘 "	117
" 平山台 "	120
" 東光寺 "	122
" 三沢台 "	124
" 仲田 "	126
日野市立日野第一中学校	128
" 日野第二 "	130
" 七 生 "	132
" 日野第三 "	135
" 日野第四 "	138
" 三 沢 "	141
" 大 坂 上 "	144
" 平 山 "	147

昭和 63 年 度 日野市教育委員会の教育目標と重点

教 育 目 標

教育基本法に基づき、生涯教育をふまえ、社会の変化に対し主体的に判断し、行動できる市民の育成を目指し、次のことを目標にして日野市の教育・文化の向上を図る。

1. 豊かな心、いきいきとした知識、健やかな体をやしなうとともに、社会人としての徳性を培い、広く国際社会に生きる市民の育成に努める。
2. 各自のもつ個性と創造性を伸ばし、人間尊重の精神を身につけ、互いに励まし協力する態度を育てる。
3. 家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携のもと、青少年の健全な育成を進めるとともに、地域の自然、文化を大切にする郷土愛を育てる。

重 点

教育目標を達成するために、次のことを重点とする。

1. 学校教育の内容・指導の充実に努め、幼児・児童・生徒に自ら学ぶ力をつけ、一人一人の個性や能力の伸長を図り、保護者の期待に応える教育を推進する。
2. 教育施設・設備の充実に努め、その有効な活用・保全を図り、市民への開放を推進する。
3. 家庭教育及び公民館活動の充実・スポーツ活動における指導体制の充実に努め、生涯に立脚した社会教育を推進する。
4. 図書館における資料の充実に努め、市民の多様な要求に応じられる図書館活動を推進する。

昭和63年度 学校教育指導の重点

日野市教育委員会の教育目標を達成するため、次のことを重点にし、学校教育の充実・向上を図る。

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

また、国際的視野をもち、わが国と諸外国との生活や文化の違いを理解させ、これを尊重する態度の育成に努め、世界の平和に貢献できる市民を育成することが重要である。

さらに、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることによって地域の理解と地域社会の一員としての連帯感を養い、家庭・地域・関係諸機関との連携を一層深め、地域に根ざした学校教育の推進に努めることが大切である。

(指導の重点)

○ 学習指導の改善・充実

児童・生徒が、ゆとりある充実した学校生活を送るためには、一人一人の個性や能力に応じた指導を徹底することが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせるとともに、柔軟な思考力と豊かな創造力を育て、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

- (1) 学校の創意を生かした教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 児童・生徒の学習過程に視点を置いた授業研究を行う。
- (3) 学習指導の改善を図るため、教育評価についての実践的な研究を行う。
- (4) 全教育活動を通じて自主性を養うとともに、好ましい人間関係の育成に努める。
- (5) 地域に根ざした教育活動を創意工夫し、実践するように努める。

○ 生活指導・進路指導の充実

人間性豊かな児童・生徒を育成するためには、個性を伸長し、社会の一員としての自覚と徳性を培い、自己実現を図る能力と態度を身につけさせることが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて一人一人の児童・生徒の理解を深め、全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

- (1) 児童・生徒理解を深め、基本的生活習慣の確立を図る。
- (2) 家庭・地域・関係諸機関との連携を深めるとともに、全教職員の共通理解に基づき、児童・生徒

の実態や発達段階に応じた生活指導を行う。

- (3) 学級経営の充実に努め、好ましい学級集団の形成を図るとともに、一人一人に応じた指導の徹底を図る。
- (4) 教育相談活動の充実に図り、積極的に児童・生徒を援助し、問題行動の未然防止に努める。
- (5) 一人一人の能力や適性を正しく把握し、それぞれが将来に対する目的意識を確立し、意欲的に学校生活を送れるように進路指導に努める。

○ 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく学校生活を送るためには、児童・生徒の心と体の健康づくりが大切である。

各学校においては、次の点に重点をおいて教育活動全体を通して健康・安全の指導と管理の徹底を図ることが大切である。

- (1) 自ら進んで健康の増進や体力の向上を図る態度や能力を養う。
- (2) 自ら自己の生命・安全を守る態度を養う。
- (3) 安全指導や安全管理を徹底し、学校内外の事故防止に努める。

○ 心身障害教育の充実

心身に障害をもつ児童・生徒一人一人の能力・適性を十分伸長するためには、教育環境の整備充実に図るとともに、教育内容・方法の改善・充実に努めることが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて心身障害教育の充実に図るとともに、心身障害者への理解を深めることが大切である。

- (1) 心身障害教育について、全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と教育内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に応じた交流教育の推進に努める。
- (3) 家庭・医療機関及び、関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実させる。

※ 学校を、園・学校に、児童・生徒を、幼児・児童・生徒に読み代える

○ 幼児教育の充実

幼児期は心身の発達が著しく、人格を形成する上で重要な時期である。各幼稚園においては、幼児の発達課題を適切にとらえ、次の点に重点をおいて教育活動の充実に努めることが大切である。

- (1) 幼児の生活実態や心身の発達に基づき、指導計画と指導法の改善に努める。
- (2) 基本的生活習慣を身につけ、正しい社会的態度を育成し、豊かな情操を養うように努める。
- (3) 地域の特性を生かし、教育活動を充実する。
- (4) 小学校や関係諸機関、保護者との連携を図り、幼児の健全な育成に努める。

昭和 63 年度東京都教育委員会の教育目標

東京都教育委員会は、人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな都民の育性を目指し、都民が生涯を通じて主体的に学ぶことのできる学習社会の実現を図り、もって、普遍的で個性豊かな文化の創造・発展と豊かな社会の形成に貢献することを期して、次のことを基本的な視点に置き教育を推進する。

1. 高齢化、情報化、国際化など社会の変化に伴う学習需要の増大に対応し、家庭教育、学校教育、社会教育を充実し、相互の緊密な連携を図り、都民の生涯にわたる教育を推進する。
2. 学校教育においては、自他の生命を尊び、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、社会連帯意識をもち、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる都民の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。
3. 社会教育においては、多様な教育機関と連携し、都民が、生涯を通じ、自らの課題に即して、あらゆる機会、あらゆる場を利用し、生活上、職業上の資質を高め、文化的教養を深め、スポーツに親しむことのできる生涯教育を推進する。

学校教育の課題と指導の重点

東京都教育委員会は、先の教育目標を達成するため、学校教育において推進すべき課題を明らかにし、そのために必要な、日常的教育における指導の重点を設定する。

各学校においては、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導体制を整備し、学校経営に創意工夫をこらして、学校教育の一層の充実、向上に努めることが大切である。

（学校教育の課題）

○ 人権尊重の教育の推進

日本国憲法の精神に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、人権尊重の精神を培い、一人一人の児童・生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る同和教育の推進に努める必要がある。

心身に障害をもつ児童・生徒については、その障害の種類や程度に応じて、一人一人の能力、適性が十分伸長されるような教育活動を行う必要がある。また、障害をもつ人に対する理解を深めるとともに連帯感の育成に努めることが大切である。

さらに、人種、民族、性別等を異にすることによって、児童・生徒の人権が損なわれることのないよう十分配慮することが大切である。

○ 地域に根ざした教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するためには、地域の人々や自然、文化との接触の機会を通して、地域社会の一員としての自覚を促し、郷土を愛する心を培い、地域社会の形成者としての資質を養うよう努めることが重要である。

特に、各学校においては、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることにより、自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う必要がある。

また、学校のもつ教育機能や施設・設備を開放するとともに、家庭や地域社会の期待に適切に応えて学校経営の充実に努め、児童・生徒の社会活動への参加を一層促進することが大切である。

○ 国際理解教育の推進

常に国際的な視野をもち世界の平和と人類の幸福に貢献することのできる国民を育成するためには、

我が国の文化や伝統についての理解を一層深め、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養うことが重要である

特に、各学校においては、国際都市東京の実態に即し、国際的な交流の機会等を生かし、教育活動全体を通して、世界の人々の生活や個々の文化を理解させ、国際協力に果たす個人や国家の役割を正しく認識させる必要がある。

その際、我が国と諸外国との生活や文化などの違いを正しく把握させるとともに、これらを尊重する態度を育成するよう、創意工夫に努めることが大切である。

（指導の重点）

○ 学習指導の改善・充実

児童・生徒が、ゆとりのある充実した学校生活を送ることができるようにするためには、一人一人の個性や能力に応じた指導の徹底を図ることが重要である。

各学校においては、各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、新しい時代の進展に対応できるよう教育内容・方法の改善を図り、柔軟な思考力と豊かな創造力を育成し、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

特に、学習が遅れがちな児童・生徒や心身に障害をもつ児童・生徒に対しては、一人一人の実態に応じて能力、適性が十分伸長されるよう、指導の徹底に努めることが大切である。

○ 生活指導・進路指導の充実

人間性豊かな児童・生徒を育成するためには、個性を伸長し、社会の一員としての自覚を高め、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせることが重要である。

各学校においては、児童・生徒がいきいきと意欲的に学校生活を送ることができるよう、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、保護者の要望を十分把握するとともに、教育相談を重視するなど全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

その際、家庭、地域及び関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、これを未然に防止する指導の徹底に努め、児童・生徒の健全な育成を図ることが大切である。また、児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身に付けることができるよう、進路指導の改善・充実に努めることが大切である。

○ 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある生活を送ることができるようにするためには、児童・生徒の健康づくりに努めることが重要である。

各学校においては、教育活動全体を通して生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を徹底して、自ら進んで健康の保持増進や体力の向上を図る能力や態度を育てることが必要である。

特に、性にかかわる指導においては、人間の性に関する理解を十分深めさせ、成長過程における課題に適切に対応できるよう援助・指導することが大切である。

また、体育活動や日常生活における事故の防止に努めるとともに、交通や地震等による事故・災害に対して、児童・生徒の安全を確保することが大切である。

（注） 「児童・生徒」とは、幼児・児童・生徒・学生をいう。

日野市教育委員会の学校訪問について

1. 趣 旨

学校訪問は教育委員会の教育長・教育次長及び指導室長・各課の課長・指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通して、①学校の当面する教育指導上の諸問題への対応、②学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況の把握、③日野市の全般的な教育活動を把握して、教育行政の参考にするとともに、各校の教職員との協議懇談を行い相互の理解を深め、日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する。

(1) 市教委訪問A

2年間に一度、教育長、教育次長、指導室長、各課長及び指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容充実のため協議する。

①概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況 ④諸帳簿閲覧 ⑤協議・懇談等も含む。

尚、教育委員も時間のゆるす範囲で、教職員との協議に出席し懇談する。

(2) 市教委訪問B

年間にA訪問のない学校に、指導主事が訪問する。

①学級経営 ②教科・道徳・特活の指導 ③授業研究 ④生活指導等を含む。

(3) 要請訪問

各学校(園)の要請に応じ、指導主事が訪問し指導・助言する。

2. 昭和63年度市教委訪問日程

No.	幼稚園名	市教委訪問A	市教委訪問B
1	第一幼稚園		6月15日(水)(一般訪問)
2	第二幼稚園	11月8日(火)	
3	第三幼稚園		9月14日(水)
4	第四幼稚園	10月20日(水)	
5	第五幼稚園		12月12日(月)
6	第六幼稚園	11月22日(火)	
7	第七幼稚園		10月19日(水)(一般訪問)

No.	小学校名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一小学校		10月 5 日 (水) (一般訪問)
2	日野第二小学校	5 月 24 日 (火)	
3	日野第三小学校		1 月 25 日 (水) (一般訪問)
4	日野第四小学校	6 月 1 日 (水)	
5	日野第五小学校		10月 24 日 (水)
6	日野第六小学校		6 月 29 日 (水) (一般訪問)
7	潤 徳 小 学 校		11月 2 日 (水) (一般訪問)
8	平 山 小 学 校	10月 17 日 (月)	
9	日野第七小学校		11月 30 日 (水) (一般訪問)
10	日野第八小学校		12月 6 日 (火)
11	百草台小学校		10月 12 日 (水)
12	滝 合 小 学 校	2 月 3 日 (金)	
13	高 幡 台 小 学 校	11月 29 日 (火)	
14	南 平 小 学 校	1 月 31 日 (火)	
15	程久保小学校		12月 9 日 (金)
16	旭が丘小学校		2 月 1 日 (水) (一般訪問)
17	平山台小学校	6 月 28 日 (火)	
18	東光寺小学校		10月 5 日 (水) (一般訪問)
19	三沢台小学校	1 月 23 日 (月)	
20	仲 田 小 学 校	7 月 13 日 (水)	

No.	中学校名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一中学校	5 月 31 日 (火)	
2	日野第二中学校	10月 3 日 (月)	
3	七 生 中 学 校		6 月 29 日 (水) (一般訪問)
4	日野第三中学校	10月 7 日 (金)	
5	日野第四中学校	2 月 10 日 (金)	
6	三 沢 中 学 校		6 月 22 日 (水) (一般訪問)
7	大坂上中学校	11月 16 日 (水)	
8	平 山 中 学 校		6 月 23 日 (木)

昭和62年度日野市教育委員会指導室年間活動計画

A 一般研修

名 称	ね ら い ・ 方 針	回	内 容 ・ 方 法	対 象
学 校 経 営 研 修	市立幼稚園、小・中学校の運営に当たる教職員を対象に学校(園)の管理・運営のあり方を求め、学校経営や教育課題について研修する。 (原田・奈尾)	1	・新教育課程の動向 ・学校経営 (これからの教育と管理職のあり方) ・教育目標の具現化を図る工夫 ・国際理解教育 ・学校教育の課題とその対応	校長・教頭・教諭
		2		
		3		
		4		
		5		
教 育 課 程 研 修	教育課程の充実・改善、学習指導の計画立案のポイント等について研修し学校の教育計画の参考に供する。 (原田・奈尾)	1	・特別活動の理念と方法(1) ・特別活動の理念と方法(2) ・道徳的实践力の育成 ・学校裁量の時間の運営(1) ・学校裁量の時間の運営(2)	教務主任・担当教諭
		2		
		3		
		4		
		5		
中 堅 教 諭 ・ 六 年 次 教 諭 研 修	児童・生徒理解にたった個性・能力の伸長をめざす学習の個別化のはかり方、学習活動の多様化をはかる指導法のあり方等について研修し、授業を通して実証をはかる。 (原田・奈尾)	1	・新しい教育の理念 ・学習指導法の改善(1) ・学習指導法の改善(2) ・学習指導法の改善(3) ・性教育の方法(1) ・心身障害教育(1) ・性教育の方法(2) ・心身障害教育(2) ・道徳的实践力の育成 ・学習指導法の改善	教 諭
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		

名 称	ね ら い ・ 方 針	回	内 容 ・ 方 法	対 象
		10		教
		11		論
		12		
教 育 課 題 研 修	教育の本質と現代の教育的課題をとらえ、未来への展望にたった教育活動をすすめるために、当面する教育課題についての理解をふかめ、指導法について研修する。 (原田・奈尾)	1	・ 東京都の教育課題 ・ 男女平等教育(1) ・ 消費者教育(1) ・ 人権尊重教育 (1) ・ 国際理解教育(1) ・ 男女平等教育(2) ・ 消費者教育(2) ・ 人権尊重教育(2) ・ 国際理解教育(2) ・ 生涯教育	教 論
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
教 育 相 談 研 修	教育相談の理念について研修し、問題行動をおこす子どもの理解、事例研究を通し児童・生徒理解の方法・その対応の方法について研修する。 (奈尾・原田)	1	・ カウンセリングマインド ・ 問題行動をおこす子どもの理解 ・ 「学校ぎらい」と教育相談 ・ 教育相談の技法 ・ 事例研究 ・ 事例研究	教 諭 ・ 担 当 教 諭
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		

名 称	ね ら い ・ 方 針	回	内 容 ・ 方 法	対 象
幼 児 教 育	幼児の心理発達を的確にとらえるとともに、望ましい幼児教育の充実を図る。 （原田・奈尾）	1	・ 幼児と遊び ・ 基本的生活習慣の形成 ・ 環境と子どもの生活	幼稚園教諭
		2		
		3		
新 規 採 用 教 諭 研 修	教員の職責の重要性を認識した上で各学校の教育目標にそって一人一人の児童生徒の能力・特性を十分に伸ばす学習指導・生活指導・学級経営ができるように講義・授業研究を行い教職の専門性を高める。 （奈尾・原田）	1	・ 教職員の服務 ・ 地域理解 ・ 学級経営と生活指導 ・ 個性を生かす学習 ・ 指導計画の作成 ・ 教育機器の活用 ・ 評価・評定 ・ 実践報告 ・ 現地研修 ・ 生活指導の方法 ・ 教育課題 （国際理解教育の推進） ・ 授業研究 ・ 実践報告 ・ 現地研修 ・ 年度末の学級事務 ・ 指導要録の作成	新 規 採 用 教 諭
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
実 技 研 修	水 泳 実 技 指 導	1	・ 低、中学年の指導 ・ 救急法	教 諭
	陶 芸 実 技	1	・ 陶芸の基礎技法 ・ 実習	教 諭
		2		
	体 育 実 技 （ ダ ン ス ）	1	・ 表現・模倣の指導 ・ 運動会表現指導	教 諭
		2		
	書 写 実 技 指 導	1	・ 運筆の指導法 ・ かな文字の指導法	教 諭
		2		

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務 泊 研 修 主 任 会	児童・生徒の実態と地域に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地域を参観したり、情報交換等とおしての資質を高める。 (原田)	- 教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導・学級指導を実践している学校を参観し、自校の教育課程編成に生かす。 - 研究協議	未 定	教務主任
生活 指導 主 任 会	児童・生徒の実態を把握し生活指導の確立を図るため他地域を参観し情報交換をとおして生活指導主任の資質を高める。 (奈尾)	- 他校訪問－参観校の生活指導組織とその実践を見学し自校の指導に生かす。 - 研究協議	未 定	生活指導主任
保 健 主 任 会	学校保健の組織的活動を行い積極的に成果をあげている学校を参観し自校の実践化に役立てる。 (奈尾・原田)	- 学校教育の中における保健委員会の有機的な機能の実践を参観、協議する。 - 保健主任と養護教諭の職務分掌の具体的事例を中心に意見交換	未 定	保健主任
進路 指導 主 任 会	全校的な指導体制の強化・充実を図るため、他地域を参観し情報交換をとおして進路指導主任の資質を高める。 (原田)	- 他校訪問 参観校の進路指導の指導計画並びに組織とその実践を見学し自校の指導に生かす。 - 研究協議	未 定	進路指導主任
新 任 教 諭 研 修 会	一学期の教職経験を話し合い指導上の課題を協力して解決し教職の専門性を高める。 (奈尾・原田)	- 講話「児童・生徒理解の方法と生活指導」 - 研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」 - 自然観察の指導 「動物・植物・星・川」	未 定	新規採用教諭

C 主任会・委員会等

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任会	教務主任の立場から円滑な学校運営のあり方を研修すると共に当面する教育課題について研究協議し自校の教育活動の改善・充実に役立てる。 (原田・奈尾)	○教務主任の職務について研修する。 ○円滑な学校運営を図る教務主任のあり方について。 ○当面する教育課題について情報を交換し、実践に役立てる。	市役所 又は 学校	教務主任
生活指導主任会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため情報交換と研修を進める。 (奈尾・原田)	○生活指導上の臨床的対策にとどまらず学校生活に喜びを感じ、自身の能力を十分に伸ばせるような生活指導のあり方をめざして、研究を進める。	市役所 又は 学校	生活指導主任
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実を図る。 (奈尾・原田)	○先生と生徒、生徒間の人間関係のあり方を研究し学校生活に生きがいを感じるような生活指導の確立をはかる。	市役所 又は 学校	中学校生活指導主任

名 称	ね ら い ・ 方 斜	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
保 健 主 任 会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育のあり方を研究し、健康・安全教育の推進について研修を進める。 (奈尾・原田)	○学校保健のあり方について研修を深める。 ○学校における保健指導の実態のもとに情報を交換し、望ましいあり方について研究する。 ○分科会研究 ○研究発表	市役所 又は 学 校	保 健 主 任
進 路 指 導 主 任 会	中学校の進路指導の基本的なあり方について研修するとともに、進路情報を交換する。 (原田・奈尾)	○全校的な指導体制を確立し、進路指導の充実をはかる方法を研究する。 ○各校の進路指導上の問題点の整理と検討。 ・進路指導の全体計画 ・各学年の指導の重点 ・進路指導を推進するための組織運営 ・指導資料	市役所	進 路 指 導 主 任
改 訂 委 員 会 社 会 科 副 読 本	小学校社会科副読本「わたしたちの日野」、中学校社会科副読本「のびゆく日野」の改訂を行う。 (原田・奈尾)	○学習指導要領の改訂にそって日野市小中学校社会科副読本の部分改訂を行う。	市役所	委 員
学 連 校 協 保 議 健 会	心身共に健康で明るい児童・生徒の育成のため、健康・安全に係る諸業務の運営について連絡協議する。 (奈尾・原田)	○保健業務に係る連絡調整 ○健康・安全に関する情報交換 ○健康・安全のための教育指導に関する研修 ○研究発表	市役所 又は 中 央 公 民 館	養 護 教 諭

名 称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
就学相談委員会	心身に障害のある幼児・児童・生徒の障害及び発達に応じて適切な教育措置を行う。 (奈尾・原田)	○東京都教育委員会、教育相談所及び児童相談所等と連絡をとりながら就学に関する継続相談を行う。 ○障害児の立場に立って適切な教育を行うため、各種専門家による就学相談を行う。	第 三 幼稚園	就学指導相談員
授業研究委託	幼児・児童・生徒の実態に応じて個々の能力を伸ばす指導法の改善のため授業研究を行う。 (奈尾・原田)	○各小・中学校に授業研究委託費 15 万円支給。 ○年度末に授業記録（3 事例）を提出する。 ○研究授業を日野市内校に公開する。		小・中学校
教育ケース会議	事例研究を通して、望ましい教育相談技術等を探る。 (奈尾・原田)	事例研究	市役所	教育相談員
体育委員会	児童の健康・運動能力の実態を把握し、その増進を図るための具体的方策を考え、学校教育活動全体を通じた体育指導の実践化と生活化を図る。 (奈尾・原田)	○体位・体力向上のための学校教育活動全体の検討に関すること。 ○体育科の教科指道充実のための研究・研修に関すること。 ○「体力づくりの日」の効果的実践のための検討に関すること。	市役所 又は 学 校	体育主任
教材作成委員会 教育課程編成委員会	道德教育の推進にかかわる資料の編成及び教育内容の充実を図るための資料を作成する。 (原田・奈尾)	道德教育を推進するための資料を作成する。	市役所 又は 学 校	作成委員
「まどべ」編集委員会	教育委員会と学校とを結ぶ機関紙を発行する。 (奈尾・原田)	「まどべ」の企画・原稿依頼、編集、校正を行う。	学 校	編集委員

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
音楽鑑賞委員会	音楽鑑賞教室で優れた音楽を鑑賞させることにより、情操を養い、正しい鑑賞マナーを身につけさせる。 (奈尾・原田)	音楽鑑賞教室の企画、連絡、調整を行い、運営する。	市役所 及び 現 地	運営委員
水泳記録委員会	水泳記録会で、児童・生徒が日ごろの学習の成果を競い、体力の向上を図るとともに、学校間の交流を図る。 (奈尾・原田)	水泳記録会の企画、連絡、調整を行い、運営する。	市役所 及び 現 地	運営委員
日光移動教室会	日光移動教室を連合で行うに際し、円滑な運営が行われるよう連絡、調整にあたる。 (奈尾・原田)	日光移動教室の企画、実地踏査、連絡、調整にあたり、運営する。	市役所 及び 現 地	運営委員
人権尊重委員会	人権尊重教育の推進の方法について検討し、学校における人権尊重教育のあり方について連絡協議する。 (原田・奈尾)	人権尊重教育の推進の方法について協議し、研修会の開催及び人権尊重教育推進校の成果の活用を図る。	市役所 及び 学 校	推進委員会
国際理解委員会	国際理解教育の推進の方法について研究、協議し、日野市の実態に応じた国際理解教育のあり方について連絡協議する。	帰国子女教育の推進の方法について協議し、本教育のあり方について、研究する。	市役所	推進委員会

昭和62年度 日野市教育委員会 指導室関係及び幼小中学校行事予定表

△午前、○午後、□全日
A = A訪問、B = B訪問
㊥ = 一般訪問

4月

日	曜	市	都
1	金	辞令伝達式	
2	土	△校長会(505・501)	
3	㊥		
4	月	□新規採用教諭研修会(501)	
5	火	春季休業日終	
6	水	△始業式 △小学校入学式	
7	木	△中学校入学式	○都市指導主事会二地区会(稲)
8	金		
9	土		
10	㊥		
11	月	○生活指導主任会(101) △幼稚園入園式	
12	火	○体育委員会(101)	
13	水		△学校訪問・協
14	木		□都市指導主事会
15	金	○保健主任会(505) ○進路指導主任会(505)	
16	土	△教頭会(505)	
17	㊥		
18	月	○授業改善委員会(504)	
19	火	○教育相談ケース会議	△体育・保健・給食担当指導主事連・協
20	水		△指導主事連絡協議会
21	木	○教務主任会(505) △園長会	大坂上修
22	金	○学校経営研修会 ○新規採用教諭研修会	
23	土		
24	㊥		
25	月	○中学校生活指導主任会(501) ○教育課程編成委員会(504)	△生活指導担当指導主事連・協
26	火	△人権尊重教育推進委員会(501) ○学校保健研修会(504)	
27	水	○国際理解推進委員会	△多摩地区指導主事連絡協議会
28	木	○就学相談委員会(504)	△都市指導主事会
29	金	(天皇誕生日)	
30	土		
13日 市教研			
18日 教育研究員総会 (21日)			

5月

日	曜	市	都
1	㊥		
2	月		△消費者教育推進委員会
3	㊦	(憲国記念日)	
4	㊦	(国民の休日)	
5	㊦	(子どもの日)	
6	金		
7	土		△都市指導主事会・二地区会(ハ)
8	㊥		
9	月	○生活指導主任会(505) ○教育課題研究会(504)	△同和教育指導推進委
10	火	△校長会(505・502) ○体育委員会(505)	
11	水	○市教研総会	
12	木	☐ 日光移動教室実踏	△都市指導主事会
13	金	☐ " ○進路指導主任会(502)	
14	土		
15	㊥		
16	月	△人権尊重推進委員会(502) ○授業改善委員会(504)	△生活指導・世話人会
17	火	△園長会 ☐ 生活指導主任宿泊研	○男女平等教育推進委
18	水	☐ A訪問(平山台) ☐ "	
19	木	○教務主任会(504)	☐ 区市指導主事研究会
20	金	△教頭会(505) ○保健主任会(505)	☐ 区市指導主事研究会
21	土		
22	㊥		
23	月	○教育課題研修会(504) ○教育課程研修会(505)	△心障担当指導主事連・協
24	火	☐ A訪問(二小)	○健全育成行政連絡会
25	水	○学校経営研(504)	
26	木		△都市指導主事会
27	金	○新規採用教諭研修会(504)	○多摩地区生活指導世話人会
28	土		
29	㊥		
30	月	○中学校生活指導主任会(502) ○教育課程編成委員会(504)	
31	火	☐ A訪問(一中)	
11日		小・中教研総会	

(23 日)

6月

日	曜	市	都
1	水	□A訪問(四小)	
2	木		△国際理解教育推進委 ○道徳教育指導助言者研究会
3	金	△校長会(505・502)	→△都市指導主事会・二地区会(町)
4	土		
5	日		
6	月	○生活指導主任会(505) ○教育課題研修会(504)	
7	火	○体育委員会(101)	
8	水		□一般訪問
9	木	○教務主任会(101)	
10	金	○教育課程研修会(101)	△幼稚園担当指導主事連・協
11	土		△都市指導主事会
12	日		
13	月		
14	火	○教育相談ケース会議 ○学校経営研修会(504)	○道徳教育指導助言者研究会
15	水	□B訪問(一幼)	□一般訪問(一幼)
16	木	○国際理解教育推進委員会 △園長会 ○授業改善委員会	△生活指導担当指導主事連・協
17	金	○進路指導主任会(101) ○新規採用教諭研修会	
18	土		
19	日		
20	月	□教務主任宿泊研修 △教頭会	
21	火	□ ”	
22	水	□B訪問(三沢中)	□一般訪問(三沢中)
23	木	□B訪問(平山中)	
24	金	○学校経営研修会(504) ○保健主任会(505)	
25	土		
26	日		
27	月	○中学校生活指導主任会(502) ○教育課程編成委員会(503)	
28	火		○道徳教育指導助言者研究会
29	水	□B訪問(六小・七生中)	□一般訪問(六小・七生中)
30	木		△都市指導主事会
8日		小中教研	
22日		市教研バレー大会(24日……中教研バレー大会)	

(26日)

7月

日	曜	市	都
1	金	△校長会 (505・502)	△指導主事連絡協議会 ○男女平等教育推進委員会
2	土		△都市指導主事会・二地区会 (日)
3	日		
4	月	○生活指導主任会 (101) ○教育課題研修会 (504)	日 I
5	火		光
6	水		移 II
7	木	△園長会	動 III
8	金	○教育課程研修会	教 IV
9	土		室
10	日		平
11	月	○中学校生活指導主任会 (502) ○教育課程編成委員会 (503)	山
12	火	○体育委員会 (505) ○授業改善委員会 (502)	中
13	水	△人権尊重教育推進委員会 (502) □A訪問 (仲田小)	移
14	木	△教頭会 (505) ○学校経営研修会 (504) ○教務主任会 (505)	
15	金	○進路指導主任会 (502) ○保健主任会 (505)	
16	土		△都市指導主事会
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木	夏季休業日始 □陶芸・書写実技研修会	
22	金	□ "	
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水	□新採研宿泊研修会	
28	木	□ "	
29	金	□ "	
30	土	□ "	
31	日		
6日 市教研			
13日 中教研			
(17日)			

8月

日	曜	市	都
1	月		
2	火	△人権尊重推進委員会(502)	
3	水		
4	木	△教育相談研修会(504) ○国際理解教育推進委員会(504)	
5	金	△教育相談研修会(504) ○授業改善委員会(504)	
6	土		
7	日		
8	月	△幼児教育研修会(504)	
9	火	△幼児教育研修会(504)	
10	水	△幼児教育研修会(504)	
11	木		
12	金		
13	土		
14	日		
15	月		
16	火		
17	水		
18	木		☐ 教育研究員宿泊研(小)
19	金		〃
20	土		☐ 〃
21	日		☐ 教育研究員宿泊研(中)
22	月	○体育実技(ダンス)研修会	〃
23	火	○体育実技(ダンス)研修会	
24	水		
25	木		
26	金	△教育相談研修会(504)	
27	土	△教育相談研修会(504)	
28	日		
29	月		☐ 都小体研
30	火		
31	水		

(0)

9月

日	曜	市	都
1	木	第二学期始業式 防災の日	
2	金	△校長会(505・507)	△学校訪問協議会
3	土		△都市指導主事会
4	日		
5	月	○中学校水泳記録会(中)	△都市指導主事会・二地区会(稲)
6	火	○小学校水泳記録会(川北)	○多摩地区指導主事連絡協議会
7	水	○小学校水泳記録会(川南)	
8	木	(予備日)	
9	金	(予備日)	
10	土		
11	日		
12	月	○生活指導主任会(505) ○教育課題研修会(新採研併)(101)	△指導要領趣旨徹底連絡会(小) △消費者教育推進委員会
13	火		
14	水	□B訪問(三幼)	
15	木	(敬老の日)	
16	金	○進路指導主任会(503)	△生活指導担当指導主事連絡協
17	土		△都市指導主事会
18	日		
19	月	△教頭会(505) ○保健主任会(505) ○授業改善委員会(504)	△同和教育指導推進委員会
20	火	○体育委員会(101) △園長会 ○教育相談研修会(504)	
21	水		
22	木	○教務主任会(505)	△男女平等教育推進委員会
23	金	(秋分の日)	
24	土		
25	日		
26	月	○中学校生活指導主任会(503) ○教育課程編成委員会(507)	△心障担当指導主事連絡会
27	火	○音楽鑑賞教室(中) ○学校経営研修会(504)	
28	水	□音楽鑑賞教室(中・小)	
29	木	□音楽鑑賞教室(小)	△幼稚園担当指導主事連絡会
30	金		△指導要領趣旨徹底連絡会(中)
小中教研 指導要領趣旨徹底連絡会 小12 中30			

指
管
I

指
管
外
研
II

(24日)

10月

日 曜	市	都
1 土	(都民の日)	△都市指導主事会二地区会(多)
2 ㊥		
3 月	□A訪問(二中)	
4 火	△校長会(505・503) ○教育課題研修会(504) ○生活指導主任会(505)	
5 水	□B訪問(一小・東光寺小)	□一般訪問(一小・東光寺小)
6 木		△国際理解教育推進委員会 □同和教育指導推進委員会
7 金	□A訪問(三中)	□ ○指導要領趣旨徹底説明会(幼)
8 土		
9 ㊥		
10 ㊥	(体育の日)	
11 火	○体育委員会(505)	△体育担当指導主事連絡協議会 ○指導要領趣旨徹底説明会(幼)
12 水	□B訪問(百草台小)	
13 木	○教務主任会(505)	△都市指導主事会 ○健全育成行政連絡会 ○指導要領趣旨徹底説明会(幼)
14 金	○保健主任会(505) △園長会 ○進路指導主任会(503)	△生活指導担当・世話人会
15 土	○就学相談委員会(504)	
16 ㊥		
17 月	□A訪問(平山小)	○国際理解教育シンポジウム
18 火	(体力つくりの日)	
19 水	□B訪問(七幼)	□一般訪問(七幼)
20 木	□A訪問(四幼)	○指導要領趣旨徹底説明会(小)
21 金	△教頭会(505) (体力つくりの日予備日)	○指導要領趣旨徹底説明会(小)
22 土	○就学相談委員会	
23 ㊥		
24 月	□A訪問(五小)	
25 火	△人権尊重教育推進委員会(503) ○授業改善委員会(504)	○多摩地区生活指導研究会
26 水	○総合体育実技研	
27 木	(予備日) ○教育相談ケース会議	△都市指導主事会
28 金	○新規採用教諭研修会(504)	
29 土		
30 ㊥		
31 月	○中学校生活指導主任会(503) ○教育課程編成委員会(504)	
26 日	総合体育実技研 指導要領趣旨徹底説明会(幼)7・11・13 (小)20・21 (24日)	

11 月

日	曜	市	都
1	火	△校長会(505・503) ○教育課程研修会(504)	
2	水	□B訪問(潤徳小)	□一般訪問(潤徳小)
3	㊦	(文化の日)	
4	金		
5	土		
6	㊥		
7	月	○生活指導主任会(505) ○教育課題研修会(504)	
8	火	□A訪問(二幼)	△都市指導主事会・二地区会(八)
9	水	(市教研)	
10	木		△保健・給食担当指導主事連絡会 ○指導要領趣旨徹底説明会(小)
11	金	○進路指導主任会(503)	○指導要領趣旨徹底説明会(小)
12	土		△都市指導主事会
13	㊥		
14	月	○国際理解教育推進委員会(503) ○学校保健研究会(504)	△心障担当指導主事連絡会 ○健全育成シンポジウム
15	火	○体育委員会(505) ○授業改善委員会(504)	
16	水	□A訪問(大坂上中)	
17	木	○教務主任会(505) △園長会	○指導要領趣旨徹底説明会(小・中)
18	金	△教頭会(505)	○多摩地区生活指導主任世話会
19	土		
20	㊥		
21	月		○男女平等教育推進委員会
22	火	□A訪問(六幼)	
23	㊦	(勤労感謝の日)	
24	木		△都市指導主事会
25	金	○新規採用教諭研修会(504) ○保健主任会(505)	
26	土	○就学相談委員会	
27	㊥		
28	月	○中学校生活指導主任会(507) ○教育課程編成委員会(504)	
29	火	□A訪問(高幡台小)	
30	水	□B訪問(七小)	□都一般訪問(七小)
9日 小中教研 指導要領趣旨徹底説明会(小) 10・11・17 (中) 17 (24日)			

12月

日	曜	市	都
1	木	△校長会(505・507) ○教育相談研修会(504)	
2	金		△指導主事連絡協議会
3	土	○就学相談委員仕(504)	△都市指導主事会・二地区会(町)
4	日		
5	月	○生活指導主任会(505) ○教育課題研修会(504)	
6	火	□B訪問(八小)	
7	水		
8	木	○教育相談ケース会議 ○授業改善委員会(504)	△都市指導主事会
9	金	□B訪問(程久保小)	
10	土	○科学教育センター閉講式	
11	日		
12	月	□B訪問(五幼)	
13	火	△人権尊重教育推進委員会(503) ○体育委員会(505) ○学校経営研修会(504)	
14	水		
15	木	○教務主任会(505) △園長会 ○新規採用教諭研修会(504)	○指導要領趣旨徹底説明会(中)
16	金	△教頭会(505) ○進路指導主任会(503) ○保健主任会(505)	
17	土		
18	日		
19	月	○中学校生活指導主任会(503) ○教育課程編成委員会(504)	△生活指導担当指導主事連絡会
20	火		
21	水		
22	木		○都市指導主事会(日野) 505・501・502(全日)
23	金		
24	土	第二学期終業式	
25	日		
26	月	冬季休業日始	
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		
7日 小教研			
14日 中教研			
(21日)			

1 月

日	曜	市	都
1	㊥	(元 日)	
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		○都市指道主事会二地区会(多)
7	土	冬季休業日終	
8	㊥		
9	月	第三学期始業式	
10	火	△校長会(505・502) ○体育委員会(505)	
11	水		△教育課程届出説明会
12	木		
13	金	○生活指導主任会(505) ○教育課題研修会(504)	△消費者教育推進委員会
14	土		△都市指導主事会
15	㊥	(成人の日)	
16	㊥	(振替休日)	
17	火		
18	水		
19	木	○教務主任会 ○保健主任会	△都市指導主事会
20	金	△教頭会(505) ○進路指導主任会(507)	△生活指導担当指導主事連絡会 ○男女平等教育推進委員会
21	土		
22	㊥		
23	月	□A訪問(三沢台小)	
24	火	○授業改善委員会(507)	△多摩地区指導主事連絡会
25	水	□B訪問(三小)	□一般訪問(三小)
26	木	○国際理解教育推進委員会(507) △園長会	△心障担当指導主事連絡会
27	金	□新規採用教諭研修会(101)(宿泊)	△同和教育指導推進委員会 ○多摩地区生活指導研究協議会
28	土	□ "	
29	㊥		
30	月	○中学校生活指導主任会(503) ○教育課程編成委員会(507)	
31	火	□A訪問(南平小)	
18 日		市教研	(19 日)

七
生
中
移

(23 日)

3月

日	曜	市	都
1	水	校長会 (505・501)	
2	木	△園長会 ○教育課程研修会	△同和教育指導推進委員会
3	金		
4	土		△都市指導主事会
5	日		
6	月	○生活指導主任会 (505) ○国際理解教育推進委員会 (507)	△都市指導主事会二地区会 (稲)
7	火	○体育委員会 (505) ○学校経営研修会 (505)	
8	水		△生活指導担当世話人会
9	木	○教務主任会 (505) ○授業改善委員会 (507)	
10	金	△教頭会 (505) ○保健主任会 (505) ○進路指導主任会 (501)	△指導主事連絡協議会
11	土		
12	日		
13	月	○中学校生活指導主任会 (501) ○教育課程編成委員会 (507)	
14	火		
15	水		
16	木		△都市指導主事会
17	金	△幼・修了式	
18	土		
19	日		
20	月	△中・卒業式	
21	火	(春分の日)	
22	水		
23	木		
24	金	△小・修了式	
25	土	△小・卒業式 △中・修了式	
26	日	春季休業日始	
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		
1 日	市教研	(21 日) (計 243 日)	
8 日	中教研		

日 野 市 教 育 相 談 室

設置の趣旨

日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずる。
また、学校の行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動の促進と充実を図る。

○ 一般教育相談

幼児・児童・生徒の学習、性格、行動、性癖、進路適性等についての相談に応じ、治療や助言・援助を行う。

○ 心身障害教育相談

心身に障害をもつ幼児・児童・生徒についての相談に応じ、障害の種類や程度及び発達の状況の把握に努め、一人一人の能力を十分に伸長させるために就学相談及び教育措置に関する相談を行う。

○ 生活指導相談

幼児・児童・生徒の問題行動、非行等についての相談に応じ保護者、学校、関係者機関と協力し、指導、助言・援助を行う。

○ 電話相談

電話による相談に非常勤専任相談員が応じ、指導、助言、援助を行う。

構 成

相談室長 井 澤 祐 一（日野市教育委員会指導室長）

非常勤教育相談室

兼任教育相談員

河井 英子（教育委員会）	佐藤ヒサ子（日 野 一 小）	東 昌久（三 沢 台 小）
石黒 優子（教育委員会）	斉藤 弥生（日 野 五 小）	土方 久枝（仲 田 小）
御子柴万里子（教育委員会）	川原田和子（日 野 七 小）	宮尾 文子（日 野 一 中）
渡辺 満子（教育委員会）	西村 正裕（日 野 八 小）	平向 邦江（四 幼 園 長）
大島 昭子（教育委員会）	吉沢佐久子（南 平 小）	
	石原八重子（旭 が 丘 小）	

担当指導主事 原 田 修 一、 奈 尾 力

担当課長補佐 青 山 武

顧 問 石 島 徳太郎（精神医）

福 島 脩 美（東京学芸大学教授）

石 川 尚 子（日本女子体育大学教授）

運 営

保護者、又は幼稚園・小中学校を通じての申込により、下記日時に無料で相談に応じる。

- 場 所 教育委員会内 日野市教育相談室
- 申 込 み 先 教育委員会指導室内 日野市教育相談室
(TEL 0425-92-0505)
- 教育相談事務担当 大日向 均 (月～金 9:00～17:00)
土 9:00～12:15)
- 一般教育相談主任 河 井 英 子 (火・木 10:00～16:00)
相談は 13:00～16:00)
- 担当 石 黒 優 子 (火・木 10:00～16:00)
相談は 13:00～16:00)
- 心身障害教育相談主任 御子柴 万里子 (月・金 9:00～16:00)
- 担当 渡 辺 満 子 (月・水 9:00～16:00)
- 生活指導相談担当 大 島 昭 子 (月・水 9:00～16:00)
- 電 話 相 談 各 相 談 員 (月～金 9:00～16:00)

教育相談概要

主訴別件数

種 別	対 象 分 類	幼 児	小 学 生		中学生	高校生	その他	計
			1～3	4～6				
性 格 ・ 行 動 に 関 する もの	登 校 拒 否		1	3	9	2		15
	集団不適応 A（内気いじめ）	1	1		1			3
	集団不適応 B（授業態度悪 友人関係悪）					1		1
	落着きなし		1	2				3
	反 抗 的		1				1	2
	無 気 力				1	1	1	3
	家庭内暴力			1	1	1		3
	情緒不安定		1	2	1			4
精 神 ・ 身 体	ことば（吃音）	1						1
	緘 黙	1						1
	神経症同疑						1	1
知 能 ・ 学 業	精神発達遅滞	2	3	1	1			7
	学 業 不 振		2	1	3			6
進 路 ・ 適 性	転 校				1			1
	進路・進学				2	1		3
そ の 他	しつけ方		1					1
計		5	11	10	20	6	3	55

日野市心身障害教育推進協議会

目 的

この協議会は、日野市から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図るために、心身に障害のある児童・生徒に適切な教育を保障するための教育措置のあり方、教育条件の整備、指導内容・方法の改善に関する研究及び、一般職員の心身障害教育に対する意識・理解を深めるための研修等の諸事業を企画し実践することを目的とする。

事業の内容

この目的を達成するため、協議会会長校に事務局を置き協議会の運営にあたる。主な事業として、次のことを行う。

- (1) 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討
- (2) 心身障害児童及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成
- (3) 就学相談の充実と相談活動への協力と援助
- (4) 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査
- (5) 学校における相談組織と機能の充実

組 織

- (1) この会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、指導室長、指導主事、課長補佐 日野市立心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、幼小中学校(園)の各校1名以上の教員、教育相談室専任相談員、顧問医

- (2) この会には、次の専門部を置き、それぞれの活動を行う。

- | | |
|-------|---|
| ア 研究部 | 教育措置者の学校への適応状況と発達状況の追跡調査
学校における相談組織と機能の充実を図る研究 |
| イ 研修部 | 心身障害児及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成に関する研究 |
| ウ 相談部 | 就学相談の充実と相談活動への協力と援助 |

研究委託

今年度は、日野市教育委員会から別紙の内容についての研究を委託されている。

日野市中心身障害教育推進協議会

会長 内 藤 康 様

日野市教育委員会

教育長 長 沢 三 郎

(公 印)

昭和 63 年度日野市中心身障害教育推進協議会への事業委託について

日野市教育委員会は、心身障害教育の充実を期すために、心身障害教育に関する教育条件の整備、指導内容・方法の検討、教育措置のありかた等の調査研究および実践活動の諸事業を日野市中心身障害教育推進協議会へ委託する。

記

1. 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討

日野市には、精神薄弱学級（小・中） 情緒障害学級（小） 病弱学級（小） 訪問学級（中）が設置されている。

各学校は、学校間及び都立養護学校と緊密に連携を保ちながら心身障害児の教育措置を行っている。現状をふまえ心身障害教育における課題や改善の方策を検討し、日野市としての心身障害教育をどのようにしていくことが望ましいか、難聴言語障害学級等の設置についての基本構想について調査研究を願いたい。

2. 心身障害教育の理解に関する啓蒙資料の作成及び交流教育の推進

日野市では、国際障害者年の行動計画として、昭和57年2月「日野市の心身障害教育」を作成し、心身障害教育の啓蒙に努めてきた。

心身障害児の教育には、障害の状況を医学及び教育の分野から詳細に把握し障害をのり超えていく手だてをきめ細かく講ずることが大切である。心身障害教育を推進していくための具体的な活動を研究するとともに、障害の有無を超えてともに生き、社会参加のできる地域造りをすすめることがたいせつである。

そのためには、全ての児童・生徒及び保護者に対して、心身障害児及び心身障害教育に対する理解を深めていくことである。そこで、啓蒙資料を人権尊重の視点に立って作成すること及び特殊学級併

設校以外との交流教育の推進についてご検討願いたい。

3. 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

就学相談委員会の組織は、医師、心理学者、心身障害教育関係者、心身障害学級設置校校長及び教諭、教育相談員等の委員により組織されている。

そこで、就学相談活動の望ましい方法及び相談者の専門的力量を高めるための研修を推進するとともに、きめ細かな相談活動が継続的に行われるように相談活動への協力と援助を願いたい。

4. 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査

就学相談の結果に基づいて教育措置を決定した後、その児童・生徒が学校や学級にどのように適応しているか。また、期待する教育効果が得られているか。学校及び学級担任に悩みや問題がないか等、継続的に追跡調査することが大切である。

そこで、日野市公立学校及び都立養護学校等の義務教育機関に在学している心身障害児の適応状況や発達状況を追跡調査し、その実態を十分捉えたうえで、今後の教育問題に関する相談の充実に資する資料を作成願いたい。

5. 学校における相談組織と機能の充実

各学校では、心身障害児への相談や心身障害児を担当している教師への援助や協力の体制を整えておくことが大切である。

そこで、各学校における心身障害児の教育相談のありかた、担任教師への協力のありかた等について調査・研究するとともに、校内での教育相談充実のための資料の作成をすることや、教職員の研修のありかた等の研究について協力を願いたい。

日野市立小学校科学教育センター

1. 名称・所在

日野市立小学校科学教育センターと称し、昭和 63 年度は、北部センターは日野市立 仲田小学校に、南部センターは日野市立平山小学校の校内に設置する。

2. 設立の趣旨

日野市立小学校における科学教育の振興をはかるために設置し、日野市の教員の理科指導の充実向上のための研修と児童の科学的態度・能力・技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3. センター長・センター次長・指導員

南部センター		学校名	電 話	北部センター		学校名	電 話
センター長	蓮池 守一	平 山 小	91-4123	センター長	岩下 和夫	仲 田 小	81-8511
次 長	土方 邦男	"	"	次 長	小林 繁人	"	"
主 任	澁谷 義一	"	"	主 任	松日楽敬治	"	"
指 導 員	中村 大	潤 徳 小	91-0409	指 導 員	秋山 憲一	一 小	81-0073
"	山口 恵久	"	"	"	鈴木 則子	"	"
"	平良 格	平 山 小	91-4123	"	澁谷 一彦	二 小	81-0076
"	加藤 和俊	"	"	"	山口 正夫	"	"
"	長沼 正幸	八 小	91-2411	"	矢野百合子	三 小	81-0101
"	星野 正治	百草台小	91-0997	"	白石きよみ	"	"
"	石川 成子	滝 合 小	83-5172	"	豊田 光	四 小	81-0038
"	塚本 純子	高幡台小	91-7011	"	茅野とめ子	五 小	81-0407
"	吉川 郁子	南 平 小	92-2021	"	武守 保幸	六 小	81-0366
"	太田由紀夫	"	"	"	落合 幸子	七 小	83-3907
"	近藤 裕治	程久保小	92-5014	"	荒川 知	旭が丘小	83-3733
"	加藤 タイ	平山台小	92-6381	"	小林むつみ	東光寺小	84-6200
"	森田 弘文	"	"	"	雨宮 充	仲 田 小	81-8511
"	鶴間 純子	三沢台小	93-2351	"	小俣三佳子	"	"
"	青山真紀子	"	"	"	土方 久枝	"	"
				"	吉田 健	"	"

4. センター員

校 名	南 部 セ ン タ ー											北 部 セ ン タ ー											合 計
	潤徳小	平山小	八小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小	程久保小	平山台小	三沢台小	小計	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小	七 小	旭が丘小	東光寺小	仲田小	小計	
男	3	1	2	0	3	6	3	3	0	0	21	2	2	3	2	2	3	1	2	4	0	21	42
女	0	5	1	2	0	1	0	1	0	2	12	1	0	0	0	1	2	2	0	0	4	10	22
計	3	6	3	2	3	7	3	4	0	2	33	3	2	3	2	3	5	3	2	4	4	31	64

5. 年間指導計画

南 部 科 学 セ ン タ ー

回数	月日(曜)時	指 導 内 容		指導員
1	5.14(土)14:00	開 講 式	・センター生の心構え ・新しい友だちとの交流をすすめる。	全員
2	5.21(土)14:00	第 1 単 元 日野の自然 を調べる 平山城址 付近	地層や植物のようすを調べ、自然への関心を高める。	☆森田 石川 鶴間 青山
3	5.23(土)14:00			
4	6. 4(土)14:00			
5	6.18(土)14:00	第 2 単 元 赤土を 調べる	富士山や箱根山の噴出物である赤土を調べ、 鉱物を知る。	☆吉川 太田 塚本
6	6.25(土)14:00			
7	7. 2(土)14:00			
8	9. 3(土)14:00	第 3 単 元 水溶液の 性質	砂糖水、塩水、アルコールなど透明な液体の 見分け方を知る。	☆加藤タ 近藤 石川
9	9.10(土)14:00			
10	9.17(土)14:00			
11	10.15(土)14:00	第 4 単 元 電流と発熱	電気の利用法を知る。	☆長沼 平良 加藤和
12	10.22(土)14:00			
13	10.29(土)14:00			
14	11. 5(土)14:00	第 5 単 元 モーター 作り	モーターを作り、回るしくみを考える。 (製作する喜びを知る。)	☆山口 星野 中村
15	11.12(土)14:00			
16	11.19(土)14:00			
17	12.10(土)14:00	閉 講 式	修了証をもらう 感想発表	全員

平山小当番：澁谷・平良(毎回) ☆印：指導責任者

北 部 科 学 セ ン タ ー

回数	月日(曜)時	指 導 内 容		指 導 員
1	5.14(土)14:00	開 講 式	活動内容を理解し研究への意欲を高める。 新しい友だちとの交流をすすめる。	全員
2	5.21(土)14:00	第 1 単 元 花 粉 調 べ	よく見ればこんなところにも、生命あるもの のすばらしいしくみがある。	☆澁谷 茅野 土方 松日楽
3	5.28(土)14:00			
4	6. 4(土)14:00			
5	6.11(土)14:00	第 2 単 元 水中の 微生物	自然の広がりも果てし無いが、ミクロの世界 にも限りなく新しい発見が見られる。	☆松日楽 山口 落合 小林 小俣
6	6.18(土)14:00			
7	6.25(土)14:00			
8	9. 3(土)14:00	第 3 単 元 水溶液の 性質	ものがとけると見えなくなる。でもなくなっ たわけではない。水はどう変わるのだろうか。	☆豊田 荒川 吉田 松日楽
9	9.10(土)14:00			
10	9.17(土)14:00			
11	10.15(土)14:00	第 4 単 元 ブラック ボックス	お医者さんは、さわったりたたいたり音を聞 いたりして体の中の病気を知る。あなたも未 知のブラックボックスに挑戦して下さい。	☆白石 矢野 小俣 松日楽
12	10.22(土)14:00			
13	10.29(土)14:00			
14	11. 5(土)14:00	第 5 単 元 電気の工作 (モーター 作り)	自分が苦勞して育てたり調べたり、作ったり したものが出来上がった時の喜びを味わって 下さい。	☆鈴木 秋山 雨宮 松日楽
15	11.19(土)14:00			
16	11.26(土)14:00			
17	12.10(土)14:00	閉 講 式	修了証をもらう ひとつのことをやり遂げた成成感、更に自 信と意欲を持たせてくれるでしょう。	全員

☆印：指導責任者

6. 連絡協議会

委 員 長	長 澤 三 郎	日野市教育委員会教育長	TEL 81-8511
南部センター長	蓮 池 守 一	日野市立平山小学校長	TEL 91-4123
次長	土 方 邦 男	” 教頭	” ”
主任	澁 谷 義 一	” 嘱託	” ”
北部センター長	岩 下 和 夫	日野市立仲田小学校長	TEL 81-8511
次長	小 林 繁 人	” 教頭	” ”
主任	松日楽 敬 治	” 嘱託	” ”
顧 問	井 澤 祐 一	日野市教育委員会指導室長	” ”
	原 田 修 一	” 指導主事	” ”
	奈 尾 力	” 指導主事	” ”

昭和63年度

指導主事分担表

日野市教育委員会

指導主事 原田 修 一

〃 奈 尾 力

1. 校種別分担

○幼稚園教育 — 奈尾

○小学校教育 — 原田

○中学校教育 — 奈尾

2. 教科・領域別分担

○国語(書写) — 奈尾

○社 会 — 原田

○算数・数学 — 奈尾

○理 科 — 原田

○音 楽 — 奈尾

○図工・美術 — 奈尾

○体育・保健体育 — 奈尾

○家庭・技術家庭 — 奈尾

○外国語 — 奈尾

○道 徳 — 原田

○生活指導 — 奈尾

○特別活動 — 奈尾

○学校行事等 — 奈尾

○学校経営 — 原田

○教育相談 — 原田

○心障教育 — 奈尾

○視聴覚教育 — 奈尾

○図書館教育 — 奈尾

○学校給食 — 奈尾

○保健教育 — 奈尾

○安全教育 — 原田

○同和教育 — 原田

○公害教育 — 原田

○進路指導 — 原田

○幼児教育 — 奈尾

○学校事務 — 奈尾

○心障相談 — 奈尾

○帰国子女教育 — 原田

○男女平等教育 — 原田

○消費者教育 — 奈尾

3. 施設・行事等分担

○教育相談室 — 原田

○心障学級 — 奈尾

○科学センター — 原田

○教科書センター — 原田

○文化行事 — 奈尾

○体育行事 — 奈尾

○修学旅行 — 奈尾

○移動教室 — 奈尾

○日野市めぐり — 原田

4. 指導事務分担

- 指導部・都研 — 原田
- 研究集録 — 奈尾
- 遠足・修学旅行 — 奈尾
届 出
- まどべ編集発行 — 奈尾
- 授業研究 — 原田
- 教育課程 — 奈尾
年間指導計画
- 文部省中央研修 — 原田

- 研究員教育 — 原田
開 発 委
- 学校訪問 — 原田
- 調査資料収集 — 原田
- 月行事予定 — 奈尾
- 都・研究奨励 — 原田
- 就学・措置替 — 奈尾
指 導

- 教育課程届出 — 奈尾
- 教材届出承認 — 奈尾
- 指導要領 — 奈尾
- 教育実習 — 原田
- 社会科副読本 — 原田
- 教科書採択 — 原田
- 教育課程編集 — 原田
資料作成

5. 涉外分担

- 校長会 — 原田
- 生活指導主任会 — 奈尾
- 都市指導主事会 — 原田
- 心身障害教育 — 奈尾
推進協議会
- 国際理解教育 — 原田
推 進

- 教頭会 — 奈尾
- 保健主任会 — 奈尾
- 日野市教研 — 奈尾
- 体育委員会 — 奈尾
- 教育研究室 — 奈尾
教 資 料 室

- 教務主任会 — 原田
- 進路指導主任会 — 原田
- 第2地区 — 原田
指導主事会
- 人権尊重教育 — 原田
推進委員会

6. 研修等分担

- 学校経営研修会 — 原田
- 中堅教諭研修会 — 奈尾
六 年 次
- 幼児教育研修会 — 奈尾
- 事務職員研修会 — 奈尾

- 新規採用教諭 — 奈尾
研 修 会
- 実技研修会 — 奈尾
- 教育課程研修会 — 奈尾

- 教育課題研修会 — 原田
- 教育相談研修会 — 奈尾
- 学校保健研修会 — 奈尾

昭和63年度 日野市教育委員会委嘱事業等担当校長、教頭

(会(副)長、部長等)◎…長 ○…副

	名 称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
1	授 業 研 究 連 絡 協 議 会	◎清水 七郎 福地 保	○綿引 正己	小笠原久雄	野沢 昭兆
2	教 務 主 任 会	◎野村 武郎	○高木 広文	金田 義直	小高 辰雄
3	生 活 指 導 主 任 会	○福地 保	◎高橋 豊彦	富田 洋子	村田 志信
4	進 路 指 導 主 任 会		綿引 正己		佐藤 英洋
5	保 健 主 任 会	◎有泉 徹郎 石黒 健	大野 隆久	石川 耀子	
6	学 校 保 健 会	◎有泉 徹郎 石黒 健	大野 隆久	石川 耀子	
7	心身障害教育推進協議会	上山洋一郎 野村 武郎 ◎内藤 康	川崎 昭三 名塚 三雄	土方 邦男 秋山 憲一 鈴木利恵子	古屋 登吾
8	就 学 相 談 委 員 会	◎野村 武郎 上村洋一郎 内藤 康	川崎 昭三 名塚 三雄	土方 邦男 秋山 憲一 鈴木利恵子	
9	ま ど べ 編 集 委 員 会	◎飯沼 宏			
10	日 光 移 動 教 室	◎荒木 健治 小泉 宣夫 石黒 健 波多野 坦		渡辺 健一 片岡千寿子 酒井 義明 山下 法昭	
11	中 学 校 修 学 旅 行		川崎 昭三		
12	小 学 校 体 育 委 員 会	◎三浦 勝也 内藤 康		石川 耀子 信夫 清彦	
13	小 ・ 中 水 泳 記 録 会	三浦 勝也 ◎内藤 康	桑原 和正	増賀 従男 小笠原久雄	會田 武夫
14	科 学 教 育 セ ン タ ー	南蓮池 守一 比岩下 和夫		○土方 邦男 ○小林 繁人	
15	幼児教育センター運営審議会委員	蓮池 守一			
16	教育課程資料作成委員会	波多野 坦		酒井 義明	埴 健郎
17	情 報 公 開 対 策 委 員	蓮池 守一	桑原 和正	平山 毅	小高 辰雄
18	給 食 主 任 会	◎岩下 和夫 小幡 建	大野 隆久	西田 敦子	
19	学 校 給 食 会	◎岩下 和夫 小幡 建	大野 隆久	西田 敦子	

	名 称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
20	日 野 市 教 育 研 究 会	◎上山洋一郎 ○三浦 勝也	◎清水 春海	藤田 孝彦 信夫 清彦	古屋 登吾
21	小学校社会科副読本改訂委員会	◎山口 武彦 ○小泉 宣夫		香川 善平	
22	中学校社会科副読本改訂委員会		桑原 和正		佐藤 英洋
23	青少年健全育成（都校長会）	志村 桂次	高橋 豊彦		
24	音楽鑑賞教室運営委員会	◎小泉 宣夫	桑原 和正	渡辺 健一	村田 志信
25	日 野 市 環 境 緑 化 委 員	草刈 喜一			
26	公民館運営審議会委員	清水 七郎			
27	図書館運営審議会委員	志村 桂次			
28	社 会 教 育 委 員	石井 三士	高橋 豊彦		
29	青少年協議会委員（市委嘱）	石井 三士 福地 保	川崎 昭三 高橋 豊彦		
30	環境週間行事運営委員（都教委嘱）	荒木 健治	名塚 三雄		
31	市 P 協	蓮池 守一 山口 武彦 上山洋一郎	全 校 長 ◎高木 宏文		
32	書 初 展	清水 七郎	◎清水 春海		
33	小 体 連	内藤 康			
34	中 体 連		大野 隆久		
35	市教職日互助会副理事長	石井 三士			
36	人権尊重教育推進委員会	荒木 健治 草刈 喜一	◎名塚 三雄	秋山 憲一	北原 景昭
37	国際理解教育推進委員会	小泉 宣夫	◎綿引 正己	増賀 従男 馬場 武	野沢 昭兆
38	授 業 改 善 委 員 会	◎石井 三士 飯沼 宏		片岡千寿子 香川 善平	
39	教職員研究資料室運営委員	◎山口 武彦	名塚 三雄	富田 洋子	塙 健郎
40	福祉副読本委員会	◎清水 七郎	桑原 和正	小林 繁人 香川 善平 鈴木利恵子	北原 景昭
41	教育課程研究委員会（生活科） 道 徳	◎蓮池 守一 草刈 和志	高木 宏文	道德 江口 生活 西田	會田 武夫
42	学校体育施設開放運営協議会	内藤 康	大野 隆久	金田 義直 馬場 武	野沢 昭兆

日野市教育委員会事務局組織

教育委員会

委員長
村田 安正

職務代理
小松 恒夫

委員
長澤 三郎
岸 俊彦
田中キミ子

教育長 長澤 三郎 — 教育次長 砂川 雄一

庶務課長
山口 正夫

庶務係長
加藤 純久

教育委員会々議、規則、人事、予算、経理契約、文書管理に関すること。

施設係長
松坂 文雄

学校施設の計画及び営繕・修繕に関すること。

学務課長
谷 正幸

学務係長
奥住 征功

学級の編成及び割当、通学区域、教材、教具の整備、市立幼稚園に関すること。

保健給食係長
(課長補佐取扱)

教職員、児童生徒の保健管理、学校の環境衛生、学校給食、安全会に関すること。

課長補佐
平 弘行

指導室長
井澤 祐一

指導係長
(課長補佐取扱)

教育課程の整備改善、学校教育指導、教職員の研修、教育相談、教職員研究資料室に関すること。

教職員係長
栗原 莞次

教職員の人事、給与、福利厚生、公務災害に関すること。

課長補佐
青山 武

社会教育課長
田窪 鎮夫

社会教育係長
馬場 時司

社会教育の総合計画、社会教育団体の指導育成、芸術、文化の振興に関すること。

課長補佐
高橋 渉

文化財係長
永野 安秀

文化財の調査、保護に関すること。

主 査
藤井 和夫

体育課長
 高野 英男
 課長補佐
 比留間義武

体育係長
 田中 豪

南平体育館主査
 (課長補佐取扱)

社会体育事業及び市民プール等の管理、運営、学校開放、体育、レクリエーション団体の育成に関すること。

市立図書館長
 斉藤 隆夫

副館長
 尚 英明

奉仕係長
 尚 英明

庶務整理係長
 渡辺 盛彦

業務係長
 (館事務取扱)

主査
 若林 康子

図書館奉仕網の整備、分館の運営、奉仕計画及び蔵書構成の調整に関すること。

文書管理、人事、予算、物品及び施設管理に関すること。
 図書館運営の調査研究及び企画、資料選択、貸出、レファレンスに関すること。

中央公民館長
 朝倉 敏夫

管理係

指導係

予算、文書管理、施設の維持管理、物品の保管、施設の利用に関すること。

公民館活動の企画運営、成人、青年、婦人教育関係行事の実施に関すること。

幼児教育センター長
 課長補佐
 小沢 春童

重松 鷹泰

庶務係

研究相談係

予算、文書管理、施設の維持管理、物品の保管に関すること。

幼児教育センター活動の企画運営、関連事業行事、家庭教育通信講座の実施、幼児保育相談に関すること。

日野市公立学校・

学校名	校(園)長名	学級数	児童数 (生徒数)	教員 職数	電話	所在地	交通機関
第一幼稚園	高橋 千鶴子	四	一二〇	五	81 4124	多摩平四一三	中央線豊田駅下車、徒歩十分
第二幼稚園	坂口 嘉津子	三	七四	四	91 4125	平山四一五一四	京王線平山城址公園下車、徒歩十分
第三幼稚園	冲山 英代	三	七二	四	81 7127	日野本町二一四一	中央線日野駅下車、徒歩七分
第四幼稚園	梶村 和子	二	六一	三	83 3903	石田四三一六	高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北口
第五幼稚園	桜田 鈴子	二	六〇	三	92 0423	三沢一七三	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分
第六幼稚園	上野 美津枝	二	六二	三	92 6330	程久保八七六一二	高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下車
第七幼稚園	平向 邦江	四	一一五	五	86 3770	旭が丘二一四二	中央線豊田駅下車、徒歩十五分
第一小学校	山口 武彦	一八	五七七	二九	81 0073 0061	日野本町二一四一二	中央線日野駅下車、徒歩六分
第二小学校	荒木 健治	二二	八二四	二九	81 0070 0851	東豊田二一四一一	京王線南平駅下車、徒歩十五分 中央線豊田駅下車、徒歩十分
第三小学校	内藤 康	一八 (三〇)	五九〇 (一〇〇)	三二	81 0101 0850	日野台二一一一	京王バス日野自動車前下車、徒歩七分 中央線日野駅下車、徒歩十五分
第四小学校	波多野 坦	一七	五四九	二五	81 0038 3076	石田四三〇	立川駅北口・高幡不動駅より京王バス四小前下車、二分 日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分
第五小学校	上山 洋一郎	二〇 (二〇)	七三六	三〇	81 0407 0445	多摩平六一二一一	中央線日野駅下車バス日野自動車前下車 中央線豊田駅又は日野駅下車、バス日野五小前下車
第六小学校	清水 七郎	一八	六五二	二六	81 0366 4686	多摩平三一二二	京王バス小西六裏門下車、徒歩三分 中央線豊田駅下車、徒歩十二分
潤徳小学校	石黒 健	一三	四四〇	二〇	91 0409 0410	高幡四〇三	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分
平山小学校	蓮池 守一	一七	五九〇	二五	91 4123 0512	平山四一八一六	京王線平山城址公園駅下車、徒歩八分
第七小学校	小幡 建	一八	六八四	二五	83 3907 3908	神明三一二	中央線日野駅下車、徒歩十五分
第八小学校	草苅 和志	一八	五九三	二六	91 2411 2412	三沢二〇〇	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分

幼稚園一覽表

昭和 63 年 5 月 1 日現在

百草台小学校	滝合小学校	高幡台小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	仲田小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
草刈喜一	有泉徹郎	小泉宣夫	石井三士	三浦勝也	飯沼宏	野村武郎	志村桂次	福地保	岩下和夫	高橋豊彦	大野隆久	川崎昭三	清水春海	桑原和正	綿引正己	名塚三雄	高宏文
一八	二二	一六	一九	一四	二〇	二二	二二	一三	一二	二〇	二一	二二	二二	二二	二二	二二	一九
六一一	七七五	五三六	六二一	四四七	七五二	三五四	四〇〇	四三五	三三四	八〇六	八六四	七二三	九三四	八八七	九二九	九一四	八〇〇
二五	二九	二四	二七	二二	二八	二一	一八	二〇	一九	三七	三七	三三	四〇	三七	四二	四二	三四
91 0997 0998	83 5172 5173	91 7011 7012	92 2021 2022	92 5014 5015	83 3733 3748	92 6381 6382	94 6200 6201	93 2351 2352	81 8511 8512	81 0009 0261	81 0056 0262	91 0174 0175	91 2228 2229	83 3905 3906	92 5017 5018	83 9755 9756	93 3015 3016
百草九九九	西平山二一三一	程久保五五〇	南平四一八一	程久保五〇四一	旭が丘五二一一	平山二一一一	新町三一四一一	百草八九六一	日野本町六一七四	日野本町七一七七	多摩平四一五十三	南平六一七一	程久保六五〇	旭が丘二一四二	三沢二五	大坂上四一七	平山四一三一
高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下車 徒歩五分	京王線平山城址公園・長沼駅下車 徒歩十分	高幡台団地下車、徒歩五分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行バス	京王線南平駅下車、徒歩十二分	高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下車 徒歩二分	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車豊田方面、徒歩十三分	京王線百草駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車立川方面、徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地下車徒歩七分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅・平山城址公園駅下車、徒歩八分 中央線豊田駅下車、徒歩十八分

昭和63年 管理運営規則第八条に基づく主任一覧表

	学 校 名	学 校 長	教務主任	生活指導主任	保健主任	進路指導主任
1	日 野 一 小	山口 武彦	畑野 元一	長澤佳都子	中村 麗子	
2	日 野 二 小	荒木 健治	宮川征三郎	斉藤八重子	菊地 直子	
3	日 野 三 小	内藤 康	上田 憲二	原 俊行	馬場 延子	
4	日 野 四 小	波多野 坦	田森 脩詮	飯田 国代	神田久仁子	
5	日 野 五 小	上山洋一郎	和田 常雄	馬場 富男	本保 陽子	
6	日 野 六 小	清水 七郎	依田 逸夫	諏訪 英樹	金野 峰子	
7	潤 徳 小	石黒 健	中村 大	宇田川清和	反町麻佐子	
8	平 山 小	蓮池 守一	菊池 和子	石郷岡日出子	松尾けさ美	
9	日 野 七 小	小幡 建	小杉 博司	榎 圭子	高橋 智子	
10	日 野 八 小	草苅 和志	長沼 正幸	樋口江以子	石塚 晶子	
11	百 草 台 小	草刈 喜一	高橋 茂子	定森 正治	井戸川喜代	
12	滝 合 小	有泉 徹郎	大上 琢磨	増田 潔	逸見 黎子	
13	高 幡 台 小	小泉 宣夫	福田 信子	国領美那子	秋田 和代	
14	南 平 小	石井 三士	太田由紀夫	三村 英光	井上久美子	
15	程久保小	三浦 勝也	河野 千秋	岡島 政吉	吉野美智子	
16	旭が丘小	飯沼 宏	野村 治子	高橋 和代	奈良 悦子	
17	平 山 台 小	野村 武郎	古山 郁夫	村松 晴義	岡部 哲子	
18	東 光 寺 小	志村 桂次	笠井 裕子	和田 雅実	會田 尚子	
19	三 沢 台 小	福地 保	斉藤 正子	川田 浩子	西村 美子	
20	仲 田 小	岩下 和夫	雨宮 充	吉田 弘	清水 妙子	
1	一 中	高橋 豊彦	相原 茂生	柳 哲夫	高橋 恵子	佐藤 至正
2	二 中	大野 隆久	富士 堯	光岡 肇	中山ひとみ	森川 覚
3	七 生 中	川崎 昭三	管野 剛	大谷 良光	大野 滯子	高森 和子
4	三 中	清水 春海	新井 教旦	松沢 茂久	今城 理恵	松井 保子
5	四 中	桑原 和正	杉村 智秋	鈴木 清司	川本 浩子	古厩 清夫
6	三 沢 中	綿引 正己	広瀬 昭	逸見 守	高津度泰子	宮下 文夫
7	大坂上中	名塚 三雄	星野 晴一	今井 正喜	瀬尾 昭子	丸山 尚夫
8	平 山 中	高木 宏文	三浦 義次	福地 和子	千葉瑠璃子	成舞 京子

学 年 主 任

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
井尻 武子	和田いさを	武田 元子	花田 僚子	足立 博志	長門 彰
岡田 充生	笹本 竹司	比嘉 道子	高木 映子	長浜 和子	小笠原本江
山田 久代	森田 隆子	井上 文子	久保田由子	秋山 照子	八木 文夫
安達 美武	田中 延子	和田実千代	滝島 欣子	小柳利栄子	藤岡 和子
菊池 静枝	桑澤 悦子	江口 悦子	斎藤 弥生	御木 茂	茅野とめ子
小松美代子	岩崎真知子	窪田 正子	小坂橋五佐男	宗近 孝子	西川 朝子
宇田川清和	五十嵐明子	志賀千恵子	山口 恵久	小林 浜子	秋葉 秀茂
若松富紀子	中島 志郎	石黒 芳子	深沢 和彦	末次 久利	加藤 和俊
榊原 一男	尾崎みち子	川上美穂子	井浦 弘	川原田和子	関根 敦子
安西 利江	上野 森良	神 幸子	栗原 典子	宇野有斐子	丸茂 洋子
志茂 和枝	高倉 教行	加藤 暉子	玉置 順子	大鳥ルミ子	遠藤佐知子
今野すみ子	遠田 弘	野口すみ子	小林 和子	高橋 孝子	平島 孝夫
野口真佐子	服部 都	銭廣 芳子	三浦 仁	田中 順一	照屋 守久
吉澤佐久子	関 恒夫	泉 芳夫	宮澤 醇子	武内 忠雄	駒井 隆治
遠藤 路子	桜井 光子	尾上 章子	吉野美智子	西森 恵子	鷹尾富貴子
入田 純子	窪田 彌生	赤松 昭子	佐々木玄吾	石原八重子	石田 隆彦
渡部 キヨ	高浜 嘗子	村松 晴義	加藤 タイ	菊池 彰	加藤 幸子
富澤 和子	川井田和子	會田 尚子	藤本 憲康	浅野 昭雄	市川 博子
東 昌	川田 浩子	小木美智子	川井 尚美	斉藤 正子	山浦 幸子
宇士 悦子	小俣 靖江	小山 富子	品田 敏男	雨宮 充	土方 久枝
酒井 徳行	荒川 歌津	松原 清			
鶴田 恵彦	片桐 豊昭	内山 芳雄			
瀬川 昭英	柳沢 美澄	大坪久美子			
樋口 恢武	飯島 利三	鈴木 渉			
小林 敏朗	高橋 清子	稲川 正義			
明石 敏春	中根 勉	須貝 光一			
内田耕一郎	鈴木 良身	六本木 茂			
三富 恒男	阿部 晃一	紺野栄治郎			

昭和63年度 日野市立小・中学校

No.	学校 担当	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小
1	研究・研修主任	和田いさを	木内 秀雄	八木 文夫	逸見 明男	斎藤 弥生	武守 保幸
2	人権尊重教育担当	畑野 元一	斉藤八重子	上田 憲二	田森 脩詮	岡部 倫子	諏訪 英樹
3	国 語 主 任	武田 元子	綾部 耕基	猪俣 幸雄	坂本 有子	赤井 光子	小松美代子
4	社 会 科 主 任	長澤佳都子	木内 秀雄	井上 充	田中 延子	岩本 高明	伊勢 恒二
5	算数・数学主任	廣嶋とし子	山口 正夫	福田ふじ子	小柳利栄子	井上 明子	内木志づ子
6	理 科 主 任	鈴木 則子	渋谷 一彦	矢野百合子	豊田 光	和田 常雄	武守 保幸
7	音 楽 主 任	村上 悦子	板野 宏	大久保光子	斉藤富美子	岡田 恵子	越智 忠司
8	図工・美術主任	山木 雅子	宮崎 美徳	関口 智恵	金子 光雄	北野 義明	杉村 光子
9	体育・保体主任	長門 彰	高橋 健	八木 文夫	西 俊幸	越地 則之	伊藤 孝子
10	○技術家庭(男)主任						
11	家庭・技家(女)主任	山岸 明子	中島 寿子	信夫 頼子	藤岡 和子	本保 陽子	難波 和子
12	○外国語主任						
13	道 徳 主 任	畑野 元一	小笠原本江	上田 憲二	田森 脩詮	岡部 倫子	古川 明子
14	特 別 活 動 主 任	花田 僚子	田中 和子	信夫 頼子	小柳利栄子	越地 則子	窪田 正子
15	学 校 行 事 主 任	畑野 元一	赤松 紀子	上田 憲二	小柳利栄子	和田 常雄	岩崎真知子
16	視 聴 覚 主 任	廣嶋とし子	宮崎 美徳	原 俊行	高田 光夫	御木 茂	安井 寿子
17	学 校 図 書 館 主 任	三浦理恵子	赤松 紀子	塚原美智子	倉津 節子	茅野とめ子	依田 逸夫
18	給 食 主 任	井尻 武子	松澤 和代	山田 久代	藤岡 和子	本多 和美	難波 和子
19	安 全 教 育 主 任	長澤佳都子	比嘉 道子	上田 憲二	飯田 国代	菊池 静枝	中込 久美
20	養 護 主 任	佐藤ヒサ子	菊地 直子	尾中 慶子	神田久仁子	常盤 町子	金野 峰子
21	管 財 主 任	藤本 新八	乙津 秀敏	渡辺 健一	古河 哲三	須藤 茂	富田 且枝
22	事 務 担 当	藤本 新八	乙津 秀敏	橘田 晟	古河 哲三		富田 且枝

主任（担当）一覧表

潤 徳 小	平 山 小	七 小	八 小	百草台小	滝 合 小	高幡台小	南 平 小
渋江 美雪	末次 久利	高橋 智子	安西 利江	志茂 和枝	佐藤 静雄	三浦 仁	駒井 隆治
臼井 知子	深沢 和彦	尾崎みち子	樋口江以子	村松 幹雄	大上 琢磨	小原 良雄	三村 英光
間島 春美	増倉 博子	川上美穂子	石岡 房子	大島真理子	和泉 陽子	三浦 仁	雨宮千栄子
宇田川清和	石郷岡日出子	井浦 弘	西村 正裕	大鳥ルミ子	今野すみ子	照屋 守久	佐藤 智子
小林 浜子	加藤 和俊	長澤あや子	大谷 直子	高橋 茂子	増田 潔	坂井ミチ子	関 恒夫
中村 大	平良 格	高橋 智子	長沼 正幸	星野 正治	石川 成子	塚本 純子	吉川 郁子
飯島 睦子	福田 栄子	椎名 圭子	櫻川 順子	大谷美由紀	古川 悦子	安藤美佐子	遠藤 信元
志賀千恵子	木村 令子	伊東 茂	丸 カズ子	高尾三枝子	岡本 美治	歌田 典子	秋葉 榮一
山木 和也	末次 久利	榊原 一男	浅野すみれ	宮崎 亘	林 亀三	黒川 武良	駒井 隆治
吉村いずみ	星野 友子	渡邊 かほ	樋口江以子	浅沼 節子	来間 志信	加藤千恵子	溝江恵美子
秋葉 秀茂	深沢 和彦	尾崎みち子	上野 森良	村松 幹雄	大上 琢磨	田中 順一	宮澤 醇子
飯島 睦子	加藤 和美	長澤あや子	沼田恵美子	遠藤佐知子	平島 孝夫	照屋 守久	溝江恵美子
飯島 睦子	菊池 和子	川上美穂子	長沼 正幸	高倉 教行	大上 琢磨	福田 信子	武内 忠雄
山口 恵久	今井 浩	斉藤美智子	酒井 誠	堂下万里子	児玉 正教	小澤 育江	泉 芳夫
間島 春美	若松富紀子	関根 敦子	沼田恵美子	加藤 暉子	野口すみ子	前沢美佐江	佐藤 智子
小林 浜子	平島 陽子	渡邊 かほ	上野 森良	玉置 順子	今野すみ子	三木比呂美	佐藤 ユウ
宇田川清和	石郷岡日出子	矢島 優子	樋口江以子	大島真理子	増田 潔	野口真佐子	宮澤 醇子
反町麻佐子	松尾けさ美	小山 幸代	石塚 晶子	井戸川喜代	松本 陽子	秋田 和代	井上久美子
太田美登里	郷原 敦	作道 年正 福島智恵子	吉岡 興村	志波 恵子	工藤トシコ	佐藤 芳子	横田 昭子
太田美登里	郷原 敦	作道 年正 福島智恵子	吉岡 興村	石坂 郁子	原 早苗	宮岸みず枝	横田 昭子

No.	学校 担当	程久保小	旭が丘小	平山台小	東光寺小	三沢台小	仲 田 小
1	研究・研究主任	吉野美智子	柴 順子	森田 弘文	川井田和子	小木美智子	品田 敏男
2	人権尊重教育担当	河野 千秋	野村 治子	村上 貞司	川井田和子	川田 浩子	小川久美子
3	国 語 主 任	佐藤 徳子	赤松 昭子	田中 玲子	市川 博子	大屋いずみ	宇土 悦子
4	社 会 科 主 任	岡島 政吉	佐々木玄吾	古山 郁夫	藤本 憲康	斉藤 美代	品田 敏男
5	算数・数学主任	鎌田 博志	星野 洋	渡部 キヨ	富澤 和子	上田美知子	小川久美子
6	理 科 主 任	近藤 裕治	荒川 知	加藤 タイ	浅野 昭雄	鶴間 紀子	小俣三佳子
7	音 楽 主 任	馬場美津子	鶴蘭美千代	二宮 弘美	澤山絵里子 (吉田禮子)	村田那智子	保坂たか子
8	図工・美術主任	藤沢由美子	佐藤 和代	久保 雅子	中尾 公治	倉林 晴夫	鶴田久美子
9	体育・保体主任	吉川 美幸	佐々木玄吾	菊池 彰	和田 雅実	桐生 雅行	吉田 健
10	○技術家庭(男)主任						
11	家庭・技家(女)主任	酒井ヒトシ	奈良 悦子	加藤 幸子	小林むつみ	山浦 幸子	小山 富子
12	○外国語主任						
13	道 徳 主 任	吉野美智子	石原八重子	村上 貞司	川井田和子	川田 浩子	小川久美子
14	特 別 活 動 主 任	鷹尾富貴江	入田 純子	青木 利夫	藤本 憲康	大類 研治	小山 富子
15	学 校 行 事 主 任	近藤 裕治	野村 治子	古山 郁夫	笠井 裕子	大類 研治	雨宮 充
16	視 聴 覚 主 任	岡島 政吉	入田 純子	森田 弘文	中尾 公治	倉林 晴夫	吉田 弘
17	学校図書館主任	尾上 章子	志村 道子	高浜 嘗子	入倉美恵子	川井 尚美	小俣 靖江
18	給 食 主 任	酒井ヒトシ	赤松 昭子	加藤 タイ	富澤 和子	村田那智子	宇土 悦子
19	安 全 教 育 主 任	西森 恵子	高橋 和代	村松 晴義	入倉美恵子	鶴間 紀子	土方 久枝
20	養 護 主 任	田島 佳子	小島 典子	岡部 哲子	上山美智子	西村 美子	清水 妙子
21	管 財 主 任	榎本 昌代	三輪佐和子	新沼 敏和	藤井 悦子 川島 仁子	植松 一枝	平沼 譲
22	事 務 担 当	榎本 昌代	三輪佐和子	新沼 敏和	藤井 悦子 川島 仁子	土方 聖子	平沼 譲

一 中	二 中	七 生 中	三 中	四 中	三 沢 中	大坂上中	平 山 中
石堂 正行	鶴田 恵彦	若宮 美鈴	松井 保子	原田 憲一	熊谷 静一	秋山 侑司	成舞 京子
犬田美智子	内山 芳雄	田倉 正子	乙黒 義夫	河手 達治	中根 勉	秋山 侑司	鈴木 照美
中村理英子	岡部 純子	若宮 美鈴	杉本 洋子	秋山 剛徳	鳥居恵美子	天野 節子	古橋あつ子
清水 崇仁	小竹 毅	松尾 晴至	松沢 茂久	吉田 俊明	山中ひろみ	瀬尾 昭子	村田 和美
堀江嘉寿子	小谷 幸二	大坪久美子	加藤 正孝	古厩 清夫	矢部田鶴子	田熊 裕	三浦 賢治
千葉 英明	富士 堯	辻本 昭彦	辰己 恵子	細貝 昭夫	直井富士春	谷 丈太郎	福地 和子
横溝 明子	吉村富美子	大野 滂子	鈴木 渉	新井 幹	西村美妙子	村上 敏夫	渡辺 京子
尾関いずみ	三浦 麻里	矢田 公男	高野 徐一	渡辺 圭子	朝廣 永子	市川 和彦	岡部 隆男
佐藤ナホ子	水沢 光子	白井 攻	市川佐和子	石川 明人	角田 宣子	市村 博保	桜井 絢子
佐藤 至正	永谷 豊	大谷 良光	飯島 利三	原田 憲一	若松 民雄	鈴木 良身	紺野栄治郎
犬田美智子	猪股三枝子	田倉 正子	高見登志子	山本 玲子	秋庭 英子	土田キヨミ	佐藤 寿枝
征矢 捷江	池田 友彦	柳沢 美澄	小林 和子	井手 裕子	松村 敏以	横田 恵子	深田美紀子
石堂 正行	猪股三枝子	田倉 正子	賀川 郁子	石井世津子	鳥居恵美子	三輪 隆師	鈴木 照美
森山 嘉明	松本 喜代	辻本 昭彦	田中 直樹	後藤 正彦	熊谷 静一	三輪 隆師	鈴木 照美
春田 英彦	光岡 肇	菅野 剛	新井 教旦	杉村 智秋	広瀬 昭	六本木 茂	三浦 義次
中野 真帆	橋本 幹雄	矢田 公男	高野 徐一	原田 憲一	若松 民雄	倉田 和俊	太田 博幸
河辺さち子	松本 喜代	坂井千恵子	原沢 和江	柏木 実	森 紀子	丹 美喜男	古莊斗糸子
佐藤ナホ子	依田 京子	柳沢 美澄	岸田 地子	井田 武	山中ひろみ	伊藤 尚子	土田 正子
柳 哲夫	高橋 一江	白井 攻	田中 秀幸	前田 博	藤原 昌彦	瀬尾 昭子	鈴木 浩
高橋 恵子	中山ひとみ	大野 滂子	今城 理恵	瀬尾真理子	高津戸泰子	神屋敷和子	千葉瑠璃子
越智 有吾	長洲 正明	竝木 昇一	曾根原 守	金子 好一	永長 裕子	田嶋恵美子	大野 馨
山下かおる 吉田久美子	小林 春江	澤田八重子	原田 憲吾	稲富 良子	渡部 厚	筒井 ゆり 中島 和枝	土方実千代

昭和63年度 授業研究主題一覧

No.	小 学 校 名	研 究 テ ー マ
1	日 野 第 一 小 学 校	一人一人の児童が楽しく学習に取り組むための指導法 — 国語科を通して —
2	日 野 第 二 小 学 校	地域の社会、自然の移り変わりを生かした指導法の研究 — 興味を持って社会（理科）に取り組む子をめざして —
3	日 野 第 三 小 学 校	児童に考える力をつけるための算数科指導の工夫
4	日 野 第 四 小 学 校	一人一人が生き生きと学習する指導法の研究 — 子供が問題意識をもってすすんで学習する社会科の授業 —
5	日 野 第 五 小 学 校	「学習意欲を高める指導法の研究」
6	日 野 第 六 小 学 校	「みずから学ぶ子どもを育てる指導法の研究」 — 国語科を中心として —
7	潤 徳 小 学 校	主体的な学習態度を育てる指導法の研究
8	平 山 小 学 校	「生活をみつめ考える力」を育てる指導法
9	日 野 第 八 小 学 校	児童の主体性を高める指導法の研究 — 算数の文章題の指導を通して —
10	百 草 台 小 学 校	ひとりひとりが生き生きと学習に取り組む授業を目指して
11	滝 合 小 学 校	児童の学習意欲を高めるための指導法
12	高 幡 台 小 学 校	国語「一人ひとりの児童の読む力を深める指導法」
13	日 野 第 七 小 学 校	「思いやりのある子を育てる生命尊重の教育」 — 性教育を通して —
14	南 平 小 学 校	児童が主体的に取り組む活動の研究 — 体験から学ぶ子どもを育てる —
15	程 久 保 小 学 校	一人一人が生き生きとする学習指導
16	旭 が 丘 小 学 校	子どもによく考えさせる授業のあり方
17	平 山 台 小 学 校	教育目標の具体化（心豊かでたくましい子・力を合わせてやりぬく子） — 互いに認め合う学級づくりを通して —
18	東 光 寺 小 学 校	「楽しみながら運動量をふやす指導法の工夫」
19	三 沢 台 小 学 校	自ら学ぶ力を育てるための手だての工夫
20	仲 田 小 学 校	楽しく運動にとりくみ、たくましく生きる児童の育成

No.	中 学 校 名	研 究 テ ー マ
1	日 野 第 一 中 学 校	生徒が意欲的にとりくむ授業の工夫
2	日 野 第 二 中 学 校	お互いを高めあう学級会活動の工夫
3	七 生 中 学 校	基礎学力の定着をめざす授業研究
4	日 野 第 三 中 学 校	個性・創造性・自主性を高める指導法の工夫
5	日 野 第 四 中 学 校	生徒の学習（教科・行事など）の意欲を高めるために、どう指導の手立てを考えるか
6	三 沢 中 学 校	遅進生徒の有効な指導法の深研
7	大 坂 上 中 学 校	基礎的生活並びに学習習慣の養成を通し、自主的学習態度や基礎学力の向上を図る
8	平 山 中 学 校	生徒の自主的態度の育成をめざした学年、学級経営と教科指導のあり方

昭和 63 年度 都教育研究員等一覽

1. 教育研究員

小学校	国語	日野八小	石岡房子
	社会	仲田小	品田敏男
	理科	南平小	太田由紀夫
	教育課題	程久保小	岡島政吉
	書写	三沢台小	斉藤正子
	心障教育	日野三小	椿坂俊夫
	学校保健	日野七小	高橋智子
中学校	特別活動	平山中	遠藤弘
	教育課題	日野四中	吉田俊明
	教育課題	七生中	管野剛

2. 教育開発員

小学校	体育	滝合小	林亀三
	家庭	日野六小	難波和子
中学校	国語	七生中	瀬川昭英
	特別活動	日野一中	酒井德行

3. 東京都研究奨励費受給者

性教育 西村美子他 9 名

4. 道德教育指導助言者

程久保小	吉野美智子
高幡台小	田中順一
日野四中	石井世津子
日野四中	原田憲一

就学・進学状況の推進（S. 57 ～ 62 年度）

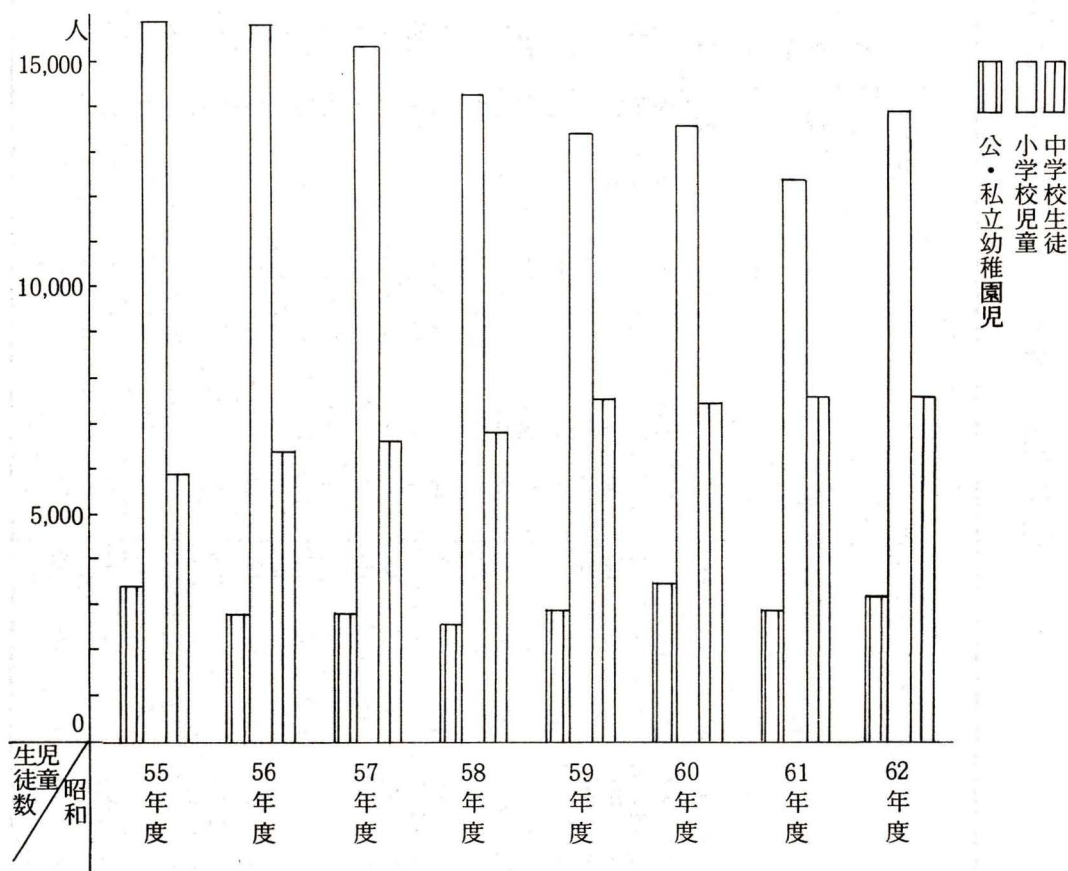
（ ）はパーセント

年 度	性 別	高 等 学 校 本 科															職業教育機関等	就 業 ・ そ の 他			卒 業 者 総 数	
		総 計	高等学校全日制課程							高等学校定時制課程				高等 専 門 学 校	高等 学 校 通 信 制	盲養 ・ 護 う 学 校		専 門 職 業 ・ 各 種 学 校	計	就 職 者		無（ 在家庭者 ）
			公 立			私 立			計	公 立		就 職 進 学 者										
			普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計		普 通 科	職 業 科											
57	計	2,142	2,097	994	162	1,156	871	70	941	39	30	9	16	3		3	32	45	38	7	2,219	
	男		(94.5)	(44.8)	(7.3)	(52.1)	(39.3)	(3.2)	(42.4)	(1.8)	(1.4)	(0.4)	(0.9)	(0.1)		(0.1)	(1.4)	(2.1)	(1.7)	(0.3)		
	女	1,105	1,069	487	92	579	442	48	490	30	24	6	15	3	3	11	30	28	2	1,146		
58	計	2,208	2,133	1,002	158	1,167	910	63	973	55	37(私3)	15	14	11	1	8	60	49	42	7	2,317	
	男		(92.0)	(43.0)	(7.0)	(50.0)	(39.3)	(2.7)	(42.0)	(2.4)	(1.8)	(0.6)	(0.6)	(0.5)	(0.4)	(0.4)	(2.6)	(2.1)	(1.8)	(0.3)		
	女	1,118	1,059	493	84	583	434	48	482	42	30(3)	9	10	10	1	6	33	35	31	4	1,186	
59	計	2,184	2,099	1,102	163	1,265	778	56	834	64	39(私2)	23	43	4	9	8	63	62	46	16	2,309	
	男		(90.9)	(47.7)	(7.1)	(54.8)	(33.7)	(2.4)	(36.1)	(2.8)	(1.8)	(1.0)	(1.9)	(0.2)	(0.4)	(0.3)	(2.7)	(2.7)	(2.0)	(0.7)		
	女	1,124	1,062	562	85	647	367	48	415	46	27(私2)	17	31	3	8	5	39	38	32	6	1,201	
60	計	2,260	2,174	1,016	160	1,176	929	69	998	71	40(私6)	25	19	5	1	9	53	60	48	12	2,373	
	男		(91.7)	(42.8)	(6.8)	(49.6)	(39.2)	(2.9)	(42.1)	(3.0)	(1.9)	(1.1)	(0.8)	(0.2)	(0.4)	(0.4)	(2.2)	(2.5)	(2.0)	(0.5)		
	女	1,198	1,132	519	80	599	486	47	533	54	24(私6)	24	17	5	1	6	34	43	33	10	1,275	
61	計	2,418	2,341	1,127	174	1,301	984	56	1,040	66	36	16	14	8	2	1	100	60	36	24	2,578	
	男		(90.9)	(43.7)	(6.8)	(50.5)	(38.2)	(2.2)	(40.4)	(2.6)	(1.4)	(0.6)	(0.6)	(0.3)		(3.9)	(2.3)	(1.4)	(0.9)			
	女	1,248	1,187	554	92	646	502	39	541	50	24(私4)	8(私1)	13	8	2	1	49	37	23	14	1,334	
62	計	2,384	2,284	1,005	190	1,195	1,017	72	1,089	74	46	9	19	4	15	7	65	49	21	28	2,498	
	男		(91.4)	(40.2)	(7.6)	(47.8)	(40.7)	(2.9)	(43.6)	(3.0)	(1.8)	(0.4)	(0.8)	(0.1)	(0.6)	(0.3)	(2.6)	(2.0)	(0.9)	(1.1)		
	女	1,201	1,128	483	105	588	487	53	540	52	31(私1)	7	13	4	14	3	31	35	16	19	1,267	
		1,183	1,156	522	85	607	530	19	549	22	14	2	6	0	1	4	34	14	5	9	1,231	

幼稚園児、小学校児童、中学校生徒の数

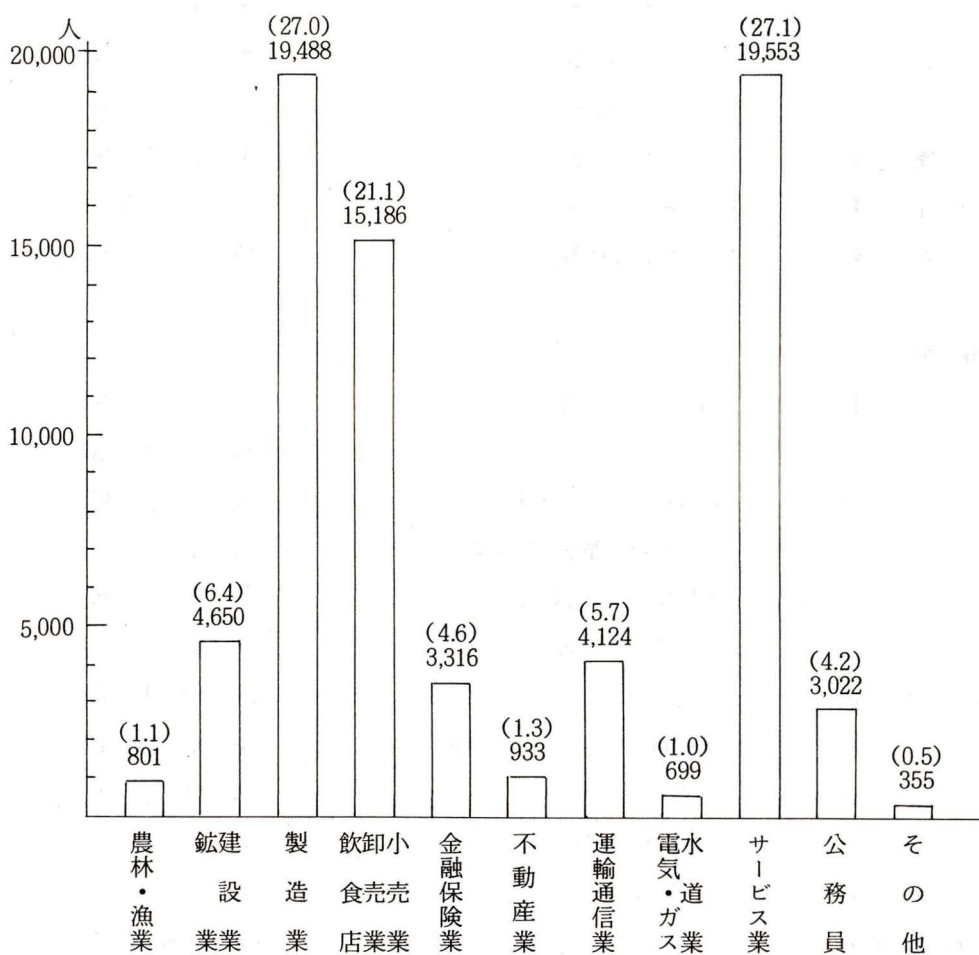
〈昭和 55～62 年度〉

参考 { 幼 2,779 人
小 13,530 人
中 7,616 人



日野市産業大分類別就業者数

()は%
(昭和60年度国勢調査)



昭和63年度 日野市立小・中学校使用教科書

1. 小学校

国語科	「小学国語」	(日本書籍)
	「小学書き方」	(日本書籍)
社会科	「新しい社会」	(東京書籍)
	「小学校社会科地図帳」	(帝国書院)
算数科	「小学校算数」	(学校図書)
理科	「新しい理科」	(東京書籍)
音楽科	「新しい音楽」	(東京書籍)
図画工作科	「図画工作」	(日本文教出版)
家庭科	「小学校家庭科」	(開隆堂)

2. 中学校

国語科	「国語」	(光村)
	「中学書写」	(教育出版)
社会科	「新編新しい社会地理」	(東京書籍)
	「中学社会 歴史的分野」	(日本書籍)
	「中学社会 公民的分野」	(日本書籍)
	「中学校社会科地図三訂版」	(帝国書院)
数学科	「新編新しい数学」	(東京書籍)
理科	「新編新しい科学(1.2分野)」	(東京書籍)
音楽科	「中学生の音楽」	(教育芸術)
	「中学生の器楽」	(教育芸術)
美術科	「少年の美術」	(現代美術)
保健体育科	「中学保健体育」	(学習研究社)
技術家庭科	「技・家庭 上・下」	(開隆堂)
外国語科	「THE NEW CROWN ENGLISH SERIES」	(三省堂)

園児・児童・生徒、学級数調べ

< 63. 5. 1.現在 >

上段 62年度
下段 63年度 (学級数

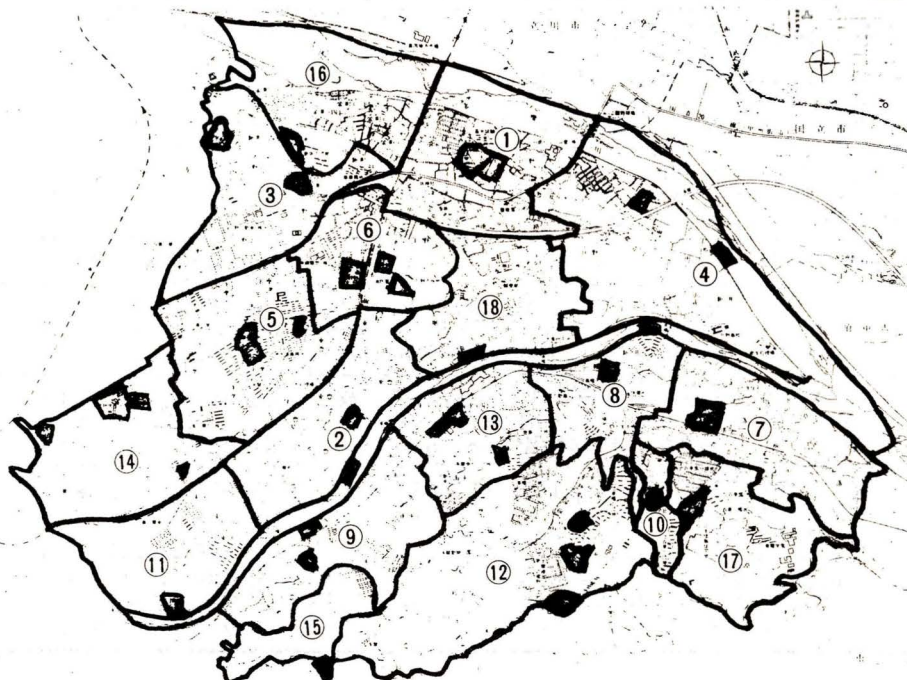
No.	小学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	心障
1	日野第一小学校	91 (3) 82 (3)	101 (3) 93 (3)	94 (3) 97 (3)	109 (3) 93 (3)	107 (3) 104 (3)	107 (3) 109 (3)	609 (18) 578 (18)	
2	日野第二小学校	119 (3) 124 (4)	139 (4) 116 (3)	125 (3) 142 (4)	182 (5) 126 (3)	137 (3) 176 (4)	156 (4) 139 (4)	852 (22) 823 (22)	
3	日野第三小学校	93 (3) 104 (3)	82 (3) 90 (3)	100 (3) 81 (3)	106 (3) 105 (3)	107 (3) 102 (3)	125 (3) 108 (3)	613 (18) 590 (18)	21 (3) 20 (3)
4	日野第四小学校	83 (3) 98 (3)	86 (3) 82 (3)	85 (2) 88 (3)	98 (3) 87 (2)	101 (3) 99 (3)	90 (2) 97 (3)	543 (16) 551 (17)	
5	日野第五小学校	130 (4) 136 (4)	130 (4) 120 (4)	108 (3) 122 (3)	133 (3) 105 (3)	126 (3) 129 (3)	128 (3) 123 (3)	755 (20) 735 (20)	4 (1) 2 (1)
6	日野第六小学校	109 (3) 115 (3)	104 (3) 108 (3)	117 (3) 100 (3)	111 (3) 113 (3)	108 (3) 104 (3)	120 (3) 106 (3)	669 (18) 646 (18)	
7	潤 徳 小 学 校	59 (2) 62 (2)	74 (2) 62 (2)	68 (2) 74 (2)	78 (2) 71 (2)	95 (3) 78 (3)	91 (2) 93 (3)	465 (13) 440 (13)	
8	平 山 小 学 校	87 (3) 69 (3)	97 (3) 87 (3)	112 (3) 98 (3)	115 (3) 107 (3)	117 (3) 114 (3)	136 (4) 115 (4)	664 (19) 590 (17)	
9	日野第八小学校	101 (3) 87 (3)	93 (3) 101 (3)	100 (3) 93 (3)	105 (3) 99 (3)	107 (3) 108 (3)	111 (3) 105 (3)	617 (18) 593 (18)	
10	百草台小学校	92 (3) 92 (3)	109 (3) 93 (3)	113 (3) 109 (3)	110 (3) 110 (3)	96 (3) 110 (3)	114 (3) 97 (3)	634 (18) 611 (18)	
11	滝 合 小 学 校	117 (3) 113 (3)	134 (4) 120 (4)	138 (4) 134 (4)	132 (4) 139 (4)	137 (4) 129 (4)	171 (4) 140 (4)	829 (22) 775 (22)	
12	高 幡 台 小 学 校	81 (3) 86 (3)	102 (3) 81 (3)	90 (3) 100 (3)	97 (3) 86 (3)	93 (3) 92 (3)	84 (2) 90 (2)	547 (17) 535 (16)	
13	日野第七小学校	103 (3) 115 (3)	107 (3) 102 (3)	126 (3) 110 (3)	124 (3) 125 (3)	112 (3) 120 (3)	131 (3) 113 (3)	703 (18) 685 (18)	
14	南 平 小 学 校	86 (3) 90 (3)	96 (3) 85 (3)	105 (3) 100 (3)	137 (4) 104 (4)	103 (3) 141 (3)	124 (3) 101 (3)	651 (19) 621 (19)	
15	程久保小学校	65 (2) 58 (2)	81 (3) 67 (3)	57 (2) 81 (2)	92 (3) 59 (3)	85 (2) 96 (2)	84 (2) 87 (2)	464 (14) 448 (14)	
16	旭が丘小学校	116 (3) 133 (3)	133 (4) 118 (4)	119 (3) 129 (3)	134 (4) 118 (4)	118 (3) 134 (3)	115 (3) 119 (3)	735 (20) 751 (20)	
17	平 山 台 小 学 校	50 (2) 43 (2)	59 (2) 49 (2)	56 (2) 62 (2)	73 (2) 56 (2)	74 (2) 71 (2)	99 (3) 72 (3)	411 (13) 353 (13)	14 (1) 12 (1)
18	東 光 寺 小 学 校	55 (2) 61 (2)	73 (2) 53 (2)	65 (2) 69 (2)	73 (2) 66 (2)	78 (2) 72 (2)	87 (2) 78 (2)	431 (12) 399 (12)	
19	三 沢 台 小 学 校	60 (2) 55 (2)	80 (2) 55 (2)	79 (2) 81 (2)	89 (2) 77 (2)	78 (2) 88 (2)	103 (3) 79 (3)	489 (13) 435 (13)	
20	仲 田 小 学 校	50 (2) 62 (2)	65 (2) 48 (2)	52 (2) 62 (2)	58 (2) 49 (2)	556 (2) 57 (2)	68 (2) 55 (2)	349 (12) 333 (12)	
計		1,747 (55) 1,791 (56)	1,945 (59) 1,739 (56)	1,909 (54) 1,933 (59)	2,156 (59) 1,901 (53)	2,035 (56) 2,131 (57)	2,244 (57) 2,034 (56)	12,036 (340) 11,529 (342)	35 (5) 37 (5)

No.	中学校名	1 年	2 年	3 年	計	心 障
1	日野第一中学校	271 (7) 238 (6)	303 (7) 271 (7)	291 (8) 297 (7)	865 (22) 806 (20)	
2	日野第二中学校	268 (8) 271 (7)	335 (7) 267 (6)	308 (8) 326 (7)	911 (23) 864 (21)	
3	七 生 中 学 校	222 (6) 224 (5)	274 (7) 223 (5)	268 (6) 275 (7)	773 (19) 722 (17)	9 (1) 6 (2)
4	日野第三中学校	307 (8) 282 (7)	340 (9) 311 (7)	368 (9) 341 (8)	1,015 (26) 934 (22)	
5	日野第四中学校	275 (8) 289 (7)	331 (7) 267 (6)	328 (7) 331 (8)	934 (23) 887 (21)	
6	三 沢 中 学 校	315 (8) 271 (7)	338 (8) 317 (8)	341 (8) 340 (8)	994 (24) 928 (23)	
7	大坂上中学校	307 (8) 277 (7)	332 (7) 303 (7)	286 (8) 334 (8)	925 (23) 914 (22)	13 (2) 13 (2)
8	平 山 中 学 校	269 (7) 240 (6)	294 (7) 267 (6)	305 (8) 297 (7)	868 (22) 800 (19)	
計		2,234 (52) 2,098 (52)	2,547 (61) 2,233 (52)	2,495 (59) 2,544 (61)	7,276 (172) 6,855 (165)	22 (4) 20 (4)

No.	幼稚園名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第 一 幼 稚 園	58 (2) 60 (2)	99 (3) 62 (2)	157 (5) 122 (4)
2	第 二 幼 稚 園	30 (1) 29 (1)	41 (2) 45 (2)	71 (3) 74 (3)
3	第 三 幼 稚 園	29 (1) 29 (1)	39 (2) 43 (2)	71 (3) 72 (3)
4	第 四 幼 稚 園	30 (1) 30 (1)	30 (1) 31 (1)	63 (2) 61 (2)
5	第 五 幼 稚 園	30 (1) 30 (1)	38 (1) 30 (1)	57 (2) 60 (2)
6	第 六 幼 稚 園	27 (1) 30 (1)	30 (1) 32 (1)	100 (2) 62 (2)
7	第 七 幼 稚 園	60 (1) 56 (1)	40 (1) 60 (1)	100 (3) 116 (3)
計		265 (8) 264 (9)	312 (11) 303 (11)	577 (19) 567 (20)

避難場所と地区割当表

番号	避難場所	収容人口	避難地区	番号	避難場所	収容人口	避難地区
1	第一中学校 仲田緑地	28,000 ^人	日野の一部	11	滝合小学校	8,500 ^人	東平山1.2.3丁目 西平山1.2.3.4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1～4丁目	12	高幡台小学校 第三中学校 大蔵小学校	22,000	程久保の大部分 高幡台団地
3	第三小学校 日野自動車ランド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1.2.3.4.5丁目	13	鹿島台公園 南平小学校 南平体育館	12,500	南平1～5丁目
4	日野総合ランド 第四小学校	22,500	日野の一部、新井 石田、下田の一部	14	旭が丘小、第四中 都立工科東大園 旭が丘	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平団地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1～6丁目 東豊田3丁目	15	平山台小学校	7,500	平山1.2.3丁目 平山苑
6	第七小学校 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平の一部、神 明区画整理区域内	16	東光寺小学校	8,600	栄町1～5丁目 新町3丁目
7	第八小学校 三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢 の一部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販造成地
8	新井橋際河川敷 潤徳小学校	11,000	高幡、新井の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内 上田、宮の全部
9	平山小学校 平山中学校	13,000	平山4.5.6丁目 南平6.7.8.9丁目	計	18箇所	286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、 程久保の一部				



市 立 小 中 学

番 号	校 名	開 校 年 度	建 築 年 度 増 改 築	校地面積 m^2	校舎保有 面 積 m^2	普通教室 (保有)
1	一 小	M 6	37. 38. 39	20, 947	4, 366	22
2	二 小	M 7	42. 43. 48. 53~54	11, 640	4, 728	27
3	三 小	S 2 3	41. 42. 47. 49~50	16, 806	6, 012	30 (5)
4	四 小	M 6	49. 40. 44	15, 292	3, 839	19
5	五 小	S 3 4	34. 35. 36. 43.	18, 435	5, 284	34
6	六 小	S 4 0	38. 40. 43. 48	19, 833	6, 098	31
7	潤 徳 小	M 6	39. 40. 45	15, 376	4, 877	28
8	平 山 小	M 6	39. 40. 41. 44	15, 845	4, 388	23
9	八 小	S 4 4	44. 47. 49	17, 601	5, 102	25
10	百草台小	S 4 5	44. 48. 50	15, 482	5, 248	26
11	滝 合 小	S 4 6	45~46	20, 545	5, 544	27
12	高幡台小	S 4 7	46. 48. 52	16, 017	4, 983	25
13	七 小	S 4 8	47~48. 52~53. 57	13, 509	4, 806	22
14	南 平 小	S 4 9	48~49. 53. 56	16, 569	5, 254	27
15	程久保小	S 5 2	49~50. 50~51	16, 988	4, 092	18
16	旭が丘小	S 5 2	51~52. 56	16, 642	5, 463	26
17	平山台小	S 5 3	52~53. 54	18, 536	4, 939	20 (2)
18	東光寺小	S 5 4	53~54	19, 586	4, 356	18
19	三沢台小	S 5 5	54~55	15, 170	4, 463	18
20	仲 田 小	S 5 9	58~59	15, 660	3, 434	12
1	一 中	S 2 2	37. 38. 40. 41. 50. 58	19, 386	6, 118	26
2	二 中	S 2 9	34.35.38.40.41.49~50.60~61	21, 150	6, 596	29
3	七 生 中	S 2 2	36.38.44.45.50~51.59~60	20, 367	5, 934	21 (2)
4	三 中	S 4 5	45. 47. 49. 58~59	21, 520	6, 958	28
5	四 中	S 4 8	47. 49. 52. 61~62	18, 955	6, 486	27
6	三 沢 中	S 5 2	51~52. 58~59	23, 623	7, 147	25
7	大坂上中	S 5 5	54~55. 57	19, 389	6, 630	25 (3)
8	平 山 中	S 5 6	55~56	18, 200	5, 967	24

校 施 設 一 覧

昭和63年5月1日現在

教									体育館 ㎡	プー ル 大(25×11m) 小(10×5m)	給食室 ㎡	実学級
特 別 教 室												
理 科	音 楽	図 工	美 術	技 術	家 庭	視 覚	図 書	食 堂				
1	1	2			1		1		760	大・小	179	18
1	1	1			1		1		761	〃	172	22
1	1	1			1		1		761	〃	144	18 (3)
1	1	1			1		1		765	〃	130	17
2	2	1			1		1		761	〃	273	20 (1)
1	2	1			1		1		795	〃	213	18
1	1	1			1		1		779	〃	204	13
1	1	1			1		1		545	〃	147	17
1	1	1			1		1		710	〃	231	18
1	1	1			1		1		752	〃	188	18
1	2	1			1		1		701	〃	256	22
1	1	1			1		1		714	〃	226	16
1	1	1			1		1		736	〃	219	18
1	1	1			1		1		734	〃	188	19
1	1	1			1		1		760	〃	216	14
1	1	1			1		1		760	〃	213	20
1	1	1			1		1		760	大小12×5m	268	12 (1)
1	1	1			1		1		760	大・小	214	12
1	1	1			1		1		757	〃	215	13
1	1	1			1		1		760	〃	224	12
2	2		2	2	2		1	1	842	大	765	20
2	2		1	2	2		1	1	1, 075	〃	701	21
2	2		2	2(1)	2(1)		1	1	765	〃	645	17 (2)
3	3		2	3	2		1		1, 067	〃		22
2	2		2	2	2		1	1	1, 136	〃	784	21
2	2		2	2	2		1	1	1, 118	〃	718	23
2	2		1	2(1)	2		1	1	1, 118	〃	599	22 (2)
2	2		2	2	2				1, 189	〃	197	19

()心障教室



園 名 日野市立第一幼稚園
所 在 地 日野市多摩平4-3
電 話 0425-81-4124・4105
順 路 豊田駅より北へ徒歩約10分
園 児 数 男70名 女52名 計122名

園長氏名 高 橋 千鶴子

1. 沿革の概要

- 昭41. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置
さる。学級7、定員280名、
職員教諭8名、用務員1名。
園敷地2,700㎡、園舎777㎡
プレハブ1棟。
- 4.10 開園、園児280名
5.25 創立記念日とす
5.30 園章制定
- 昭43. 9. 6 プール完成(中庭)
12.20 ホール増築完成
- 昭44. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増設工
事完成
- 昭48. 3.14 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会(第一年次)
10.23 同上研究発表会(第二年次)
- 昭50. 3.10 10周年記念発表会開催
園歌制定
12.20 園舎(プレハブ)改築完成
保育室3、プレイコーナー、図
書コーナー各1、資料室1、屋
上、トイレ、物置1
- 昭57. 8.31 園庭の敷地完成
昭58. 9. 1 幼児教育センターの開設にあた
り2教室を提供
- 昭60.12.17 園舎外周緑化工事完成
昭61.1.29 ホール屋根改装工事完成
昭63. 4. 1 1学級減、4学級となる

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
江 角 正 子	昭40.4.1～昭56.3.31
光 永 久 夫	昭56.4.1～昭57.3.31
田 中 光 一	昭57.4.1～昭60.3.31
上 山 洋一郎	昭60.4.1～昭62.3.31
高 橋 千鶴子	昭62.4.1～ 現在

3. 地域の環境

多摩平団地および周辺住宅の中心にある。園舎西側は豊田駅に通じる道路があり、北側は甲州街道に平行してバイパスの役割をなす道路に面している。角地にあるため、騒音と交通量が多い。いちよう並木が続き、近くには公園が点在し、比較的自然環境には恵まれている。

4. 教育目標

21世紀に向けて多様な情報、国際化、高齢化社会に生きる人間の基礎を培う保育を旨として心身ともに健全な育成のために

- 元気に遊びがなせる子供
- やさしい心をもつ子供

5. 本年度の指導の重点

- 幼児ひとりひとりの特性を理解した上、主体性、協調性を培い、望ましい友達関係や正しい生活習慣の確立をはかる。そして安全を確保して園生活が楽しくすごせる子供を育てる。
- 地域の自然を生かし、丈夫なからだと豊かな心情を培う経験や活動の場を設定し実践する。
- 幼稚園教育の円滑化と活性化を図るため、園と家庭との連携を密にする。

6. 本年度の研究主題

「幼児理解と指導のあり方」
- 個人記録をとり分析考察する -

7. 本園の特色

- 隣接する幼児教育センターとの連携により保育内容の検討並びに改善が一層図られている。

8. その他(教職員の研究歴)

No.	内 訳	研 究 員	充実対策委員
1		高橋千鶴子(49年)	高橋千鶴子(50年)



園 名 日野市立第二幼稚園
所 在 地 日野市平山4-5-4
電 話 0425-91-4125
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分
園 児 数 男37名 女37名 計74名

園長氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭 40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山
小学校内に設置
5.10 開園記念日と定める
5.30 園章制定
昭 46. 3.10 日野市研究協力園として研究発
表を行う
昭 48. 2.21 東京都交通安全教育推進学校研
究発表会（第一年次）
昭 49.10.22 東京都交通安全教育推進学校研
究発表会本発表（第二年次）
12.14 創立10周年記念式典開催
昭 51. 4. 6 保育室、廊下、職員室、医務室
床、改装完成
昭 53. 9.30 玄関入口広場を図書コーナーに
改装完成
昭 55. 9. 1 図書コーナー本棚設置
昭 56. 4. 6 市水道管引込工事完了
昭 57. 3. 8 屋根・ホール床塗装完成
昭 57. 4.10 二年保育再開
昭 58. 8.23 園舎内装完成
昭 60. 4. 1 新園舎完成移転

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
後 藤 正 太	昭 40. 4 ～ 昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4 ～ 昭 47. 3
小 野 晃	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
深 澤 真 人	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
林 元 美	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
伊 藤 智 章	昭 58. 4 ～ 昭 61. 3
蓮 池 守 一	昭 61. 4 ～ 昭 62. 3
坂 口 嘉津子	昭 62. 4 ～

3. 地域の環境

市の南西部にあり、平山小学校に隣接している。南に多摩丘陵がつらなり、近くには平山城址公園、浅川土手、梨畑や田んぼなどがあり自然環境に恵まれている。四季を通じて野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、地域の特性や幼児の発達段階をふまえ、心身共に健康で主体的に生きようとする豊かな心を持った幼児の育成

- 自分で考えやりぬくこども
- 丈夫な身体で元気なこども
- 素直で思いやりのあるこども

5. 本年度の指導の重点

一人ひとりに即した指導計画を作成し個性伸長を図ると共に主体的に生活する態度を養う。

4才児。教師と幼児、幼児相互の信頼関係を深め活動や遊びに安定した取組みができ満足感、充実感を味わうことができる。

- 基本的な生活習慣、態度を身につける。

5才児。友達との係わりで自己を発揮すると共に思いやりや協力の大切さを知らせる。

- 自然に親しみ大切に作る気持を育てる。

6. 本年度の研究主題

一人ひとりの幼児を的確に理解すると共に指導計画の見直しを行う。

7. 本園の特色

○平山城址公園や河原など、園周辺の自然環境を利用し、四季を通じて自然に親しめる活動を、多くとり入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳	研 究 員	開 発 委 員
1		坂口嘉津子(44年)	坂口嘉津子(51年)



園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野本町2-14-1
電 話 0425-81-7127
順 路 JR日野駅下車 東へ10分
園 児 数 男35名 女37名 計72名

園長氏名 沖 山 英 代

1. 沿革の概要

- 昭 41. 4. 11 日野市立第三幼稚園として日野
第一小学校内に設置
学級数4、園児数143名
5. 4 開園記念日と定める
昭 42. 5. ブロック塀完成
11. 観察池設置
昭 46. 4. 市研究協力園
昭 47. 3. 屋外飼育舎新設
昭 51. 2. 区画整理のため、正門移動
園庭整備
10周年記念研究発表
昭 53. 8. ホール、保育室等床改装完成
昭 54. 8. 廊下床改装完成
昭 56. 3. 園歌制定
昭 56. 4. 2年保育再開
昭 56. 8. 園舎外装
昭 60. 8. 保育室内装

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
吉 田 辰 次	昭 41. 4 ～ 41. 5
永 野 林 弘	昭 41. 6 ～ 42. 3
吉 田 辰 次	昭 42. 4 ～ 44. 3
下 田 忍	昭 44. 4 ～ 50. 3
溝呂木 桂 次	昭 50. 4 ～ 55. 3
村 田 安 正	昭 55. 4 ～ 58. 3
古 谷 洋 太	昭 58. 4 ～ 62. 3
平 向 邦 江	昭 62. 4 ～ 63. 3
沖 山 英 代	昭 63. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれた所に位置する。最近、宅地化が進み周囲の自然も失われ、子ども達の遊び場は限られてきている。その反面、市役所、市民会館、図書館、公民館、生活保健センター、公園など文化的な環境に恵まれた場所になりつつある。

4. 教育目標

ひとりひとりの個性を尊重し、幼児が主体的に生活する中で、心身ともに健康なからだと自主、自律の精神の育成を図り、人間形成の基礎を培うために
○丈夫なからだで元気に遊ぶことも
○よく考えて取り組みがなんばることも
○豊かな心をもつことも

5. 本年度の指導の重点

- 幼児の実態を的確に把握し、成長発達に応じた指導を工夫するとともに、その変容の要因を探り、指導の過程における評価に努める。
- 身近な自然や地域環境を活用して体力増強を図る。
- 幼児が自ら判断し、けじめのある生活態度が定着するよう指導を工夫する。
- 幼児の自発的活動を促し、豊かな心情が育つよう環境構成を工夫する。

6. 本年度の研究主題

指導の充実をめざして「長期指導計画の作成」

7. 本園の特色

- 幼児期の思い出が豊かであるよう考えて、親子で共体験できる活動を組み入れている。
(親子園外保育、幼稚園ランド)
- 地域の自然にふれる活動を多く取り入れ、動植物への興味、関心、いたわりの気持ちを育てている。

8. その他

教員の研究歴

No.	内 訳	研 究 員
1		沖 山 英 代 (51年)



園 名 日野市立第四幼稚園
所 在 地 日野市石田431-6
電 話 0425-83-3903
順 路 立川-高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩5分
園 児 数 男32名 女29名 計61名

園長氏名 梶 村 和 子

1. 沿革の概要

- 昭48.4.1 日野市立第四幼稚園として開園
学級数2、園児数41名
教諭数3名、用務員1名
- 4.10 第一回入園式举行
- 10.29 落成式举行
- 11.1 開園記念日と定める
- 11.7 園庭の植樹完了
- 12.1 鉄骨製藤棚完成
- 昭49.3.20 第一回修了児46名
- 昭51.8.30 各保育室前、テラス完成
- 昭53.10.11 観察池完成
- 昭54.9.8 廊下床、足洗い場改装完成
- 昭56.9.30 各保育室、教材・教具整理棚完成
- 昭57.11.11 創立10周年記念式典举行
園歌制定
- 昭59.8.31 保育室等内部塗装、改装完了
- 昭60.8.31 職員室床木製改装完了
- 昭61.4.1 兼務園長制度廃止、専任園長制度となる。
- 昭62.4.10 第15回入園式举行
- 昭62.8.26 廊下改修工事、屋根、外装塗装完了
- 昭62.10.31 創立15周年記念式典

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
内 藤 達 夫	昭48.4.1 ～ 52.3.31
釜 池 博	昭52.4.1 ～ 57.3.31
竹 永 秀 雄	昭57.4.1 ～ 60.3.31
田 中 光 穂	昭60.4.1 ～ 62.3.31
梶 村 和 子	昭62.4.1 ～ 現在

3. 地域の環境

国道20号線（甲州街道）の日野橋より東へ約1Km入った多摩川の土手近くにあつて、日野第四小学校に隣接している。中央高速道路が東西に走っている。多摩川、浅川に囲まれ田畑や梨園、農業用水路など自然環境にめぐまれている。区画整理が行なわれ、宅地化が進み住民層にも変化を生じている。公園等子どもが安心して遊べる場所は極めて少ない。

4. 教育目標

ひとりひとりの人格を尊重し、自主的に活動に取り組む幼児の育成をめざす。

- 明るく 元気な子ども
- よく考え やりぬく子ども
- 思いやりのある子ども

5. 本年度の指導の重点

異年齢幼児とのかかわり合いを大切にし、互いに学び育ち合うような経験活動をする。

4歳児 経験活動に対して失敗をおそれずにやってみようと、意欲的な態度を育てる。

5歳児 物事に主体的に取り組み、困難なことに対して個々の持っている力を発揮し、最後までやってみようとする態度を育てる。

園内巡り、歓迎の会、園外保育など異年齢児と手をつないだりして、かかわりをもつ。

6. 本年度の研究主題

「長期の指導計画作成について」

7. 本園の特色

4歳児・5歳児各1組のため、異年齢幼児と、かかわれる活動を取り入れている。子ども達は素直であるが、基本的な生活習慣が身についていなかったり、ねばり強さに欠けるところがある。園外の自然環境に恵まれており四季折々の自然の中で思う存分遊ぶようにする。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員	開発委員（現代化）
1		梶 村 和 子（54年）	梶 村 和 子（53年）



園 名 日野市立第五幼稚園
所 在 地 日野市三沢175
電 話 0425-92-0432
順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ約13分
園 児 数 男28名 女32名 計60名

園長氏名 桜 田 鈴 子

1. 沿革の概要

- 昭 49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される。
学級数2、定員80名
教諭3名、用務員1名
- 4.15 第一回入園式举行 園児数62名
11. 1 落成式を举行 同日を開園記念日とする。
- 昭 50. 1.20 園庭拡張される。
- 昭 50. 3.20 第1回修了式 修了児70名
- 昭 53. 4. 1 1学級増のためプレハブ教室増築、学級数3、定員120名
- 昭 56. 4. 1 学級数2、定員80名
- 昭 59. 2.25 創立10周年記念式举行
- 昭 59. 3.31 プレハブ教室撤去
- 昭 60. 4. 1 二年保育開始
- 昭 61. 3.15 教材室増設
- 昭 61. 4.10 第13回入園式举行
二年保育 4歳 30名 } 68名
一年保育 5歳 38名 }
- 昭 62. 4.10 第14回入園式举行
二年保育 4歳 30名 } 64名
一年保育 5歳 34名 }
- 昭 63. 4.11 第15回入園式举行
二年保育 4歳 30名 } 60名
一年保育 5歳 30名 }

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	昭 49.4.1 ～ 53.3.31
古 谷 洋 太	昭 53.4.1 ～ 58.3.31
渋谷 義 一	昭 58.4.1 ～ 61.3.31
桜 田 鈴 子	昭 61.4.1 ～ 現在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲は田んぼ、畑が多く、自然に恵まれ、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

- 明るく元気に進んで遊べる子ども
- 豊かな心と思いやりのある やさしい子ども
- 最後まで頑張れる子ども

5. 本年度の指導の重点

- 幼児一人一人の成長過程をとらえ、その子どもの個性や特性を十分理解して指導につとめる。
- 園内外の自然環境を生かし、健康な体と豊かな心、思いやりを持った子どもの育成につとめる

6. 本年度の研究主題

- 日々保育実践の中で一人一人の幼児理解を強め、各々の個性特性をとらえ、その子どもに合った指導のあり方につとめる。
- 授業研・実技研修を通して指導法や教材研究をすすめる。

7. 本園の特色

- 園外保育を多くとりいれ、自然の中で遊ぶ楽しさ、解放感を味わわせている。
- 園庭に畑をつくり、こどもたちが自らの手で育て、収穫する喜びを味わわせている。
- 広い園庭を生かした遊びを多くとり入れている。



園 名 日野市立第六幼稚園

所 在 地 日野市程久保876-2

電 話 0425-92-6330

順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスで
高幡台団地下車 徒歩5分

児 童 数 男23名 女39名 計62名

園長氏名 上 野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭 50. 9. 6 園舎新築工事起工
昭 51. 3.19 園舎完成、鉄筋平屋建
4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
学級数2、定員80名
園長1名、教諭3名、用務員1名
4.10 入園式挙行、園児数73名
5.29 開園記念式典挙行
開園記念日とする
昭 52. 5.30 プール(ヤマハ・キューティメ
イトDX)設置
昭 53. 3.12 1学級増設のためプレハブ教室
増設、学級数3、定員120名
昭 55. 4. 1 学級数2、定員80名
昭 58. 8. 5 プールのフェンス、園庭フェ
ンス防球ネット完成
昭 60. 4. 1 2年保育開始 定員70名 学級
数2、4才児30名、5才児40名
昭 60.11. 1 園歌制定
昭 60.12.14 創立10周年記念式挙行
昭 61. 9.10 園庭拡張、園舎外壁塗装
昭 62. 4.10 第12回入園式
4才児27名、5才児31名
内5名
昭 63. 3.17 第12回修了式
修了児4才23名 5才28名

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
手代木 和 夫	昭 51.4.1 ～ 54.3.31
近 内 信 輝	昭 54.4.1 ～ 58.3.31
津野田 昭 二	昭 58.4.1 ～ 62.3.31
上 野 美津枝	昭 62.4.1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された
高幡台団地と百草団地との境に位置し、園舎は

緑の森林に囲まれ、起伏に富んだ所である。

近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動尊な
どがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然
に親しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基に、個性豊かで、明るく
元気な子どもを育てる。

- よく遊べる子ども
- 思いやりのある子ども
- 最後までやりぬく子ども

よりよい人間関係を育てる中で、自己充実が
できる指導に努める。

(2) 身近な自然とのふれあいや、表現活動を取
り入れながら、感情豊かな子どもを育てる。

(3) 幼児が主体的にいろいろな遊びに取り組む
ことのできる環境構成、教材、教具などの創
意工夫に努める。

5. 本年度の研究主題

- ひとりひとりを主体的に活動させるための指
導法

6. 本園の特色

- 動植物の飼育栽培を子ども達が行い、育てる
ことの喜びを味わわせている。
- 園周辺の自然環境を利用した園外保育を多く
取り入れ、思う存分に体を動かし、自然に親
しませている。

7. その他

教職員の研究歴

No.	内 訳	研 究 員	開 発 委 員
1		上野美津枝(53年)	上野美津枝(52年)



園 名 日野市立第七幼稚園
所 在 地 日野市旭が丘2-42
電 話 0425-86-3770
順 路 JR 豊田駅下車 京王バス 都立科学技術大学前
児 童 数 男55名 女60名 計115名

園長氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭59.10.6 園舎新築工事起工
昭60.4.1 日野市立第七幼稚園として設置
鉄筋コンクリート 2階建
学級数2 定員70名
教職員3名 園地面積2599㎡
昭60.4.10 第1回入園式挙行園児数49名
昭60.6.30 開園記念日とする
昭62.4.1 4才児1クラス増、定員100名
(年少2、年長1)
昭63.3.11 園舎増築工事完成
昭63.4.11 学級数4(4才児2、5才児2)
定員140名

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
石 井 三 士	昭60.4.1 ～ 62.3.31
沖 山 英 代	昭62.4.1 ～ 63.3.31
平 向 邦 江	昭63.4.1 ～ 現 在

3. 地域の環境

市の西端に位置し、地域の約半分が工業地区である。周辺道路の交通量が多いが道路は整備され街路樹やグリーンベルトが四季折々に美しい。

大学、中学校、保育園、児童館、障害者や老人のための施設が隣接し、文化福祉ゾーンとして地域のかなめとなっている。

4. 教育目標

一人一人を尊重し、心の触れ合いを基調にした教育の中で、幼児が豊かに健やかに育つことを目指す。

- 明るい子ども
健康であり、活力があり、自己表現ができる。
- がんばる子ども
ねばり強く、意欲をもつてものごとに取り組む

ことができる。

- 心のやさしい子ども
情緒が安定し、自然や友だちに関心を示し、思いやりを示し、思いやりをもつことができる。

5. 本年度指導の重点

基本的生活習慣の確立を図り、自信をもった生活や遊びの中で、よい人間関係を育て、心の豊かな思いやりのある子どもを育てる。

- 4歳児……基本的生活習慣の習得、遊びや活動を通して、自己表現や楽しさを味わいつつ他を認め自己を確立する指導。
- 5歳児……基本的生活習慣の充実、生活教育の端緒ともなる体験をさせ、向上心の育成や個性の発揮を通して意欲、充実感、満足感を味わせる指導。

6. 本年度の研究主題

「2ヶ年教育における指導計画の作成」

7. 本園の特色

- 積木による造形を主に建築された園舎である。
 - 通園区域は広く、住居は高層住宅、社宅等が多い。戸外での遊びを好まない傾向にある。
 - 教育に対する保護者の関心や意識は高い。
- ◎保護者、地域との連携を深めるとともに、園内の施設や身近な教材、教具を使った戸外での運動遊びを多くとり入れたり、飼育物の世話や菜園、園庭の花壇の栽培を通して、健全育成につとめ、教育の充実を図っている。

8. その他(教職員の研究歴)

No.	内訳	研 究 員	開 発 委 員
1		平向 邦江(49年)	平向 邦江(58年)



学 校 名 日野市立日野第一小学校
所 在 地 日野市日野本町2-14-1
電 話 0425-81-0073・0061
順 路 中央線日野駅下車 徒歩6分
児 童 数 男294名 女283名 計577名

校長氏名 山 口 武 彦

教頭氏名 秋 山 憲 一

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。
第一大学区第八中学区第五十四
番小学日野学校と称す。(現在
の中央公民館のとなり。)
- 明 45. 2.11 校歌、校章制定、校舎増改築、
校地拡張
- 昭 11. 4.29 校旗寄贈(古谷剛次郎氏)
- 昭 15. 日野2800番地(現在地)に
土地900余坪、新校舎建築開
始。(戦時中、軍徴用)
- 昭 23. 4.25 新校舎に移転完了
- 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教
育課程の研究発足
- 昭 27. 3. 5 上記の研究発表
- 昭 28. 8.22 80周年記念プール竣工
- 昭 38.11. 3 日野市制施行により日野市立日
野第一小学校と校名を変更
- 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育
環境の整備」を主題として研究
発足。
8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼
講堂として移管
- 昭 44. 2.21 日野市研究協力校として「教育
環境の整備について」発表
5. 1 東京都学校花壇協力校となる。
- 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置。
5月17日開級。
- 昭 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開
始。校庭南側一部縮少。
- 昭 48.11. 創立百周年記念祭
- 昭 51. 8. 給食室改修。理科室整備。
- 昭 53. 2. 理科室、家庭科室改修

- 昭 55. 8. 排水溝改修、受水槽設置
- 昭 57. 6. 体育館新設
- 昭 58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化
- 昭 58.11. 開校110周年記念集会、式典
- 昭 59. 3. 仲田小分離
- 昭 59. 8. 屋上全面防水、プレハブ撤去
- 昭 60. 3. 体育倉庫新設
- 昭 60. 8. 昇降口改修
- 昭 60.11. 南・北側ブロックべい撤去、植
込とする。
- 昭 61. 8. トイレ改修
- 昭 62. 2. 東京都教育委員会「健康づくり
推進校」として公開発表
- 昭 62. 8. 理科室床改修

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	日野 義順	明 6. 5 ～ 明 9. 7
2	国府田 学	明 9. 7 ～ 明 11. 3
3	小川 則要	明 11. 4 ～ 明 15. 3
4	鈴木 宗也	明 15. 4 ～ 明 16. 8
5	上野 兼松	明 16. 9 ～ 明 18. 3
6	二見友三郎	明 18. 4 ～ 明 19. 4
7	八木岡寛制	明 19. 5 ～ 明 21.10
8	佐野 鶴松	明 21.11 ～ 大 5. 3
9	古谷剛次郎	大 5. 4 ～ 大 12. 1
10	河合 平作	大 12. 2 ～ 大 15. 3
11	古谷剛次郎	大 15. 4 ～ 昭 11. 1
12	宮川 海三	昭 11. 2 ～ 昭 18. 3
13	貫井 半蔵	昭 18. 4 ～ 昭 23. 8
14	小池 嘉一	昭 23. 9 ～ 昭 34. 3
15	尾崎半次郎	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
16	五十嵐 光	昭 37. 4 ～ 昭 38. 3
17	木村 清	昭 38. 4 ～ 昭 41. 3
18	吉田 辰次	昭 41. 4 ～ 昭 44. 3

	氏 名	年 月 ～ 年 月
19	下田 忍	昭44. 4 ～昭50. 3
20	溝呂木桂次	昭50. 4 ～昭55. 3
21	村田 安正	昭55. 4 ～昭58. 3
22	古谷 洋太	昭58. 4 ～昭62. 3
23	山口 武彦	昭62. 4 ～現在

3. 地域の環境

校区は広く、農地、工場、商店、住宅により構成される地域である。本校は日野駅より徒歩6分の所に位置する。駅周辺は開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、まだ随所に歴史をとどめる史跡も残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、地域社会、児童の実態に即し、自主的に人格の完成につとめる児童の育成を旨とし、次のことを中心に展開する。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 科学性を身に付ける子ども | 事実を正しくみる力を養い、正しい判断力、順序立った思考力を伸ばして、基礎的学習の充実をはかる。 |
| 1. 豊かな心情を持つ子ども | 真、善、美に対する感受性を養うと共に、自然、動植物愛護、他人に対する思いやりの気持を深める。 |
| 1. 強い意志を育てる子ども | 目標に向って最後までやりとげる実行力を培い、困難にあってもくじけない気持を育てる。 |
| 1. じょうぶな体をつくる子ども | 節度のある生活態度を身に付け、継続して体力の増進をはかる児童を育成する。 |

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

ア. 各教科

生涯にわたって学び続ける意欲や能力、態度の基礎を身に付ける。そのため、

- 指導内容を精選し、指導の重点化を図ることにより授業にゆとりを持たせ、児童一人一人に学力を定着させる。
- 教材・教具の整備・充実・活用等により指導法や学習活動に工夫をこらし、児童が成就感・満足感を持つ授業を展開する。
- 一人一人の児童に楽しく、自ら進んで学習に取り組ませ学ぶ楽しさを味わわせる。

イ. 道徳

社会規範、生活規範のもととなる道徳的価値観の高揚・内面化を図り道徳的实践力を強める。

そのため、

- 道徳の時間の充実を図り、意図的計画的な指導を行う。
- 全教育活動を通じて生命尊重、他を思いやる心、基本的生活習慣の定着、を重視した指導を推し進める。

ウ. 特別活動

児童の自主・自立の精神を育てるとともに社会性や個性伸長に目を向けていく。そのため、

- 児童の主体的活動を促し、望ましい集団行動を行う中で一小児童としての連帯感や好ましい人間関係を育てる。
- 多様な教育活動を行う中で、個人の持つ特性の発見に努め良い面を伸ばすよう指導する。

(2) その他の活動

ア. 学校裁量の時間を通して個別指導の充実、学級係活動の充実等を図り、児童一人一人が学校生活を円滑に、ゆとりと充実をもって送れるよう指導する。

イ. 水泳初心者指導の期間を設け、水泳に関する個別指導を行い、児童の泳力や気力の向上を図る。

ウ. ふれあいタイムを設定し、教師が児童と共に遊ぶ中で児童理解を深める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

○ 全教職員の共通理解のもとに基本的生活習慣の定着を推進する。

○ 「五つの約束」を本校の生活指導の重点とし、集団の秩序と安全保持の立場から指導の徹底を図る。

イ. 進路指導

○ 児童一人一人の個性、能力の開発、伸長をめざす。

6. 本年度の研究主題

「一人一人の児童が楽しく学習に取り組むための指導法」

昨年まで5年間続けてきた教科体育の考えを引き継ぎ、教科を代え、「国語」を取り上げ研究を進めることとした。「国語」となり初年度ではあるが、授業研究を通し実践的に進めていく。

7. 本校の特色

(1) 本校は、開校115年を誇る歴史と伝統のある学校で、父母・地域の方の中にも卒業生が多く、地域の学校に対する愛情や期待は大きい。古き良きものを愛し、大切にし、地域からの信頼、地域との連帯を深めながら更によい校風を築く努力を重ねている。

(2) 教科指導と両輪をなす生活指導に教職員の結束をはかり、生活指導報告日、生活指導協議会の設置により、「全校児童、わがクラスの子」を合言葉にして指導にあたり、児童の健全な成長を計っている。

(3) 一輪車、木のぼり、竹馬、ふれあいタイムなど、他校にはみられないような施設や特性を生かし、児童が楽しく学校生活を送れるよう保護者の協力を得ながら組織的に取り組んでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	中 央 研	研 究 員	開 発 委 員	研究生、他
1		山口 武彦(49)	村上 悦子 45 (音楽)	秋山 憲一 54 (理科)	山口 武彦 47 (研究生、社会)
2			山口 武彦 46 (社会)	志賀 由具 59 (体育)	和田いさを 53 (研究生、教育方法)
3			中村 麗子 47 (給食)		秋山 憲一 58 (研究生、理科)
4			秋山 憲一 51 (理科)		山口 武彦 58 (海外派遣)
5			井尻 武子 55 (教育相談)		
6			志賀 由具 59 (体育)		
7			佐藤ヒサ子 60 (保健)		
8			足立 博志 62 (体育)		
9					



学 校 名 日野市立日野第二小学校
所 在 地 日野市東豊田2-14-1
電 話 0425-81-0070・0851
順 路 JR 豊田駅南口下車 徒歩10分
京王線南平駅下車、徒歩15分
児 童 数 男444名 女380名 計824名

校長氏名 荒 木 健 治

教頭氏名 金 田 義 直

1. 沿革の概要

- 明 7. 3. 神奈川県9大区小4区豊田村尋常小学校として創設、戸長山口平大夫氏長屋を仮校舎にする。
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下2等級に分け、上等小学校は満十歳から十三歳までとする。
- 明 12. 2 豊田1320番地、善生寺の西隣に新校舎建築。
- 明 26. 4 東京府に編入される。
- 明 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。
- 昭 17. 豊田218番地に新校舎建築、平屋建6教室
- 昭 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として再び独立
- 昭 27.12 第1次増築、2階建8教室。日野町立日野第二小学校と校名変更。
- 昭 31. 4 第2次増築、2階建6教室
- 昭 38.11 日野市立日野第二小学校と校名変更。
- 昭 43. 6 第1次防音、4階建校舎完成。
- 昭 44. 3 第2次防音、4階建校舎完成。
- 昭 46. 2 体育館工事、落成。
- 昭 49. 3 第3次防音、4階建校舎完成。
- 11 創立百周年記念式典を行う。
- 昭 55. 3 1階建校舎完成。
- 昭 56. 5 新プール完成。
- 9 校庭整備完成。
- 昭 57. 8 普通教室内部塗装完了。
- 昭 58.12 校庭歩道完成。
- 昭 59. 6 創立百周年記念式典を行う。
- 昭 61.12 新通学路使用始

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小山 茂平	昭21. 6～27. 9
増島 光一	" 27.10～34. 3
小池 嘉一	" 34. 4～38. 3
森久保惣次	" 38. 4～42. 3
後藤 正太	" 42. 4～47. 3
安積 利治	" 47. 4～50. 3
永井 雅夫	" 50. 4～53. 3
鈴木 英夫	" 53. 4～57. 6
篠宮 忠男	" 57. 7～61. 3
荒木 健治	" 61. 4～

3. 地域の環境

- 本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であった。ところが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が4%にも激減している。
それでも、浅川を中心として田畑が広がり、屋上から見る景観はすばらしい。
- 近くにローラースケートのできる駒形公園、市民プール、市立中央図書館など、公共施設にも恵まれている。
- 保護者は、学校教育に対する関心が深い。登校時の交通指導を積極的に進めるなど、きわめて建設的であり、また、協力的である。
- 学校前の都道をはじめとして学区内の道路はどれも道幅がせまく、そのほとんどに歩道がない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきたので、新に農道を補修し、通学路に指定した。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神に徹し、日本人としての自覚をたかめ国際社会に奉仕できる、心身共に豊かな子どもの育成を目指して次の目標を定める。

○からだも心も強く明るい子

◎みんなと仲よく力を合わせられる子（重点目標）

○よく考え進んで行動する子

○責任をもって最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

① 教育目標について、学年の系統をふまえた具体的目標をたてて、学年会で話し合いその具現徹底をはかる。

② 教育活動の全体をとおして、人権、人命の尊重の教育に徹し、豊かな情操と実践的行動力をもったこどもの育成をはかる。

③ 授業の研究を全職員で行い、主体的な学習態度を育て、基礎学力を充実する。

④ 教育活動全体に、こどもを主体的に参加させるようくふうし、みんなと仲よく力を合わせられる子どもの育成をはかる。

⑤ 教職員の話し合いを大切にし、共通理解を深め、協力して指導にあたる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○指導内容を精選し、基礎的、基本的事項が身につくようにする。

○学習到達目標を明確にすると共に、主体的な学習態度を育て、学力の向上と定着をはかる。

イ. 道徳

○愛情豊かな情操を育てると共に責任をもって行動する態度の内面化をはかる。

○教育目標と道徳の関連をはかり、道徳的实践力を育成する。

ウ. 特別活動

○集団行動をとおして、心身の調和的発達をはかる。

○児童会、学級会、委員会活動、クラブ活動、学校行事等をとおして、自主的、実践的な態度を育てる。

(2) その他の活動

○地域の豊かな自然を生かして、自然に親しむ態度の育成をはかる。

○なわとび、うす着などの指導をとおして、体力の向上をはかる。

○学級、学年、学校の諸行事に自主的に参加させ、みんなと仲よく楽しい学校を作っていくことができるこどもの育成をはかる。

○働く喜びを味わわせからだを通して学ぶ基本姿勢を育てる。

○日常生活の中の手仕事を重視し、巧み性、集中力を養う。

(3) 生活指導・進路指導

○生活指導についての全職員の共通理解をもとにして

・児童の基本的生活習慣の育成をはかる。

・みんなと仲よく遊べる子の育成をはかる。

・安全指導を徹底し、人命尊重の精神を育てる。

・事例研究をとおして、児童への共通理解を深め、ひとりひとりのこどもの心の育成をはかる。

- ・充実した楽しい学校生活に参加し、享受することによって生きることのすばらしさを感じさせ、その上に立って将来への明るい希望を持てるようにする。

6. 本年度の研究主題

地域の社会や自然の教材化とその指導法の研究

7. 本校の特色

本校は創立114年という伝統をもつ歴史のある学校である。59年度は創立110周年記念式典およびその思い出をつくる活動として「米づくり」「いもづくり」の体験学習を行い生産にまつわる苦労や自然とのかかわりあい、さらには構造的思考力育成など、物心両面で大きな収穫を得た。学校が子どものために努力すれば、それに対し全面理解と協力を図ってくれる地域である。爾後はこれらのことをふまえ、地域の教育力を十分に活用しながら本校児童を育てることを推し進めてきた。本年度もこのことを継承していく。また、このことと併せて昨年度は児童がより主体的に、しかも意欲的に学習にとりくむことができるようにするため、「楽しく学べる指導法」の研究をすすめる実をあげてきている。本年度はこれらを基に、移り変わる地域の社会や自然に目を向け、それらを教材にとりくむことによって、郷土を愛する心を培っていきたいと考えた。

また、本校は市内随一の大規模校である。それに反し、校庭は狭小である。このことから、日常の運動量の不足や運動技能、能力の低下につながらないように、授業を通して子どもが主体的、意欲的に学習していく指導法をうち出している。なわとびや薄着の奨励などを計画的に行ってきた。このことによって心身ともに健康な子ども達の姿が見られるようになってきている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員	道徳助言研	都・文部省委員	海 外 研
1		荒木 健治(46 道徳)	荒木 健治(47)	金田 義直 ^(47～51文)	荒木 健治(50アメリカ)
2		荒木 健治(50 教育経営)		金田 義直(47都)	金田 義直(48アメリカ)
3		金田 義直(46 国語)			
4		高木 映子(50 教育方法)			
5		木内 秀雄(44 社会)			
6		菊地 直子(51 学校保健)			



学 校 名 日野市立日野第三小学校
所 在 地 日野市日野台2-1-1
電 話 0425-81-0101・0850
児 童 数 男335名 女275名 計610名
(内 ひばり20)(他にひばり通級1名)

校長氏名 内 藤 康 教頭氏名 渡 辺 健 一

1. 沿革の概要

- 昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年340名、教室4、全学年2部授業
- 昭 25. 6.10 日野台小学校として独立する。児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
- 7.18 校章制定
- 9.19 4教室増築、教室数13、3年まで2部授業
- 昭 27. 4.15 4教室増築、教室数17、2年まで2部授業
- 6.10 校歌制定
- 昭 28. 6.10 校地850坪拡張、6教室増築
教室数23、2部授業解消される。
- 昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭 32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築
教室数25、児童数869名。
- 昭 33. 8. 3 給食調理室完成
8. 3 大小プール落成
- 昭 34. 3. 校地1,100坪拡張
- 昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。
- 昭 38.11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更。
- 昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭 43.11.15 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地1号
- 昭 46. 2.16 体育館落成式、校章制定
- 昭 48. 4. 1 鉄筋新校舎9教室増築落成
- 昭 50. 2.25 鉄筋新校舎竣工
6. 1 校旗制定
- 昭 54. 4. 1 東光寺小と分離
- 昭 56.12. 9 校内緑化整美植樹(1,273本)
- 昭 58. 4. 2 ひばり学級教室増設
- 昭 58. 4.20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)
機械警備始

- 昭 59. 3.10 藤だな改修
- 3.25 給食調理室天井塗装
体育館渡り廊下天井改修
体育館ステージ Horizont 幕改修
- 8.29 音楽室床全面改修・黒板灯設備
用務員室改修
- 12.20 南校舎非常階段手すり改修
- 昭 60. 3.20 給食雑排水経路改修・浄化槽整備・プール内シート防水・排水バルブ改修・消防水利設備
- 3.31 裏門拡張・門扉改修
- 昭 61. 3.31 道路側防球ネット生垣完成
- 8.31 体育館内部塗装
- 10.31 北校舎屋上改修
- 昭 62. 7. 7 プール更衣室等照明取付
- 8.31 ひばり教室改装
9. 8 体育館外部塗装
- 昭 63. 1.20 体育館屋根塗装
北校舎外壁修理

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高野 忠正 (事務取扱)	昭 25. 6.10 ～ 26. 3.12
高野 忠正 (校長)	昭 26. 3.13 ～ 27. 9.30
尾崎半次郎	昭 27.10. 1 ～ 34. 3.31
五十嵐葆光	昭 34. 4. 1 ～ 37. 3.31
塚本 正	昭 37. 4. 1 ～ 41. 3.31
池田 瑞男	昭 41. 4. 1 ～ 47. 3.31
岩井 庄三	昭 47. 4. 1 ～ 50. 3.31
平松健太郎	昭 50. 4. 1 ～ 54. 3.31
竹永 秀雄	昭 54. 4. 1 ～ 57. 3.31
古田 耿介	昭 57. 4. 1 ～ 62. 3.31
内藤 康	昭 62. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔80mの日野台地を中心とした地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法及び教育基本法に基づき民主的社會人としての人間形成の基礎づくりを目ざし次の目標を定める。

- じょうぶな子ども
- よく考える子ども
- 明るく思いやりのある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の教育の立場にたち、心身ともに健康で人間性豊かな人間形成の基礎づくりをめざす。特に「よく考える子ども」を重点目標に掲げ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を基盤にすえ、授業の改善充実心がけるとともに調和のとれた教育活動を推進する。

- 具体的な学年学級目標を設定し、その具現化をめざし学年学級経営に創意と工夫を生かし、一層の充実をはかる。
- すべての子どもを公平に愛し、個性能力をひき出し、生涯学習の視点に立った学び方を学ぶ学習指導を推進する。
- 創意ある教育活動を展開し、地域の教育力、教材を生かした指導内容方法の創造を図る。
- 生命を大切にす子供の子育てをめぐし、心身障害児とともに手を取り合って活動する機会を設定し、思いやりの心の育成を図る。
- 健康づくりと体力の向上を年間を通して計画的意図的に実践し、たくましい子どもの育成に努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 教材教具を活用し、課題をねばり強く追求させる学習指導を推進し、基礎的基本的学習事項の定着をめざした指導の充実を図る。
- 既習の基礎基本をもとに気づかせ発見させる学習を推進し、学習を意欲的にし、思考力、判断力を培う。
- 達成感、成就感のある授業を確立し、創造的実践力を培う。
- 個人差を的確にとらえて、学習形態や学習過程を工夫し、学習効果を高める学習方法を工夫する。

イ. 道徳

- 子どもがすすんでやりぬく道徳的実践力の育成をめざし、全教育活動における道徳教育の充実を図る。特に心障児との交流、全校菊づくり、特別活動を通して人間愛自然愛を培い豊かな心を育てる。
- 道徳の授業の改善を図り、各教育活動で培われた道徳的実践力の深化、補完、統合を図る。

ウ. 特別活動

- 子どもの自主的実践力と連帯感を培うことをめざし、集団活動を充実する指導を行う。
- 集団活動を通して、集団の成員としての自覚を高め共に向上していく気持ちを高める。
- 所属する集団を自主的に建設しようとする態度能力を高めるとともに、他者にはない自分を自覚し、個性的な実践力を高める。

(2) その他の活動

- 遊びの時間を設定、いきいきとした楽しい教育の場とし、体力の向上をめざす。
- 火曜日六校時を児童会活動の日と設定、集団活動を通して心身の調和のとれた発達を図る。
- 学年の日を有効に使用し学年経営の充実をはかり、個別指導の徹底をはかる。
- 心身障害学級と普通学級との教師相互児童相互の交流の場を積極的に設け、障害を持つ児童に対する理解を深めるとともに連帯感の育成に努める。

(3) 生活指導・進路指導

- 心身ともに健全な子どもの育成をめざし、指導体制を整え、全職員の組織を通じた指導を徹底する。
- 児童理解につとめ心のふれあいを大切にする指導を充実する。
- 父母、地域との連携を深め、協力補完しあって指導にあたり、児童の健全育成を図る。
- 社会に多様な生き方があることに気づかせるとともに、児童一人一人の良さを発見し、その良さを将来にわたって生かすことのすばらしさに気づかせ、社会人となるための基礎となる力を育てる。

6. 本年度の研究主題

児童に考える力をつけるための算数科指導の工夫

7. 本校の特色

児童は明るくすなおであるが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとする力がたりない。

校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童に考える力をつける授業研究を実施している。また、心障学級（ひばり学級）があり、交流教育にも力を入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 生	研 究 員	中 央 研	海 外 派 遣
1	内藤 康（49 体育）	内藤 康（45 体育）	内藤 康（56）	内藤 康（58）
2		渡辺 健一（56 理科）		
3		猪俣 幸雄（58 国語）		
4		八木 文夫（59 体育）		
5		上田 憲二（62 教育課題）		
6		宮本 京子（62 心障教育）		



学 校 名 日野市立日野第四小学校
所 在 地 日野市石田430
電 話 0425-81-0038・3076
順 路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩7分
立川駅北口から高幡不動駅行バス四小前
下車 徒歩3分
京王線高幡不動駅から立川北口行バス四小前
下車 徒歩3分
児 童 数 男282名 女267名 計549名

校長氏名 波多野 坦 教頭氏名 富 田 洋 子

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 下田学舎
明 21.11. 下田小学校
明 41. 3. 日野小学校下田分教場
昭 29. 8.18 校地決定 4,259.14坪
昭 30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開校
記念日とする。
12.22 校章制定
12.25 第三期校舎竣工
昭 31. 3. 5 校旗完成
昭 35. 7.20 プール落成式並祝賀会
昭 36.11. 1 校歌発表会、以後この日を開校
記念日とする。
昭 40. 3.31 防音校舎9教室完成
昭 41. 3.31 防音校舎第2期工事完了
14教室完成
7. 9 下田学舎創立92周年記念式典
昭 43.11.27 統計教育研究指定校として研究
発表会をする。(都、市指定校)
昭 45. 3.31 体育館落成
防音校舎7教室増築完成
昭 54. 3.20 受水槽改修、渡り廊下改修
3.25 防火戸改修、非常放送装置設備、
老朽プレハブ撤去、学級増に伴
うプレハブ3教室増設
6.22 プールサイド全面コンクリート
塗装工事
昭 55. 2. 2 給食室作業場及び休憩室改修工
事
6.20 プール内塗装工事
昭 56 8.25 新校舎への親子方式TV配線、
放送室内のスタジオ形式の改装

昭 56. 8.27 屋上高置水槽改造
8.30 都市ガス化にともなう配管取替
昭 57. 3.27 旧校舎屋上ネットフェンス貼替
4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等
の改修
9. 4 非常階段設置
昭 58. 3.27 自転車置場設置
昭 59. 3.31 仲田小学校分離 141名転出
9.28 プレハブ教室(2)撤去
校庭の体育倉庫新設
昭 60. 8.31 校舎棟工事(窓枠・天井張替等)
給食室改修工事
昭 61. 2.28 体育館玄関・天井・屋上修理
校庭東側フェンス張替工事
8. 4 給食調理室、配膳空間壁撤去工
事
昭 62. 2.23 プールシャワー、目洗い場等工
事
昭 63. 3.27 プール内塗装工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
浦上増太郎	昭 30. 3.29 ～ 36. 3.31
田中 善次	昭 36. 4. 1 ～ 44. 3.31
森 厳	昭 44. 4. 1 ～ 47. 3.31
内藤 達夫	昭 47. 4. 1 ～ 52. 3.31
釜池 博	昭 52. 4. 1 ～ 57. 3.31
竹永 秀雄	昭 57. 4. 1 ～ 60. 3.31
田中 光穂	昭 60. 4. 1 ～ 63. 3.31
波多野 坦	昭 63. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯 8 地区である。甲州街道から約 1 Km 南にへだたった多摩川あたりに位置し、田畑に囲まれ、前面に中央自動車道が走っている。米どころ日野の田園地帯と多摩川梨の産出地域である。

万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が進められ、田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

自ら考え正しく判断し、行動しうる児童の育成をめざして、次の教育目標を達成する。

- 自分の力で考える子
- みんなと協力する子
- じょうぶな体をつくる子
- 最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 本年度は特に「自分の力で考える子」を重点項目とする。
- イ. 思考を高める授業の充実に努め、子どもたちに基礎学力と課題解決の力を身につけさせる。
- ウ. 主として集団活動を通して強固な意志力と規範を身につけさせ、共同、協力の態度と豊かな心を養う。
- エ. 特別活動の充実と創意ある教育活動の効果をいっそう高める。
- オ. 学校・家庭・地域の連携をいっそう深め教育機能の充実を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ① 自主的な学習態度を育て児童の基礎的・基本的な学力を高める。
- ② 具体的な学習を通して確実な知識を身につけさせ創造的な能力の育成を図る。

イ. 道徳

- ① 教育活動全般を通して、道徳性の育成につとめる。
- ② 道徳の時間を通して、道徳的価値を内面的に深めるとともにその実践力の向上を図る。
- ③ 自他の生命を重んじ、人権尊重の精神を身につけさせる。

ウ. 特別活動

- ① 各種の集団活動を通して好ましい人間関係を育てる。
- ② 児童の自発的・自治的な活動を通して集団の一員としての自覚を深め、実践的な態度育成に資する。

(2) その他の活動

- ア. 創意ある教育活動を通して児童の創造性を伸ばし、指導内容の充実を図る。
- イ. 学級における日常の指導を通して望ましい人間関係を育てるために積極的で、きめ細かな指導を行う。

(3) 生活指導・進路指導

- ア. 集団生活の中で必要な基本的生活習慣の指導徹底を図る。
- イ. 児童の発達段階に即して主体的な学び方を身につけさせるとともに、進級・進学に対する適切な指導を行う。

6. 本年度の研究主題

「ひとりひとりが生き生きと学習する指導法の研究」

7. 本校の特色

本校の児童は明るく素直であるが自主性に乏しく、発表力・表現力にやや欠ける面がある。また与えられた仕事や興味関心をもったことには意欲的に取り組むが、ねばり強さに欠けること、生活指導面からは、基本的な生活習慣がきちんと身につけていない等の特色をもつ。

そこで本年度は、社会科学習の指導法を研究テーマにとりあげ、児童自らが、学習課題に意欲的に取り組み、すすんで問題解決する力を身につけられるよう全職員で指導にあたっていく。

また児童の自主性、協力性を培うために、特別活動を中心として、児童集会、たてわり活動等を通して異年令集団のかかわりを持つことによって思いやりのある心の豊かな児童を育て、人間性豊かであるおいのある学校づくりをめざしている。

基本的な生活習慣の育成にあたっては、生活指導委員会を核として教師の共通理解を深め、一貫した教育方針で指導にあたるようつとめている。そしてこれらの指導方針については、学校学年だよりはもとより、保護者会、地域懇談会、運動会等あらゆる機会を通して家庭・地域へ広めていく。

幸い本校は創立115年の歴史と伝統を持つ学校であり、PTAとの結びつきも強い。今後、教師・保護者・地域住民と一そう連携を深めながら本校の教育の充実を図っていく。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員
1		波多野 坦（45・国語）
2		富田 洋子（52・社会）
3		田森 脩詮（48・国語）
4		飯田 国代（60・特活）



学 校 名 日野市立日野第五小学校
所 在 地 日野市多摩平6-21-1
電 話 0425-81-0407(代)・0445
順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車 徒歩3分
甲州街道を通るバス(京王・都)に乗
り日野自動車工場前下車 徒歩5分

児 童 数 男391名 女345名 計736名(病弱児4)

校長氏名 上 山 洋一郎

教頭氏名 信 夫 清 彦

1. 沿革の概要

- 昭 34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
6. 8 第1期工事完成 新校舎にて授業開始(現在地)
昭 35. 9.13 第2期工事完成 2部授業解消
昭 36. 5.31 第3期工事完成
8.28 大プール、小プール竣工
昭 38. 2.20 校章制定
昭 39. 3.11 校歌発表会
3.25 校旗制定(卒業記念寄贈品)
昭 40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
昭 42. 2.23 都、市研究協力校発表会
昭 43. 5.20 体育館竣工
昭 44. 3. 3 創立10周年記念式典
昭 50. 4. 1 訪問学級設置
昭 51. 3.31 校舎全面的改修着手
昭 54. 3.31 校舎5教室改修
昭 55. 3.31 校舎5教室改修
昭 56. 3.31 校舎6教室改修(H校舎)
給食調理室サッシ改修(外側)
昭 57. 3.31 校庭側旧校舎サッシ改修(外側)
音楽室マド改修
昭 58. 3.31 南側旧校舎サッシ窓改修(1階)
H校舎2階廊下サッシ窓改修
昭 59. 3.31 H校舎1階廊下サッシ窓改修
理科室改修、玄関ドア取付
キューピクル取替、給水管理設
全面取替、校舎南側生垣にする

- 昭 60. 3.31 体育館床研磨とボーダーライト
取付、第二音楽室改修
昭 61. 3.31 渡り廊下屋根取替 2年・高学
年校舎雨もり防止、プール・東
側防球フェンス工事
昭 62. 9. 校舎新築決まり

4. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
増島 光一	昭 34. 4. 1～昭 36. 3.31
浦上増太郎	昭 36. 4. 1～昭 39. 3.31
福寿 文雄	昭 39. 4. 1～昭 42. 3.31
星野 正男	昭 42. 4. 1～昭 47. 3.31
荒井 一男	昭 47. 4. 1～昭 49. 3.31
三井 知夫	昭 49. 4. 1～昭 52. 3.31
多昌 直之	昭 52. 4. 1～昭 56. 3.31
田中 光一	昭 56. 4. 1～昭 60. 3.31
上山洋一郎	昭 60. 4. 1～現在

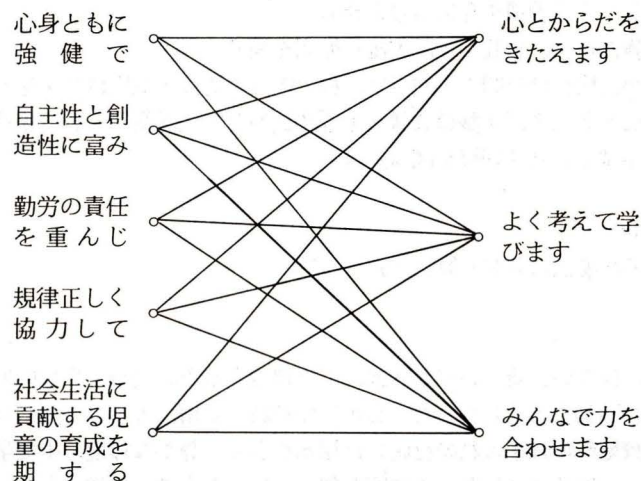
3. 地域の概況

昭和33年日本住宅公団により日野台地が開
発され、多摩平団地が建設された。この一角に
日野第五小学校が設置された。南は中央線、北
は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス
網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、
付近には日野自動車など4つの大会社があり近
代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場などが整備され立
木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地として
よい教育環境となっている。

4. 教育目標＜最後までねばり強く＞



5. 本年度の重点目標 「みんななかよし、楽しい学校をつくります」

6. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ひとりひとりの児童の基礎学力の伸長を期するために、指導計画の検討、教材研究、授業研究を十分行い児童の思考過程を重視しながら指導にあたる。特に、算数の研究を核にすえ、児童の興味や自発性を喚起し、学習の意欲づけと互いに励まし協力して学習する態度を育てる。

イ. 道徳

- 本年度の重点目標の具現化を図るため、特に本校児童の実態に即して、③整理、物・金銭の活用 ④自主、自律 ⑤自由、責任 ⑧不とう不屈 ⑨思慮、節度 ⑯親切 ⑰寛容 ⑱勤労の8項目を強調し、道徳的心情を深化して、道徳的实践力のある児童の育成に努める。

ウ. 特別活動

- 毎週一定時程に設定し、学級会活動、委員会活動、クラブ活動、学級指導の実践を通して、集団の一員としての自覚を深めるとともに、自主性、自治性を育て、協力的態度をもった個性豊かな人間形成に努め、実践力を育成する。

(2) その他の活動

- 創意を生かした教育活動として、1～2時間の集会活動を企画し1年～6年のたてわり活動、兄弟学級の間を設定し、重点目標の達成を図る。
- 毎週火曜日を「学級の日」とし、各学級、学年で年間を通した計画をたて、個人指導、教育相談、花づくり、集会活動などを行う。

(3) 生活指導・進路指導

- 教育目標の具現化を図るため、重点を「力を合わせてなかよくしよう」とし、毎月の目標・具体的方法を設定し計画・実践・評価のサイクルの中で徹底を図る。
- 進路については、児童の個性や能力の伸長・生涯教育などの立場から中学進学・将来の希望などについて、道徳・特別活動の中で指導する。
(中学に対する不安を解消し、希望をもって進学するように留意する。)

- 「五小の子どもの一日」の児童用カードの指導を通して、学校および社会生活における基本的行動様式や望ましい生活習慣を身につけさせる。
- 安全指導・避難訓練は、年間11回実施し徹底を図る。
- 美化デー・安全点検日は年間11回設け、校舎内外の清掃・危険個所を除く。
- 生活指導全体会（年間3回）職員会議・土曜職員朝会で生活指導・教育相談・心身障害児の問題・指導について協議し、共通理解を図る。

7. 本年度の研究主題

学習意欲を高める指導法の研究（算数）

8. 本校の特色

住宅公団の進出に伴ない、新しい建築様式により建設された。当時は少ない児童数と広く静かな校域の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築を行ない様相は一変したが、校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位のものが多く、肥満児は最近減少している。学校では、地域や児童の実態に即し、創意をもって日々実践し、成果をあげている。

本年度は特に、心身ともに健全な児童の育成をめざし、望ましい基本的行動様式の習慣化・定着化をめざし、指導の徹底を図るため「みんななかよし、楽しい学校をつくります」を重点目標にとり上げた。さらに具現化させるため、学級の日や学校行事では体力づくり・運動会・音楽会・演劇教室や兄弟学級による教育活動を設定した。

- 各学年では発達段階に応じ、学習意欲を高める指導法の研究を主題に校内研修活動に力を入れ、自主協力学習を進めていく。
- 火曜日に学級の日を設け、児童相互、児童・教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導・創意ある教育活動を実践していく。
- 兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切に、ミニハイキング・七夕行事等を通じ、最後までねばり強い活動を推進させる。
- 体力調査を基に、児童が自分の目標をもって、最後までねばり強く挑戦する児童を育成する。

9. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研究員	開発委員	道徳助言研	研究生	海外派遣
1		上山洋一郎 （42 道徳）	北野 義昭 （60 図工）	上山洋一郎 （42・44）	信夫 清彦 （57 体育）	上山洋一郎 （48 ヨーロッパ）
2		信夫 清彦 （57 体育）				信夫 清彦 （60 アメリカ）



学 校 名 日野市立日野第六小学校
所 在 地 日野市多摩平 3 - 2 1
電 話 0425-81-4686・0366
順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩 13 分
京王バス 小西六裏門下車 3 分
児 童 数 男 311 名 女 341 名 計 652 名

校長氏名 清 水 七 郎

教頭氏名 増 賀 従 男

1. 沿革の概要

- 昭 39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として
設置 児童 1 年～3 年
7 学級 2 6 3 名
- 昭 40. 4. 1 日野第六小学校として開校
1 4 学級 児童数 5 1 5 名
教職員 2 1 名
9. 6 プール完成 (6 コース 2 5 m)
- 昭 42. 2.21 校歌の発表会
- 昭 43. 2.22 児童の体力づくりの研究発表会
6.19 南校舎 (普通教室 1 1、職員室、
校長室) 完成
- 昭 45. 2.28 屋内体育館完成
3.16 落成式举行 (学校、PTA 共催)
- 昭 47. 2.28 正門前舗装、北西門取付
3. 「児童の社会性育成の実践指導」
発表 (市研究協力校)
4. 「考えさせる授業への手だて」発足
- 昭 49. 4. 南校舎 3 階増築 (普通教室 5、
音楽室、管理室 4)
5. 南門完成
10.26 給食調理室増改築完成
- 昭 50. 3.18 4 9 年度都愛鳥モデル校に指定
6.28 開校十周年を祝う会
12.22 東京都選挙管理委員会より感謝
状を受ける。永年選挙ポスター
コンクールに協力したため。
- 昭 52. 1.10 体育倉庫完成
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭 54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭 56.11.18 六小こどもまつりの実施
- 昭 58.11.26 展覧会開催 (昭和 42 年以来 16
27 年ぶり)。

- 昭 58. 3. ～ 体育館屋根等の塗装、大プール
ビニール張り、南校舎内装改修
- 昭 59. 7. 北校舎廊下の張り替え
8. 中庭の舗装及び排水溝の整備
- 昭 60. 3. 小プールのプールサイドモルタル
舗装改修
- 昭 61. 9. 北校舎窓枠交換工事完成
12. 校庭南側生垣完成
- 昭 62. 7. 飼育小屋の改修
- 昭 63. 3. 体育館に体育倉庫と便所を増設

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月 ～ 年 月
加々美良英	昭 40. 4. 1 ～ 昭 43. 3.31
峰岸敬次郎	昭 43. 4. 1 ～ 昭 46. 3.31
新海 圭三	昭 46. 4. 1 ～ 昭 50. 3.31
安積 利治	昭 50. 4. 1 ～ 昭 53. 3.31
光永 久夫	昭 53. 4. 1 ～ 昭 57. 3.31
石井 三士	昭 57. 4. 1 ～ 昭 62. 3.31
清水 七郎	昭 62. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住宅地域の中に位置し、近くにコニカ、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、次のような児童の育成を目ざす。

- 身体と心をきたえる子
- 考えながら学ぶ子
- みんなと仲よくする子
- がんばりぬく子
- 進んで働く子

○生きものを大切にする子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 教育活動全体にわたって、特にがんばりぬく力と進んで働く態度を育てることに重点をおく。
- イ. 各教科・道徳の指導については、考えながら学ぶ態度の育成をめざして、協力教授組織「ふれあう授業」の特性を生かした実践をすすめていく。
- ウ. 特別教育活動を児童の主体的創造的な活動の場とし、協力しあう人間関係を育てる。
- エ. たくましい体と心をきたえるために、全校的な行事や日常的な実践活動を企画し、研究をすすめていく。
- オ. 愛鳥モデル校の指定を生かし、日常的な活動に取り組み、児童が生きものを大切にする心を養うとともに、生命の大切さについても考えさせる。
- カ. 教育目標を達成するために、父母および地域の連携を深める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 授業研究「みずから学ぶ子どもを育てる指導法の研究」を追求する。特に国語科を中心とし、読むことに重点をおく。
- 子どもたちのつまづきをなくす授業を学年を中心に研究していく。また、目標をもってやりぬく力を育てる。
- 基礎学力の充実をはかり、学習に遅れ気味な児童に対し、個別指導を図る。

イ. 道徳

- 心ゆたかで、助けあい、認めあう、人間関係の育成をめざす。
- 進んではたらき、最後までがんばる態度の育成をはかる。
- 生命の尊厳についての意識を育てる機会を多くする。

ウ. 特別活動

- 児童会活動を楽しみ学校・規律ある生活をめざす児童の主体的な場とする。特に委員会活動、学級会活動との関連を重視する。
- 学習集団の活動を育成し、進んで働けるような場を多くする。
- たのしいクラブ活動をめざし、児童の主体的な活動を大切にする。

(2) その他の活動

- たてわり集団を組織し、異年令集団における助け合いや遊びの機会を多くもつ。
- 児童の創意を大切に、自発的に参加できる行事を企画実践する。

(3) 生活指導・進路指導

- がんばりぬく力と進んで働く態度を育てるとともに、基本的な生活習慣の定着をはかる。
- 児童の個性を理解し、ひとりひとりの心身の発達に応じた指導をはかる。
- 心身に障害のある児童に対し、共通理解をはかり、学校全体で見守り、育成にあたる。

6. 本年度の研究課題

今年度授業研究のテーマを「自ら学ぶ子どもを育てる指導法の研究」と定め、国語科を通し一人一人の児童の読む・聞く・話す力を深める研究をすすめていく。又日常の学習態度を育てるために、特に「聞くこと」の指導も全校で取組んでいく。

7. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を作成し、学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 「ふれあう授業」として、協力教授組織を導入した指導を試みている。
- (6) 子どもが創る学校づくりの一環として、すすんで働く子の育成を目ざしている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員	現 代 化 委 員	文 部 省 中 央 研 修
1		清 水 七 郎 (47・学校経営)	清 水 七 郎 (49・教育方法)	清 水 七 郎 (50)
2		増 賀 従 男 (56・国 語)	小 板 橋 五 佐 男 (50・算 数)	
3		小 板 橋 五 佐 男 (45・算 数)		
4		伊 勢 恒 二 (59・社 会)		



学 校 名 日野市立潤徳小学校
所 在 地 日野市高幡402番地
電 話 0425-91-0409・0410
順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩5分
児 童 数 男234名 女206名 計440名

校長氏名 石 黒 健 教頭氏名 西 田 敦 子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。
- 明 11.11 三沢701番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する。
- 明 20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。
- 明 26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更。
- 明 34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。
- 明 42. 5 分学校昭景尋常小学校を廃止し、落川分校とする。
- 昭 16. 4 校名を潤徳国民学校と変更。
- 昭 22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更。
- 昭 27. 5 創立80周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成する。
- 昭 33. 2 校名を日野市立潤徳小学校と変更。
- 昭 34. 4 給食調理室完成。
- 昭 37.10 大・小プールならびに更衣室完成。
- 昭 38.11 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）。
- 昭 40.12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰される。
- 昭 41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止。
- 昭 44. 2 屋内体育館落成。
- 9 日野市立日野第八小学分離開校。
- 昭 45. 4 日野市立百草台小学校分離開校。
- 昭 46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。
- 4 普通教室9教室、学校図書館増築。
- 昭 48. 5 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成
- 昭 49. 4 日野市立南平小学校分離開校。
- 昭 52. 4 日野市立程久保小学校分離開校。
- 昭 55. 9 校庭整備完了。
- 昭 56~57 校舎内の塗装完了。
- 昭 58. 2 研究発表会（国語）
- 5 開校110周年記念式典挙行。
- 昭 60. 2 研究発表会（全学級公開、国語）
- 昭 61. 8 体育館バスケットゴール新設（電動式）
- 昭 62. 1 プールのフェンス工事完了。
- 昭 62.7~8 家庭科室、音楽室改修工事完成
- 昭 63. 3 プール・シート防水完成、図書室本館に移動・新設

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
大塚四郎右衛門	創 立
覚井 諦暁	明 9.12 ～ 明 11.11
和田作太郎	明 11.11 ～ 明 15.11
土方 喜久太郎	明 15.11 ～ 明 17. 2
宮倉保五郎	明 17. 2 ～ 明 19.10
小宮太之助	明 19.10 ～ 明 20.10
須崎 和蔵	明 20.10 ～ 明 31. 3
小宮彌一郎	明 31. 2 ～ 明 34. 4
加藤菊次郎	明 34. 4 ～ 明 36. 1
佐藤 良輔	明 36. 1 ～ 明 42. 4
沖倉 与一	明 42. 4 ～ 明 43. 4
荒木田大夫	明 43. 5 ～ 明 45. 3
小宮彌一郎	明 45. 4 ～ 大 12. 3
平 杉蔵	大 12. 4 ～ 大 13. 3
矢沢 久司	大 13. 3 ～ 大 14. 9
小泉 栄一	大 14.10 ～ 昭 3. 3
広井 博昭	昭 3. 4 ～ 昭 7. 9
重松 正顕	昭 7. 9 ～ 昭 14. 7
鈴木 慶蔵	昭 14. 7 ～ 昭 22. 2
赤坂 元春	昭 22. 2 ～ 昭 27. 9
塚本 正	昭 27.10 ～ 昭 37. 3
尾崎半次郎	昭 37. 4 ～ 昭 41. 3
塚本 正	昭 41. 4 ～ 昭 43. 3
溝呂木桂次	昭 43. 4 ～ 昭 47. 3
星野 正男	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3

村田 守正	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
黒沢 保雄	昭 55. 4 ～ 昭 61. 3

篠宮 忠男	昭 61. 4 ～ 昭 62. 3
石黒 健	昭 63. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するにいたった。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

4. 教育目標

敬 愛	○わかるまで考える子
自 由	○すすんではたらく子
勤 労	○思いやりのある子
	○からだをきたえる子

学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の精神に徹し、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成をめざして、教育目標を達成するために特に「自主的に問題に取り組み、やりぬく子どもを育てる」ことを指導の重点として、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。

- ① 児童の実態に即して具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化をめざして学年・学級経営を充実する。
- ② 教育活動全体を通して、児童が主体的・能動的に参加できるように配慮する。
- ③ 児童が主体的に学習する能力の育成をめざし、授業研究を推進する。
- ④ 保護者、地域との連携を深め、教育内容の充実につとめると共に開かれた学校をめざす。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童ひとりひとりの能力や特性を大切に、児童が主体的に学習する授業の実現をめざし、生涯を通じて学ぶ力の基礎を培う。

- 児童自らがめあてをもって学習にとりくみ、成就感を味わえる指導をめざす。
- 教材研究に努め、児童の思考過程にそった指導、自己評価の効果的活用などを通して、基礎的、基本的な内容の定着を図る。
- 多様な学習方法の開発、体験的学習の工夫、教材教具の活用等を通して、学習効果を高める
- 健康でたくましい体力づくりをめざして体育指導を充実する。

イ. 道徳

児童相互や児童と教職員との信頼関係を深め、児童が自らすすんでやりぬく道徳的実践力の育成をめざし、充実した道徳指導を行う。

- 基本的行動様式を身につけさせ、意欲的な生活態度を育てる。
- 教育活動全体を通して、助け合い思いやるやさしい心を育てる。
- 資料の効果的な活用を通して、道徳の授業の充実を図る。

ウ. 特別活動

児童の自主的・実践的態度と連帯感を培うことをめざし、集団活動へ積極的に参加する意欲を育て高める。

- 学校生活に対し、すすんで考え、主体的に解決しようとする態度を育てる。
- 集団活動の内容や方法をくふうし、児童の自己表現の場を多くとり入れる。
- 児童活動・学校行事等へ参加することをとおして、互いに認め合い助け合う人間関係を育てる。

(2) その他の活動

明るく充実した学校生活の実現をめざし、創意を生かした教育活動を推進する。

- ・学年を越えたたてわりの交流によって、社会性や連帯感を育てる。
- ・奉仕的・勤労体験の場をとおして進んで働き意欲的に物事をやりぬく態度を培う。
- ・「読み聞かせ」の時間を設け、豊かな情操を高める。
- ・地域の豊かな自然や文化に親しませ、自然や文化を大切にする態度を育てる。
- ・中国帰国子女を温かく受け入れ、国際理解の教育をすすめる。

(3) 生活指導・進路指導

心身ともに健全な児童の育成をめざし、指導態勢を整え、全職員の共通理解をもとにして徹底した指導に努める。

- ・教師と児童、および児童相互の心のふれあいを大切にし児童理解を深める。
- ・教師と児童との信頼関係や児童理解にもとづき、児童の個々に応じた指導に努める。
- ・学校生活にかかわる望ましい基本的生活習慣の定着化を図る。
- ・児童の健康と安全を確保し、危険防止に努める。
- ・父母および地域との連携を深め、協力して指導にあたる。

6. 本年度の研究主題

主体的な学習態度を育てる指導法の研究（社会）

7. 本校の特色

創立115年の歴史と伝統をもつ学校である。潤徳小を母校とする父母、新しく住居を構えた父母、集団住宅に住む父母等があり、教育に対する関心や意識が多様である。

- ・保護者、地域との連携を強め、教育力を高め、児童の健全育成につとめている。
- ・一つ一つの教育活動、経営の意義を全職員で共通理解し、教育目標の具現化につとめている。

8. その他（教職員の研究歴）

研 究 生	開 発	そ の 他
石黒 健（50 体育）	西田敦子（60 家庭）	西田敦子（5 海外派遣）



学 校 名 日野市立平山小学校
所 在 地 日野市平山4-8-6
電 話 0425-91-4123・0512
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩7分
児 童 数 男307名 女283名 計590名

校長氏名 蓮 池 守 一

教頭氏名 土 方 邦 男

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といい修業年限は8カ年）
- 明 17. 平山598番地に新築移転
校名を平山尋常小学校と改める。
- 明 35. 5 校名を平山尋常高等小学校と改める。
- 明 41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする。
- 昭 16. 4 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める。
- 昭 22. 4 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める。
- 昭 32. 2 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める。
- 昭 38.11 市制施行により日野市立平山小学校と改める。
- 昭 42. 5 平山4-8-6に移転する。
- 昭 46. 3 滝合小の新設に伴う学区変更、平山小学校は浅川の南側の地区となる。
- 昭 53. 4 平山台小の新設に伴う学区変更、平山苑と京王住宅地区を分離する。
- 昭 57. 8 校舎窓、屋上、体育館内部補修
- 昭 58. 5 開校110周年祝賀式典挙行
- 8 本館南側残部 特別教室北側窓取替
- 昭 59. 1 本館北非常用階段設置
- 11 体育館外壁改修
- 昭 60. 3 第二幼稚園移転校庭拡張
- 8 教室廊下側窓改修
- 昭 61. 7 正門改修
- 昭 62. 1 校庭整地

昭 62.

本館北側窓アルミサッシに改修
工事 本館防火シャッターおよび扉改修工事 本館外壁全面塗装工事

2. 歴代校長

代	氏 名	年月～年月
初	梁 義 伯	明 6. 5 ～明 12. 1
2	大 沢 教之助	明 12. 1 ～明 20. 3
3	石 井 芳 丸	明 20. 4 ～明 30. 5
4	吉 永 信 丸	明 30. 6 ～明 35. 5
5	小 宮 彌一郎	明 35. 6 ～明 45. 3
6	古 屋 障 司	明 45. 4 ～大 2. 5
7	勝 又 房太郎	大 2. 5 ～大 4. 5
8	平 杉 藏	大 4. 6 ～大 9. 3
9	上 田 富 弥	大 9. 4 ～大 15. 3
10	杉山 喜知太郎	大 15. 4 ～昭 6. 3
11	石 川 雄 丸	昭 6. 4 ～昭 11. 2
12	鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ～昭 13. 3
13	石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ～昭 21. 3
14	飯 塚 節 三	昭 21. 3 ～昭 22. 3
15	田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ～昭 28. 3
16	森久保 惣 治	昭 28. 4 ～昭 34. 3
17	高 橋 本 義	昭 34. 4 ～昭 37. 3
18	加々美 良 英	昭 37. 4 ～昭 40. 3
19	後 藤 正 太	昭 40. 4 ～昭 42. 3
20	安 積 利 治	昭 42. 4 ～昭 47. 3
21	小 野 晃	昭 47. 4 ～昭 51. 3
22	深 沢 真 人	昭 51. 4 ～昭 55. 3
23	林 元 美	昭 55. 4 ～昭 58. 3
24	伊 藤 智 章	昭 58. 4 ～昭 61. 3
25	蓮 池 守 一	昭 61. 4 ～

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれ、西は八王子市に接する平地、田んぼ、畑等の農地もいくらか残り自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年は、団地、都営住宅、造成地住宅が建造され、学校周辺は農地の区画整理もすすみ、道路や橋も拡張され市街化されつつあり、他地域からの転住者が多い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校は、教育基本法及び学校教育法を基本とし、平山小学校の地域的特性、児童の実態に基づき次の教育目標を定める。

- | | |
|-----------|--------------------|
| 健康安全教育の充実 | ○健康で明るい子ども |
| 基礎学力の充実 | ○よく考えて 最後までやりぬく子ども |
| 自主性の育成 | ○進んでよいことをする子ども |
| | ○力を合わせて 働く子ども |

なお本年は、「よく考えて最後までやりぬく子ども」の育成を重点とする。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

児童一人ひとりが、個性・能力を発揮し、自己の目標に向かって主体的に行動する意欲と、最後まで粘り強くやり抜く実践的な態度を育てるための教育課程の編成と実践に努める。

- 強い意志と丈夫な体力づくりをめざし、児童が自ら目あてをもって、継続的に取り組める指導法の工夫と環境整備に努める。
- 自ら進んで学習する態度を養い、各教科等における基礎的・基本的内容を確実に身につけさせるために、教材研究を深める学年会を重視する。
- 集団の一員としての自覚を高め、児童の自主的・実践的態度を身につけさせるために特別活動や、その他の体験活動を充実し、変化に富んだ魅力ある学級、学校づくりをめざす。
- 教育活動全体を通して、自然や人との触れ合いを深め、人権尊重の教育と、思いやりのある心の教育の充実を期していく。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- 児童一人一人の基礎学力の定着をめざし発達段階・個に応じた指導法の研究に努める。
 - 児童自らが考え、課題に向かって努力していく主体的学習の開発に努め、思考力と探求的態度を育てる。
 - 指導内容の精選を図り、系統化と組織化により、楽しく豊かな授業の創造に努める。
- なお本年は、国語科作文指導を通して「生活を見つめ考える力」を育てる指導法の実践研究を行う。

イ 道徳

- 教育活動全体を通して、思いやりと自己抑制力をもった、心の教育に努める。
- 社会の一員としての役割を自覚し、相互に認め合い、協力しあっていく実践的態度を身につけさせる。
- 基本的行動様式の定着化と、社会生活規範の確立に努める。

ウ 特別活動

- 児童の実態、学年の発達に応じた指導を適切に行い、楽しい学校づくりを目指す。
- 児童の主体性・創意性を生かした委員会活動、クラブ活動を通して自主的・実践的態度を

育てる。

(2) その他の活動

- 児童が主体的・創造的に取り組む集会活動を活発化し、学校生活に変化と潤いを持たせる。
- 学級の時間を設定し、教師と児童、児童相互の触れ合いを通して、人間関係を深める。
- 地域の特性を生かした勤労体験学習の機会と場が持てるようにする。

(3) 生活指導・進路指導

- 学習・規律・遊びの三分野にわたって、生活の基本目標を学年ごとに立て、基本的行動様式と社会生活規範の確立を図る。
- 自己を確立し、社会・集団の一員として、希望を持って、明るく強く生きる力を、身につけさせる。
- 日常の行動の中で、正しく判断し、行動できる子ども、友達を大切にする子どもを育てる。
- 生命尊重・人間尊重の精神を基本とした、安全教育に努める。

6. 本年度の研究主題

国語科作文指導を通して「生活を見つめ考える力」を育てる指導法の開発研究

7. 本校の特色

- (1) 本校は開校 110 余年の歴史と伝統をもつ学校である。児童の中には曾祖父母、祖父母、父母と 4 世代にわたって在校した者もある。学校周辺の開発が進み新しく居住する者も多い。したがって地域からは多様な要望が多く、また、期待も大きい。この中で古き良きものを大切に、新しさを求め、良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は素直であるが、やや主体的な活動力を欠き、ねばり強さが少ない。「最後までやりぬく子」を、教育目標に定め教育をすすめている。
- (3) 校内には、130 m² 余りの広い花壇がある。これを最大限に生かし、情操豊かな児童の育成に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

No. \ 内職	研 究 生	研 究 員	海 外 派 遣
1	蓮池 守一（46 教育法）	蓮池 守一（43 社会）	蓮池 守一（62 アメリカ）
2		末次 久利（57 算数）	
3		加藤 和俊（57 理科）	
4		松尾けさ美（62 学校保健）	



学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明3-2
電 話 0425-83-3907・3908
順 路 JR 中央線日野駅下車 徒歩約10分
児 童 数 男334名 女350名 計684名

校長氏名 小 幡 建 教頭氏名 片 岡 千寿子

1. 沿革の概要

- 昭48. 4 日野市立日野第七小学校として開校。12学級 児童384名
トラックを除く運動場全面に洋芝の植付け。
- 6 校章制定
9 校旗制定
12 校歌制定
- 昭49. 3 日野市立日野第七小学校「校舎体育館落成記念式」及び「校歌」発表会
3月1日を開校記念日に制定
第1回卒業式 45名卒業
- 4 開校2年めの入学児童77名
- 昭52. 4 開校5年め 入学児79名、13学級となる。教室不足のため、プレハブ2教室増設
- 10 校舎の増築工事着工
- 昭53. 4 学級数14となる。
- 5 増築工事竣工 普通教室6 図書室1教室
- 昭54. 4 第7回入学児童93名
15学級となる。職員23名
- 昭55. 4 第8回入学児童111名
17学級となる。職員24名
- 昭56. 4 第9回入学児童128名
転入児童2年以上82名
18学級となる。職員25名
- 昭57. 4 第10回入学児童128名
19学級となる。職員26名
- 昭58. 4 第11回入学児童107名
増築工事竣工、普通教室4、教材室等3、昇降口、便所
創立10周年記念式典

- 昭59. 4 第12回入学児童123名
昭60. 4 第13回入学児童120名
昭61. 4 第14回入学児童106名
昭62. 4 第15回入学児童103名
昭63. 4 第16回入学児童115名

2. 歴代校長

	氏 名	年月 ～ 年月
初代	星野 武之	48.4.1 ～ 52.3.31
2代	上野 正彦	52.4.1 ～ 56.3.31
3代	梅田 茂	56.4.1 ～ 58.7.27
4代	和田 国平	58.9.1 ～ 63.3.31
5代	小幡 建	63.4.1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約10分。日野台地に設置されている。本校の所在地は、日野市神明にあり、校舎の周囲は、住宅が建ち始め、昔ほどの緑は眺められなくなっている。

屋上に登ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地をへだてて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には、遺跡が発掘されるという。まことに環境に恵まれた場所に設置されている。

本校の児童の約60%は中央線の線路を経たてた西側の住宅地に居住している。この地域はここ10年余りの間に、旧甲州街道ぞいに急に増設されてきた新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅が主である。尚本校の周囲には、大学、市庁舎、消防署と、子どもが学習するに最適の地域として恵まれている。しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通量のピークが、児童の

登校時刻と合致し、しかも中央線をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

4. 学校の教育目標

人権尊重の精神を基調とした、心身ともに調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標の具現化に努める。

- 自分の力で考える子
- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりとおす
- じょうぶな体をつくる子

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 生涯学び続ける児童の育成を目指し、各教科等の基礎的・基本的内容を身につけさせる。
- イ 学校教育活動の中核をなす、授業の充実を図り、児童の個性や能力に応じた指導法の改善に努める。
- ウ 児童が自ら学び活動することによって、将来自己表現を図れる基礎を養う。
- エ 心身ともに健康で、たくましく生き、互に心のふれあいを大切にすることを通して、心豊かな思いやりのある児童の育成を図る。
- オ 地域に根ざした教育活動を通して「心のふるさと」となる学校、郷土の形成者としての資質を養う。

5. 本年度の指導の重点

本年度の焦点目標「思いやりのある子」

(1) 各教科

- 基礎的・基本的事項を身につけさせるために、学習指導の充実をはかる。
- 児童が自ら学ぶ学習活動のあり方をくふうする。
- 授業の充実をめざし、教育環境の整備に努め、活用をはかる。

(2) 道徳

- 全教育活動を通し、思いやりの心を育てることによって、人間愛への高揚に努める。
- 道徳時間の充実をめざし、自主・自律・寛容・友情・感謝・協力・動植物の愛護を特に重点項目とした指導を進めるとともに、実践力を育成する。

(3) 特別活動

学級会活動を基盤とし、児童会活動・クラブ活動への一人一人の参加意識を高めることにより自主的な態度と、思いやりのある心を育て、健康で明るい充実した学校生活をおくらせる。

(4) その他の活動

- たてわり班での活動を通して児童の連帯意識を育てる。
- 特別活動との関連を図りながら、七小児童の一員としての意識を高める。

(5) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、相手の立場を考えて行動できる児童の育成に努める。
- 「思いやりのある子」を育てる生命尊重の教育を推進し、児童の健全育成をはかる。
- 全教職員が共通理解のもとに校内、校外の生活指導の徹底をはかる。
- 校外生活指導の充実をはかるとともに、父母・地域の協力を得、連帯感を高める。
- 小学校・中学校の連携を密にし、生活指導のいっそうの充実をはかる。

イ 進路指導

- 児童理解に努め、児童が自己の性を自覚できるように援助する。

6. 本校の研究課題

「思いやりのある子を育てる生命尊重の教育」 ― 性教育を通して ―

- 七小の性教育の目標を更に明確にして内容を充実させて授業研究をしていく。次年度に向けて、教育過程、指導計画を見直し総合的なプランを考え具現化して行く事にも着手する。
- 低、中、高の三分科会を構成し、授業研究を中心に研究をすすめる。

7. 本校の特色

- (1) 中規模校の特性を生かし学校づくりを進める。知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進めるために、児童、教師相互の交流を創意ある教育活動を通して深めていく。
- (2) 学校環境をより充実させる。学校が整えるべき学習環境及び自然環境充実のため、七小校地内児童クラブ移築により芝をなくし、池、学級園を造りかえ、環境保全のための全体計画を作成し、実施にとりくむ。

8. そ の 他

	研 究 員	開 発 委 員	その他。海外派遣	道徳助言研
1	小幡 建 (53)	小林 博司 (61)	小幡 建 (57.短期)	片岡千寿子 (55.59.60)
2	片岡千寿子 (57)			
3	小杉 博司 (57)			



学 校 名 日野市立日野第八小学校
所 在 地 日野市三沢200
電 話 0425-91-2411・2412
順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩15分
児 童 数 男288名 女305名 計593名

校長氏名 草 莉 和 志

教頭氏名 江 口 耕 一

1. 沿革の概要

- 昭44. 1. 2 開設が決定。工事に着手。
4. 1 八小関係の教員並に児童を分離し、授業を開始。
8.16 日野第八小学校開校。
校長 金子武夫 教頭 長井新次郎着任
教諭16名 事務主事1名が補せられる。
9. 1 415名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のためそのまま潤徳小で授業を行う。
11. 1 開校式を挙行。開校記念日と決定。
11.25 校舎落成祝賀式挙行。
昭45. 1.15 公募により校章決定。
4. 1 14学級となり、プレハブ2教室増築。
7.15 校旗ができる。
7.16 25m6コースのプールが完成し、プール開きを行う。
9. 7 校歌完成。作詩 米津千之、作曲 渡辺浦人。
昭46. 4. 1 15学級 プレハブ教室増築。
6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する。
9.15 体育館工事着工。
昭47. 2.15 体育館落成式を挙行する。
4. 1 プレハブ2教室増築。
プレハブ5教室使用。
6.20 西武百草団地入居のため250名の児童転入。
昭48. 3. 本校舎8教室の増築完了。

- 昭48. 5. 校地前程久保川の工事完了。
昭49. 3. 1 校門が完成。
4. 1 学級増のため、プレハブ5教室を使用。
8.15 プレハブ2教室が増設され、図書室、教材室として使用。
9.10 都市水道に切替え。
昭50. 1.20 校地拡張。西門整備完了。
2.20 第3期増築完了。普通教室6、教材室2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板。
7.15 プール市水切替工事完了。
10.25 体育館床塗替え。
12.20 砂防(10×8m)完成。
昭52. 4.16 プレハブ教室、調理室改修工事完了。
昭53. 4.15 プレハブ2階建工事完了。
教室8、図書室、音楽室として使用。
昭54. 3.31 プレハブ2階建 2教室増築工事完了。
11.17 開校十周年記念式典。
昭55. 3.31 三沢台小学校を分離。
プレハブ全教室を撤去。
昭57. 9.10 運動場全面改修完了。
昭59. 8.31 防球フェンス(5×90m)完成
図書室(2教室打抜き)完成
昭60. 9.26 花壇防球フェンス(5×35m)完成
花壇増設(5×1.5m, 3ヶ所)
プール更衣室通路舗装
昭61. 3.24 体育館屋根塗装・雨どい工事完了
8.27 体育館照明設備新設

昭 62. 1.31 プール機械室改装

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
金子 武夫	昭 44.8 ～ 48.3
岡本 省吾	昭 48.4 ～ 53.3
古谷 洋太	昭 53.4 ～ 58.3
澁谷 義一	昭 58.4 ～ 63.3
草薙 和志	昭 63.4 ～ 現在

3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の中間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で40分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲がりくねっていて危険な所もある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、次のような子どもを育成する。

- ア. 健康でたくましい子
- イ. 深く考えやりぬく子
- ウ. 美しい豊かな心の子
- エ. 力をあわせはげみあう子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、互いに尊重し合う教育を推進する。
- イ. 全教育活動を通して、強い心やたくましい体力を養うように努める。
- ウ. 日々の授業の充実を図るために、学年会や教科部会など組織を生かした教育の実践に努める。
- エ. 家庭・地域との連携を深め、地域の実態にそくした教育活動を工夫するように努める。
- オ. 帰国子女の教育について方策を練り、子女の適応指導を進めると共に、児童の国際理解を深める。
- カ. いじめの問題が起こらないように、ひとりひとりの心を大切にし、児童理解に基づいた学級経営の実現に努める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 教材を精選し、基礎的基本的事項が身につくように指導法の工夫を図る。
- 学習課題をつかみ、課題追求の方法を工夫し、調べたり結果をまとめたり、考えを深めたりする学習方法を身につけさせ、学ぶ喜びを知らせ、学ぶ意欲を高めさせる。

イ. 道徳

- 人として生きるための基本的行動様式を身につけさせ、正しい判断力、実践力を高めさせる。
- 自然を愛し、学校、郷土を愛する心を育てる。

ウ．特別活動

- 生きる喜びを味わわせるために、指導計画の見直しを常に行い、児童の創意工夫を生かせるようにする。
- 児童を学級会活動やクラブ活動等に積極的に参加させ、自主性、自発性を育てると共に望ましい集団の育成を図る。

(2) その他の活動

- 異年齢集団による諸活動で連帯感、責任感を育てる。
- 特別活動との関連を密にし、練習、結果、交流の場を設け、所属感、充実感、成就感を持たせる。
- 帰国子女の教育について、講師や担任が連携すると共に、国際理解のための行事を工夫する。

(3) 生活指導・進路指導

ア．正しいことばづかい、人との接し方を身につけ、物を大切にすることを育てるため、次の事項を重点指導する。

- 積極的にあいさつをする。
- 友だち間のことばづかいの乱れを直し、話をきちんとする。
- 整理整頓、持ち物に記名をする。

イ．全教育活動を通し、個性を伸ばすように努める。また、勤労意欲を高める指導内容を工夫する。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を高める指導法の研究」― 算数の文章題・作問学習の指導を通して ―

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。そこで、広い意味での教育環境づくりに力を入れている。
- ② 教師手づくりの各種遊具を使用するの体育活動や遊びを通して、子どもの体力づくりや創造性を伸ばしている。
- ③ 4・5・6年の男女児童の特別サッカークラブ員が、早朝と放課後、教師の指導のもと練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、健全育成の面で効果をあげている。
- ④ 昭和60年5月に東京都帰国子女教育推進校に指定された。主として中国引揚げ子女の適応指導と日本語習得指導を行っている。昭和63年4月現在、4名の子女が在籍している。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳	研 究 員	研 究 生
1		草 薊 和志（49・国）	
2		江 口 耕一（53・特活）	
3		上 野 森良（49・国）	
4		長 沼 正幸（58・理）	
5		石 岡 房子（63・国）	



学 校 名	日野市立百草台小学校
所 在 地	日野市百草999
電 話	0425-91-0997~0998
順 路	京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて 百草センター下車 徒歩 5 分
児 童 数	男317名 女394名 計611名

校長氏名 草 刈 喜 一

教頭氏名 鈴 本 利恵子

1. 沿革の概要

- 昭44. 8. 2 校舎新築起工。
- 12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小学校内で授業開始。
- 昭45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する。学級数 8 児童118、教職員16、市職員 3。
- 6. 1 開校式挙行、6 月 1 日を開校記念日とする。
- 9. 1 児童数 296名 学級数11、教職員17。
- 昭46. 3. 8 校旗・校歌発表会を開き、3 月 8 日を制定記念日とする。
- 3.25 第 1 回卒業式、卒業生34名。
- 4. 6 児童数604、学級数16、教職員23、市職員 3。
- 4.30 校舎北側の埋立工事完了。
- 7.31 プール工事完了、大プール、小プール、シャワー、更衣室、機械室竣工。
- 12.15 体育館新築工事着工。
- 昭47. 2.12 調理室火入れ式、調理開始。
- 3.25 第 2 回卒業式、卒業生44名。
- 4. 6 児童数 416、学級数 12、教職員 18
- 6.17 体育館落成式挙行。
- 昭48. 3.24 第 3 回卒業式、卒業生43名。
- 昭48. 4. 6 児童数463、学級数13、教職員20、市職員 8
- 9.26 校舎新築工事開始。
- 昭49. 3.25 第 4 回卒業式、卒業生39名。
- 3.31 増築 7 教室竣工。
- 4. 7 児童数542、学級数16、教職員24、市職員 9。
- 昭50. 3.25 第 5 回卒業式、卒業生48名。

- 4. 7 児童数636、学級数17、教職員25。市職員 9。
- 昭51. 3.20 増築校舎完成。(普通教室 9、図書室 1)
- 3.25 第 6 回卒業式、卒業生56名。
- 4. 6 児童数672、学級数17、教職員25、市職員 9。
- 昭52. 3.25 第 7 回卒業式、卒業生77名。
- 4. 6 児童数738、学級数18、教職員26、市職員 9。
- 昭53. 3.25 第 8 回卒業式、卒業生79名。
- 4. 6 児童数779、学級数20。教職員28、市職員 9。
- 昭54. 3.24 第 9 回卒業式、卒業生67名。
- 4. 6 児童数799、学級数21、教職員30、市職員 9。
- 5.31 開校10周年記念式挙行。記念誌・タイムカプセル作成。
- 10.31 校庭南側の階段上に正門落成。
- 昭55. 3.25 第10回卒業式、卒業生101名。
- 4. 7 児童数780、学級数21、教職員28、講師1、市職員 9。
- 昭56. 3.25 第11回卒業式、卒業生95名。
- 4. 6 児童数730、学級数18、教職員25。市職員 9。
- 昭57. 3.25 第12回卒業式、卒業生102名。
- 4. 6 児童数702、学級数18、教職員25、市職員 9。
- 昭58. 3.25 第13回卒業式、卒業生111名。
- 4. 6 児童数665、学級数18、教職員25、市職員 9。
- 昭59. 3.24 第14回卒業式、卒業生111名。
- 4. 6 児童数653、学級数18、教職員25、市職員 9。

- 昭60. 3.25 第15回卒業式、卒業生115名。
4. 6 児童数647、学級数18、教職員25、市職員9。
- 昭61. 3.25 第16回卒業式、卒業生107名。
4. 7 児童数667、学級数18、教職員25、嘱託1、市職員9。
- 昭62. 3.25 第17回卒業式、卒業生92名。
4. 7 児童数634、学級数18、教職員25、嘱託1、市職員9。
- 昭63. 3.25 第18回卒業式、卒業生112。
4. 6 児童数611、学級数18、教職員25、嘱託1、市職員9。

2. 歴代校長

氏 名	年 月 日～年 月 日
岡 本 省 吾	45. 4.1 ～48.3. 31
村 田 安 正	48. 4.1 ～51.3. 31
田 中 春 男	51. 4.1 ～55.3. 31
竹 内 音 治	55. 4.1 ～58. 3.31
志 賀 頼 治	58. 4.1 ～59. 9. 8
村 松 徹 二	59.10.1 ～63. 3.31
草 刈 喜 一	63.4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された百草団地と梅が丘団地とが主な学区域である。団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向うには、日野市街に続いて立川まで一望することができる。近くには、多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には、都塵をさけたリクレーシヨンの人々にぎわう。

自然にいだかれた、よい環境といえよう。

4. 教育目標

- (1) 学校の教育目標、公教育の観点にたって児童の実態を基にこれからの時代に生きていくために身につけなければならない目標として下記の4つの教育目標を設定した。

- 元気な子ども
- 考える子ども
- 働く子ども
- 助け合う子ども

- (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育目標の意義及び具体的実践について教師の共通理解を深める。
- ② 体力の向上をめざし、子ども自らがきたえる場を設定していく。
- ③ 基礎的・基本的内容をしっかりと身につけ、これをもとに考える力を育てるために子どもの心の動きや個性・能力を大切にし、子どもの側に立った授業の充実をはかる。
- ④ 教育目標を総合的に達成するために、創意を生かした教育活動及び学級指導の時間の充実をはかる。
- ⑤ 教育目標の父母家庭への浸透をはかり、理解を深めると共に、子どもの家庭の中での実践化について協力を求める。

5. 指導の重点

- (1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童自らが意欲的にとりくむ学習をめざして

- 創意ある発問や課題の提示をはかる。
- 体験や行動をとり入れた学習を大切にしていく。

- 教材や教具の活動をはかる。
- 教職員の協力による授業研究をすすめる。

イ. 道 徳

道徳の時間だけでなく、学校生活全体の中から問題をほりおこし、ひとりひとりの子どもの心情にはたらきかけ、実践化につながる指導をすすめる。

ウ. 特 別 活 動

- 児童の創意や発想を大切にし、児童が自発的に参加する学年の行事を積極的に企画推進する。
- 児童会役員を中心とし、児童総会、代表委員会、学級会、各種委員会など相互に連絡協力し合わせることによって、指導効果を高める。

(2) その他の活動

- 月曜日5校時（1、2年生）、6校時（3年生以上）を学年学級を中心とした創意ある教育活動の時間とし、学年または学級内の協力による児童の自主的な活動をすすめる。
- 隔週木曜日の6校時（必要に応じて5校時）を全校児童を対象とした創意ある教育活動の時間とし、ゆたかな人間性の育成を目ざす児童の自主的な活動をすすめる。
- 体力増強に力を入れ、児童自らが自分の目標をもって達成への努力を重ねるようにしむける。

(3) 生活指導・進路指導

- 学校全体を通して集団生活のきまりを身につけさせ、秩序ある安全な生活と協力の心を育てる。
- 学校環境の美化、清掃活動への積極的参加をととして、公共物を大切にする態度や勤労の精神を養う。
- 基本的生活習慣を身につけさせ、より良い社会人となることをめざす。
- 指導を一過性のものとせず、評価と見届けを大切にし、成就感、満足感を味わわせるとともに、定着化をはかる。
- 児童の自主的・自発的活動を通して個性豊かな人間としての成長をはかる。

6. 本年度の研究課題

「ひとりひとりを生き生きと学習にとりくませる授業の研究」

—— 教科指導を通して ——

7. 本校の特色

在学児童のおよそ90パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専門の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高いが、学区区域は狭い。変化を求め土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

特色ある行事

- 仲よし遠足
1～6年の児童をたてわりグループにし、それぞれグループ毎に徒歩遠足をする。
- 遊びの週間
兄弟学級ごとに、異学年の児童がいっしょに遊ぶ。

8. その他（教職員研究歴）

No.	内 訳	研 究 員
1		草 刈 喜 一 (51・給食)
2		高 倉 教 行 (51・特活)
3		鈴 本 利恵子 (59・国語)
4		玉 置 順 子 (61・給食)



学 校 名 日野市立滝合小学校
所 在 地 日野市西平山 2 - 3 - 1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩10分
児 童 数 男399名 女376名 計775名

校長氏名 有 泉 徹 郎 教頭氏名 酒 井 義 明

1. 沿革概要

- 昭44. 12.26 敷地購入(仮称第11小学校)
昭46. 3.31 南校舎(A棟)完成。プレハブ校舎仮設使用。
4. 1 日野市立滝合小学校開校。
20学級編成・教職員27名
市職員6名
4. 6 第1回入学式・始業式
4.30 運動場体育固定施設の設置
5.30 北校舎(B棟)完成
6. 1 開校記念日
6. 5 掲掲塔、水飲場、足洗場完成
6.30 給食室竣工
7.20 プール竣工
10. 1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
12. 1 校章、校歌制定
昭47. 1.21 エルサドバドル国教育局次長視察
2.20 体育館・校内通路完成
2.25 落成式
3.25 第1回卒業式(卒業生78名)
昭50. 2.18 体力作り研究発表
4. ~ 校庭植樹250本
昭51. 8. 動物園完成
3. 旭が丘小分離(児童201名)
4. 校庭内に学童保育所完成
6. プール補修工事
昭53. 9.26 校庭全面整備完了
11. 排水工事・避難設備完了
昭58. 8. 中庭舗装排水工事完了
昭59. 8.30 給食室タイル・壁修理完了

- 昭61. 5. 6 体育館内工事完了
昭62. 1.29 プールシート防水加工工事完了
昭62. 2. 6 シューティングボード工事完了
昭63. 8.31 A棟外装工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
峰 岸 敬次郎	昭46. 4 ～ 50. 3
鈴 木 英 夫	昭50. 4 ～ 53. 3
梅 田 茂	昭53. 4 ～ 56. 3
鈴 木 敏 郎	昭56. 4 ～ 59. 3
野 口 昭 平	昭59. 4 ～ 62. 3
有 泉 徹 郎	昭62. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南に浅川が流れ、その向こうに緑の多摩丘陵が続く。周囲に田畑が多く、屋敷森等ものこる田園の中に位置している。小鳥さえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥がみられる。

しかし、学校周辺には数多くの住宅が建ちつつあり、児童数は多く、日野市の学校の中でも一二といわれるほどになっている。学区は、中央線の南側、豊田駅の近くまでと広く、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、学校前の道路を通過する自動車が増え交通事故の危険は増大しつつある。

4. 教育目標

本校の教育は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法に基づき、教育委員会の基本方針

をふまえ、地域の社会特性・児童の実態を考え、次の目標をめざして行う。

- ア. 健康でたくましい子ども（体と心の健康）
- イ. 勉強に努力する子ども（本気で取り組み根気よく努力）
- ウ. 進んで協力し実行する子ども（みんな仲よく心のふれ合い）
- エ. 生きものを大切にする子ども（思いやりと信頼）
- ・ 学校の教育目標を達成するための基本方針
 - ア. 学校目標を日常の指導に生かしていくために、学年・学級の実態、児童の発達段階に即した具体的目標を設定し、日々の実践活動を進める。
 - イ. 学習指導に際しては、立案・反省を確実にを行い指導法を工夫する。児童に学習課題をつかませ、その課題解決指導にあたっては、ひとりひとりを生かす授業の展開に努める。
 - ウ. 基本的生活習慣・自主的な生活態度についての教職員の共通理解を広げ、一体的指導体制により児童の指導にあたる。
 - エ. 個々の教師の特性を生かし協力的で創意あふれる指導と学年・学級経営の充実とを推進する。
 - オ. 父母や地域の意見・要望を生かすとともに、学校教育について正しい理解を得るように努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 1) 児童の主体性を尊重し、自ら学ぶ意欲と態度を養うとともに、ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた授業により豊かな人間性を育てる。
- 2) 児童の実態に即し、計画を密にした指導を進め、各教科の目標をふまえて、基礎的・基本的事項を確実に身につけさせる。
- 3) 児童一人ひとりの能力や個性を大切に、適宜学習グループを取り入れ、それを活用した指導の実現をめざす。

イ. 道徳

- 1) 人間尊重の精神に基づき思いやりのある心と自らを厳しく律する強い意志と態度を育成する。
- 2) やさしい心を持って動植物はもちろんのこと、広く自然を愛護する気持ちを培う。

ウ. 特別活動

- 1) 変化と喜びのある活動を通して、児童の自主性・創造性を生かし、ひとりひとりの積極性を高める。
- 2) 計画・分担・協力し合いながら、学校・学年・学級としての連帯意識の高揚をはかるとともに実践力を伸ばす。

(2) その他の活動

- 1) 施設・遊具の活動と管理を充実し児童ひとりひとりが課題をもって取り組み、目標達成に努めながら、体位・体力の向上をめざす。
- 2) 特別活動、保健指導等との連携を密にして、各種の実践活動、集会活動を実施し学校生活のいっそうの充実をはかる。
- 3) 学校の教育環境の整備・美化を積極的にすすめながら、勤労の精神を培う。

(3) 生活指導・進路指導

- 1) 学校のきまりを日々の教育活動に結びつけ、実践について反省を加え学庭と密接な連絡をとって基本的な生活行動様式、規律ある生活態度の充実をはかる。
- 2) 全教育活動を通して自他の長所を見つけ出し認め合いながら、よりいっそう個性を伸ばそうとする意欲を高める。

6. 本年度の研究主題

児童の学習意欲を高めるための指導法の研究

前年度は通信表評価に関連づけて、全教科において指導目標・指導内容の明確化を志向する中で授業研究を行った。本年度はこれを一歩進め、指導目標の目標分析を行い、それぞれの段階での検証授業を通して、指導のあり方を追求していく。

7. 本校の特色

校地面積21391という恵まれた校地の中に一周200mのトラック、バスケットコート二面、二の字形にならんだ校舎、周辺部に動物園、花だん、プール、体育館があり、おちついた空間を作っている。

校庭に作られた、児童・職員の労作による古材利用の遊具（だっこちゃん、滝合峠・ピョンピョン丸太・世界一周や、固定施設（砂場・遊び山・シーソー・ジャングルジム・すべり台・ブランコ・登り棒・雲梯・鉄棒・回転シーソー・タイヤ群）は、本校を象徴するものであり、児童の体力向上に役立っている。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。父母の学校教育への理解は深く、きわめて協力的である。学校行事には、積極的に取り組み、大いに内容を盛り上げている。交通安全指導にはPTAとして主体的に計画実施するなど、学校と家庭との連携の協力の実を上げている。

8. その他（教職員の研究歴）

№. 氏名	研 究 員	開 発 委 員
1	有 泉 徹 郎 (54 国語)	林 亀 三 (63 体育)
2	酒 井 義 明 (50 へき地教育) (56 社会)	
3	石 川 成 子 (52 家庭)	
4	岡 本 美 治 (56 へき地教育) (62 図工)	
5	林 亀 三 (57 体育)	
6	岡 本 美 治 (62 図工)	



学 校 名 日野市立高幡台小学校
所 在 地 日野市程久保550
電 話 0425-91-7011・7012
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
5分 高幡台団地下車
児 童 数 男285名 女264名 計549名

校長氏名 小 泉 宣 夫 教頭氏名 小笠原 久 雄

1. 沿革の概要

- 昭46. 8. 7 校舎新築工事起工
昭47. 3.10 日野市立高幡台小学校として開校
鉄筋三階建校舎 普通教室12、特別教室4、特別室9、学級数12、児童402名、教職員18名、市職員2名
5.27 高幡台小学校PTA設立総会
6.24 開校式
本日を開校記念日とする
8. 1 プール完成、プール開き挙行
昭48. 2.24 校旗、校歌制定
3.24 第1回卒業式
卒業生 1学級33名
10. 6 体育館落成式、体育選手模範演技
昭49. 3.25 第2回卒業式
卒業生 2学級46名
4. 1 第一期増築工事完成
普通教室9、図書室1、職員室改造工事
昭50. 3.25 第3回卒業式
卒業生 2学級55名
昭51. 3.25 第4回卒業式
卒業生 2学級63名
昭52. 3.25 第5回卒業式
卒業生 3学級97名
昭53. 3.25 第6回卒業式
卒業生 3学級78名
4. 1 第二期工事完成
普通教室9、教材3
昭54. 3.24 第7回卒業式

- 卒業生 3学級98名
昭55. 3.25 第8回卒業式
卒業生 3学級108名
昭56. 3.25 第9回卒業式
卒業生 3学級116名
昭57. 3.25 第10回卒業式
卒業生 3学級127名
昭58. 3.25 第11回卒業式
卒業生 3学級109名
昭59. 3.31 非常階段(旧館)完成
昭59. 3.25 第12回卒業式
卒業生 3学級137名
昭60. 3.25 第13回卒業式
卒業生 3学級134名
昭61. 3.25 第14回卒業式
卒業生 3学級120名
昭62. 3.25 第15回卒業式
卒業生 3学級109名
昭63. 3.25 第16回卒業式
卒業生 2学級84名

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
平 松 健太郎	昭47.4.1～50.3.31
手代木 和 夫	昭50.4.1～54.3.31
近 内 信 輝	昭54.4.1～58.3.31
津野田 昭 二	昭58.4.1～62.3.31
小 泉 宣 夫	昭62.4.1～ 現在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区域である。高幡台団地は5階

～11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

4. 教育目標

(1) 学校教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- あたたかい心で、助け合う子ども (た)たすけあう子
- よく考え、自分からすすんでやりぬく子ども (か)かんがえる子
- 働くことのすばらしさを身につけた子ども (は)はたらく子
- 健康で明るい子ども (た)たくましい子

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ① よく考え、自分から進んでやりぬく態度を養うため、指導の方法を工夫し、わかりやすく楽しい授業をめざすとともに、生涯にわたる学習の基礎的・基本的事項を確実に身につけさせる。
- ② 本校児童の実態をふまえ、日常の児童活動の活発化をはかり、自主的・自律的な態度を養う。
- ③ 教育活動の全体を通して、人権、人命の尊重に徹し、人の立場を理解し、お互いに認め合う心を育てる。
- ④ 個々の教師の特性を生かし、協力的で創意ある学年・学級経営の充実を図る。
- ⑤ 本校児童の実態をふまえ国語指導の充実を基本にしながら、よく考えやさしく思いやりのある子の育成をめざす。
- ⑥ 保護者、地域との連携を密にし、開かれた学校をめざしながら、教育に対する相互理解を深める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- 教材内容を精選し、ゆとりのある授業を展開につとめ、基本的・基礎的内容を確実に身につけさせる。
- 視聴覚機器の利用・資料等の効果的な利用を通して、子どもにわかる授業の確立につとめる。
- 授業研究（国語）を通して、個々の児童が目標をもち、言語生活を豊かにする態度と実践力を育成する。

イ 道徳

- 集団生活のきまりや望ましい行動の習慣を身につけさせる。
- 相手の立場を認め、力を合せものごとをやりぬく態度と実践的道徳性を涵養する。
- 人や自然を大切に、公共心の育成をはかり、物を大切にする態度を身につけさせる。

ウ 特別活動

- 児童活動、学校行事の全体を通して、自主的・自律的な実践力を育成する。
- たてわり活動を通して、異年齢児童の交流をはかり互に認め合う心をはぐくみリーダーシップ・メンバーシップを育成する。

(2) その他の活動

- 学年を越えた子どものたてわり活動と校外地区班活動との連携をはかり、地域における子

ものの連帯意識を高める。

(3) 生活指導・進路指導

- 日常生活に必要な基本的な行動様式を学校生活全体を通してしっかり身につけさせる。
- 校舎内外の環境美化に努めるとともに、勤労について正しい認識を持ち、人間として生きぬくことの大切さを理解させ、進んで働く態度を養う。
- 教育活動全体を通して、自主的・自律的な生活態度を養い、お互いに相手を認め合う心と態度を育成する。
- 児童ひとり一人に対する児童理解に努め、児童が自己の個性を自覚するよう教育相談的手法を生かして、自らより高い目標をめざす態度を養う。

6. 本年度の研究主題

「効果的な指導法の研究」(国語)

7. 本校の特色

団地校であるから家庭の生活程度は平均しており、児童の知能程度も比較的高く較差が小さい。反面閉鎖的傾向が見られ、他の人との連り、連帯意識に弱さがある。また、団地の中だけに固まりがちな傾向が、子どもの遊び等に顕著である。このような実態を考え、子ども相互の縦横の連りを深め、広げることを、また、隣接地域の風にふれさせることにより広い視野を持つ目を育てる意味等から次のことを重点にして実践する。

○たてわり活動

たてわりミニ遠足

子ども祭り 六年生を送る会

○隣接校(程久保小)との交流

クラブ交流

8. その他(教職員の研究歴)

No.	内訳	都・文部省委員	海外派遣	研究員	開発委員
1		小泉宣夫 (43都・44)63・文部)	小泉宣夫 (51)	小泉宣夫 (38社会)	
2				小笠原久雄 (49特活)	小笠原久雄 (55・特活)
3				田中順一 (61・道徳)	
				小笠原良雄 (62・道徳)	



学 校 名 日野市立南平小学校
所 在 地 日野市南平4-18-1
電 話 0425-92-2021・2022
順 路 京王線南平駅より徒歩15分
兄 童 数 男345名 女276名 計621名

校長氏名 石 井 三 士 教頭氏名 馬 場 武

1. 沿革の概要

- 昭48. 12.27 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定。
- 昭49. 3.25 仮設校舎完成、プレハブ教室11職員室1、校長・事務室1、教材室1、他に潤徳小新館に4教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
4. 1 日野市南平小学校開校
学級数15、児童数535名、教職員22、市職員4名
4. 5 仮設校舎校地整理完了
5. 4 本校舎工事着工
総工費220.166万円
敷地面積26.535 鉄筋コンクリート四階建防音校舎4.456㎡
- 5.22 南平小学校PTA設立
- 11.15 本校舎完成
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
- 11.22 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章の図案のもととする。
校歌・校旗・校章の制定および発表会を挙行。
当日を本校開校記念日として制定する。
- 11.29 本校舎へ移転
- 11.30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了

- 昭49. 12.31 体育館完成
- 昭50. 4.30 大・小プール完成
- 昭53. 3.15 校舎3教室増築
- 昭54. 12.21 体育倉庫（プレハブ）完了
- 昭56. 3.27 校舎3教室・図書室増築
9.15 NHK全国学校音楽コンクール
東京地区において優良校として受賞
- 昭57. 2. 4 体育科「児童が主体的に取りくむ学習指導法の改善」研究発表会を全都にむけて行う。
- 昭58. 3.31 学校園整備を行う。
- 昭59. 11.22 十周年記念式典、祝賀会を行う。
- 昭61. 8.25 校庭南側金網フェンス工事完成
- 昭62. 11.4 体育館照明器具設置
- 昭63. 1.23 体育館屋根塗装
3.19 体育館緞帳改修
3.19 校舎北側万年べいの改修工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
黒 沢 保 雄	昭49.4.1～55.3.31
松日楽 敬 治	昭55.4.1～59.3.31
鈴 木 敏 郎	昭59.4.1～62.3.31
石 井 三 士	昭62.4.1～現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なんべいだい）みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中下（昔からの唯一の集落）京王線と浅

川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成されている。比較的まとまった学区であり、地区の把握がしやすい。

南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区には、自然林あり、田畑、果樹園等、自然条件にめぐまれている。西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と相まって、教育的環境としては、最高の条件を具備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法の精神に基づき、児童・学校及び地域の特性をふまえ、知・徳・体の調和と統一のある教育をめざして行う。

- 健康でたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- 目あてをもってやりぬく子ども
- おもしろいのある仲よい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 学校や教師の創意工夫を生かし、充実した学校生活の実現を図り、生涯にわたって、学び続ける人間性豊かな児童の育成を目指す。
- 校内研修の一層の充実をはかることによって教師の資質を高め、効率の高い教育活動の展開を図る。
- 道徳教育・体力の向上、健康安全の保持増進を効果的に行うため、環境を整備し、学校の教育活動全体を通して計画的な指導をすすめる。
- 開かれた学校をめざし、児童・教師・父母の心の交流をはかり、信頼を高め、よい校風づくりに励む。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- ・児童一人一人が主体的に学習するための指導法の改善を図る。
- ・基礎的・基本的事項を重視し、指導の充実に努める。
- ・児童の発達段階をふまえ、個性や能力に応じた授業の徹底を図る。

(2) 道徳

- ・指導計画に基づき、活動しやすい資料を整備し、指導の充実に努める。
- ・教師と児童、児童相互の人間関係を深め、日常生活の中で道徳的実践の徹底を図る。

(3) 特別活動

- ・集団の一員としての自覚をもたせ、自主的・実践的な態度を育てる。
- ・児童が積極的に活動し、楽しく参加できる児童活動の充実に努める。
- ・学校や地域の実態を生かした指導計画の改善・充実に努める。

(4) その他の活動

- ・学校や教師の創意工夫を生かし、地域に根ざした教育活動を行い、学校生活に喜びと充実感をもたせる。
- ・田植え、稲刈り、脱穀、いも作り、収穫を祝う会、わら細工等を通して勤労の大切さ、生産の喜びを体験させると共に、地域との連携を図る。
- ・水泳、持久走等を通して、耐性や体力の増進をはかる。
- ・一年生を迎える会、六年生を送る会、音楽祭、子供祭りを通して、自発性、創造性、実践力を育てる。

(5) 生活指導・進路指導

- ・児童一人一人を大事にし、互いに助け合い、認め合う生活態度を培う。
- ・学校のきまりを守り、基本的な生活習慣を身につけ、充実した学校生活をさせる。
- ・健康で安全な生活に心がけ、清潔で、活気ある学校生活をさせる。
- ・児童の特性を生かし、意欲をもって進学しようとする態度を養う。

6. 本年度の研究主題

今年度の校内研究の主題を「児童が主体的に取りくむ活動の研究 - 体験から学ぶ子どもを育てる - 」と定め、具体的な学習活動や体験に基づく学習を一層充実させ、自主的・実践的な態度を育てる授業研究を行う。

7. 本校の特色

- (1) 本校の児童は、素直で、礼義正しく落ち着いている。物事に熱心にとりくみ、しっかりできる。
- (2) 児童・父母ともに学校を信頼し、協力的である。
- (3) 父母の経済的、社会的地位が比較的安定している。
- (4) 学校生活の主人公は児童である認識のもとに、教職員が一致して教育活動にあたっている。
- (5) めぐまれた学校施設・設備・校庭の完備、自然条件等、教育環境は、最高である。
- (6) 体験学習を重視している。米づくり、いもづくりを軸として、地域と連携を保ちながら、生産活動を行い、収穫を祝い会、わら細工等を実施している。
- (7) 全校遠足等のたて割り活動を通して、異年令間の役割意識を自覚させ、思いやりの心を育て連帯感を培っている。

8. その他

No. 内訳	研 究 員	現代化委員・開発委員	海 外 派 遣
1	石井三士 (44国語)	馬場 武 (50理科)	馬場 武 (54ヨーロッパ)
2	馬場 武 (48理科)	武内 忠雄 (59体育)	
3	武内 忠雄 (52体育)		
4	井上久美子 (55保健)		
5	駒井 隆治 (60体育)		
6	太田由紀夫 (63理科)		



学 校 名 日野市立程久保小学校
所 在 地 日野市程久保1-504-1
電 話 0425-92-5014・5015
順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて5分
中程久保下車徒歩3分
児 童 数 男231名 女216名 計447名

校長氏名 三 浦 勝 也 教頭氏名 香 川 善 平

1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の過大化を解消するためと、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久保地区に新設された学校である。

- 昭52. 2. 1 程久保小学校開設 潤徳小学校に開設準備室を設置 初代 渋谷義一校長就任
4. 1 日野市立程久保小学校開校
学級数18 児童数652
教職員26 市職員8
- 4.21 給食開始
- 6.28 プール開き
- 7.15 体育館竣工
- 10.20 落成式挙行、この日を開校記念日とする。校歌・校章発表会を開く。
- 昭53. 1.19 第1回音楽会を行う。
4. 4 学級増によるプレハブ教室設置（1教室）19学級
11. 3 第1回展覧会を行う。
- 昭54. 1.16 校内書初展を行う。
- 11.18 第1回学芸会を行う。
- 昭55. 1.18 体育倉庫竣工
- 11.11 飼育舎竣工
- 11.15 第2回音楽会を行う。
- 昭56. 5. 9 全校写生会を行う。
- 11.15 第2回展覧会を行う。
- 12.17 受水槽竣工
- 昭57. 5.13 校庭フェンス側散水栓着工
- 5.13 校庭フェンス側散水栓竣工
- 11.21 第2回学芸会を行う。
- 昭58. 6. 1 校庭砂場新設着工

- 6.15 校庭砂場新設竣工
- 11.20 第3回音楽会を行う。
11. 4 球技場（テニスコート）工事着工
- 12.20 同上工事竣工
- 昭59. 2.15 プール改修工事着工
- 2.29 同上工事完了
- 5.12 全校写生会を行う。
- 7.27 校庭除石工事を行う。
- 8.14 体育館ステージ照明設備工事を行う。
- 11.10 第3回展覧会を行う。
- 昭60. 7.21 校庭整地着工
- 8.29 校庭整地完了
- 11.17 第3回学芸会を行う。
- 昭61. 4.26 たて割り遠足を行う。
- 5.10 全校写生会を行う。
11. 8 第4回音楽会を行う。
- 昭62.10. 4 第11回開校十周年記念運動会を行う。
11. 6 開校十周年記念式典を行う。
- 11.14 第4回開校十周年記念展覧会を行う。

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
渋谷 義 一	昭52.2.1～昭58.3.31
大 島 昭 子	昭58.4.1～昭62.3.31
三 浦 勝 也	昭62.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区

域である。住宅は多摩動物公園の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎も見られ、遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接している。緑が多いわりに、子どもの遊び場が大へん少ない。

最近、住宅地域内を通過する車が増加し、児童の登下校時の安全対策も急務となっている。

4. 教育目標

本校の教育は教育基本法、学校教育法に基づき、生命の尊重を基調とし、自ら考え正しく判断し実践できる児童をめざして、次のような教育目標を定める。

元気（明るく生き生きした子ども・向上心をもって活動する子ども）

本気（いっしょうけんめい取り組む子ども・人の気持ちや立場を考えて行動する子ども）

根気（ねばり強く取り組む子ども・何ごとにもよく努力する子ども）

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- ・人の話をよく聞き、考える主体的な学習に取り組める児童を育てる。
- ・教材研究を深め、個性能力に応じた授業を追求していく。
- ・教材教具を整備・充実し、その活用をはかる。

(2) 道徳

- ・教師と児童、児童相互の人間関係を深め、日常生活における基本的行動様式を身につけさせる。
- ・人間性が豊かで、思いやりの心を持った児童の育成に努める。
- ・教科・特別活動等全領域のなかで、道徳性の内面化および実践の態度を育てる。

(3) 特別活動

- ・集団活動をとらして主体的な態度を養い、協力して楽しい学校生活を計画・実践できるようにする。
- ・学級指導の充実をはかり、実践的な態度を育てる。
- ・学校行事に自覚して参加できる児童を育て、学校生活にうるおいと変化をもたせる。

(4) その他の活動

- ・朝の10分間運動の時間を設定して、体力づくりに力を入れ、「活力のある子ども」を育成する。
- ・「やまゆり」の時間を設けて、児童一人一人の個性能力に応じた指導を工夫し、諸々の創意を計画・実践していく。
- ・たてわり班を編成して、集会活動や清掃活動等を行い児童相互の社会性を培う。
- ・隣接校との交流を深めるための諸活動を計画し、実践していく。（クラブ活動他）

(5) 生活指導・進路指導

- ・みんな仲よく個性を認め合って助け合い、連帯感のある楽しい学校づくりに努めさせる。
- ・目的意識をもって、主体的に活動できる児童を育てる。
- ・児童の発達段階に即して安全教育の徹底をはかる。
- ・児童の個性・能力の伸長をはかり、将来にわたって自己実現のはかれる意欲と態度を培う。
- ・学校学級のきまりを考え自主的に守って行動できる児童を育てる。

6. 本年度の研究主題

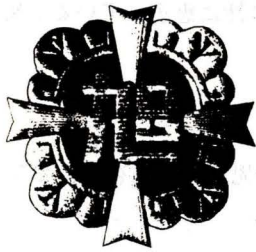
一人ひとりが生き生きする学習指導

7. 本校の特色

- (1) 児童ひとりひとりを生き生きさせる学習指導の確立へ向けて、低、中、高学年と専科の計4ブロックに分かれた実践研究を行っている。年間を通して6回の全体研究授業を行う。
- (2) 児童と教師、児童相互の人間関係を深めたり、集団活動を通して主体的態度を養ったりするため、1年生から6年生までを12のたてわり班に編成し、次のような活動をしている。
毎日の清掃活動。児童集会活動。全校写真会。ドッジボール大会。防災訓練の集団下校。
- (3) 児童の多くは家庭環境にもめぐまれており、いろいろな面でみたされている。明るくすなおであるが、たくましさ欠缺る。そこで、体力づくりのため次のようなことを行っている。
朝の10分間運動（ラジオ体操、程久保体操、行進、表現運動、固定施設の活用、持久走、なわとび等を、季節に応じて行う。雨天のときはテレビを通して運動の解説等を行う。）スポーツテスト。夏の水泳指導。冬のなわとび大会、持久走大会。
- (4) 外来者からは、校舎内がよく磨かれていて明るいとのことばをよく受ける。
- (5) 隣接校としての地の利を生かして、高幡台小学校との交流を深めている。特に体力づくりの一貫として、クラブ活動・スポーツ交流をはかっている。

8. その他（教職員の研究歴）

№.	内 職	研 究 員	開 発 委 員	その他・道徳助言研
1		三浦勝也 47（特活）	吉野美智子 62（道徳）	香川善平 55・56 （兵教大大学院留学）
2		香川善平 49（特活）		吉野美智子 63 （道徳助言研）
3		岡島政吉 63（教育課題）		



学 校 名 日野市立旭が丘小学校
所 在 地 日野市旭が丘5 丁目21番地の1
電 話 0425-83-3733・3748
順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩25分 京王・都バス
(石川入口) 下車10分
児 童 数 男403名 女349名 計752名

校長氏名 飯 沼 宏 教頭氏名 山 下 法 昭

1. 沿革の概要

昭51. 8.18 起工式

市議会は、日野市旭が丘小学校の
設置を決定

昭52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令

3.31 教頭、教諭等25名、市職員8名
計33名発令

4. 6 第1回入学式149名 4学級 全校18
学級 707名

5.20 校舎完了

6.30 プール完成

7.20 校章制定

8.15 体育館完成

11.21 校歌制定。開校式典

昭53. 3.25 第1回卒業式110名

4. 6 第2回入学式163名 4学級
全校20学級 758名

昭54. 4. 6 第3回入学式156名 4学級
全校21学級 833名

昭55. 4. 7 第4回入学式193名 5学級
全校23学級 916名

10.13 体育館ボーダーライト工事

昭56. 4. 6 第5回入学式145名 4学級
全校24学級 904名

昭57. 2.27 「雑木林の小道」完成式

4. 6 第6回入学式136名 4学級
全校24学級 895名

昭58. 2. 7 音楽室廊下防音ドア完成

4. 6 第7回入学式 135名
全校21学級 863名

8.11 給食室排水工事完成

昭59. 4. 6 第8回入学式 144名

全校21学級 850名

12.10 堆肥小屋とプール塗装工事開始

昭60. 1.20 プールフェンス工事開始

4. 6 第9回入学式 123名、3学級
全校20学級 823名

昭61. 1.13 プール排水工事・シューテング
ボード工事

4. 7 第10回入学式 139名 4学級
全校20学級 764名

6. 4 理科室天井工事(了)

8.31 A V調整卓が入る

理科室・図書室の暗幕取替え

昭62.17 プールの平板工事(了)

4. 6 第11回入学式116名 3学級
全校20学級737名

11.22 開校10周年記念式典

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
小野寺 東 雄	昭52.2～昭58.3
大 熊 喜 一	昭58.4～昭62.12
飯 沼 宏	昭63.1～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部で八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二河岸段丘の二段にまたがっている。東西2Km南北1.5Kmと広く、学校が西に偏在しているため、通学時間30分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集団住宅が混在す

る。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場は多いが、公害問題は少ない。学校の周辺には、畑や雑木林も多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、教育基本法、学校教育法に基づき、地域の特性や児童の実態をふまえながら、特に「よく考える子ども」を重点として、4目標の具現をめざす。

ア よく考える子ども（本年度の重点目標）

イ なかよくする子ども

ウ がんばりぬく子ども

エ からだをきたえる子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

開校以来満10余年間の成果をふまえ、ゆとりある学習指導・生活指導の充実に努める。

ア 前年度にひき続き、学校教育目標の第1項「ア、よく考える子ども」の目標達成に重点をおく。学校の教育活動の全てを重点達成の場とする。

イ 各自のもつ個性と創造性を伸ばし、人間尊重の精神を身につけ、互いに励まし協力する態度を育てる。

ウ 教師と子どもの心の結びつきを大切にし、子どもの心を的確にとらえながら、適切な指導を加えるよう努める。

エ 教職員の研修をいっそう充実して、学習面での指導力、豊かな心を育てる指導力を身につける。

オ 40人学級の対応に当たっては、該当学年を中心として全校挙げて望ましい指導の方法を実践的に研修・研究する。

5. 指導の重点

一年間の見通しのもとに教育活動を進める。

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ・指導内容の精選と指導技術の工夫により、学習活動にゆとりをもたせ、思考過程を大切にするとともに、基礎的、基本的事項の徹底をはかる。
- ・児童一人一人が「よく聞く」「よく見る」「よく考える」望ましい理解・態度・技能を身につけさせるために授業のあり方を実践研究する。

イ 道徳

- ・学習活動を多彩にし、児童の主体的な学習態度をうながすように工夫する。
- ・学校の教育活動全体を通して自ら考え、正しく判断し、行動する道徳的実践力の向上を図る。

ウ 特別活動

- ・自ら考え行動する児童の育成を図り、所属感、連帯感を高める。
- ・活動内容を児童自らが企画し、実践する過程で互いに協力してがんばりぬく実践力と望ましい人間関係を育てる。

(2) その他の活動

ア 学年、学級の日「交流の時間」により、児童一人一人に思いやりの心を育て、連帯感を強める。

イ 「全体活動」の時間を通して、たてわり集団の中での心の交流を図る。

ウ 諸行事を通して、児童一人一人に学校の一員としての意識を高める。

(3) 生活指導・進路指導

ア 「学校生活のきまり」の定着化をいっそう推進し、社会人、国際人としての望ましい基本的生活習慣の確立を図る。

イ 自他の生命を尊重し、互いに守り合う態度と他人への思いやりの心を育てる。

ウ 児童の個性、能力を伸長し、社会の激しい変化に適應できる児童の育成に努める。

6. 本年度の研究主題

子どもによく考えさせる授業 - 読みを深めるための授業のあり方 -

7. 本校の特色

本年度は、教育目標の第1項「(1)よく考える子ども」に重点をおき、全教育活動を展開していく。

○ 授業の活性化を目指す授業研究の推進

○ 学校敷地内の自然林の保存とその活用

○ 職員・児童・父母の協力による校舎内外の環境整備と美化の促進、菊花栽培により心の美化・促進・野鳥への思いやりの育成

○ 一日一日、一時間一時間の授業の充実

○ 元旦マラソン、八が岳ジャンボリー、少年野球リーグなど、父母や地域社会の大きな社会教育

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	現 代 委 員 会	都・文部省委員
1	飯沼 宏 (47. 特活)	奈良 悦子 (49. 家庭)	飯沼 宏 (51. 都教委) (家出・自殺予防の手引き 作製委員)
2	奈良 悦子 (44. 家庭)		
3	佐々木玄吾 (50. 社会)		
4	山下 法昭 (51. 体育)		



学 校 名 日野市立平山台小学校
 所 在 地 日野市平山2-1-1
 電 話 0425-92-3681・6382
 順 路 京王線平山城址公園下車徒歩15分
 児 童 数 男191名 女175名 計336名(内わかき学級12名)

校長氏名 野 村 武 郎 教頭氏名 藤 田 孝 彦

1. 沿革の概要

- 昭52. 3.28 学校建設校舎予算市議会議決
 6. 3 学校建設準備委員会開催
 9. 3 校舎建設工事請負契約締結
 昭53. 1. 7 現在地に建設着工
 4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山1,2,3,6,丁目を平山台小学校の学区と定める。児童数男268名 女282名 計550名 17学級(心障2学級含)の規模で開校する。
 10.24 校舎落成式 校章発表
 11.22 開校記念展覧会 開校記念日
 昭54. 3. 9 開校記念校歌発表会
 昭55. 3.20 校舎増築8 教室完成
 8.15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成
 昭57. 8.30 図書館改装 ガス配管工事完了
 昭58. 10.30 屋外バスケットボール施設完了
 昭60. 12. 9 プール全面塗装
 昭61. 12. 8 研究発表公開(体育を中心)
 昭62. 3.30 体育館どん帳取替
 昭62. 12.25 プレハブ解体
 昭63. 2. 5 研究発表公開(心障)

2. 歴代校長

氏 名	年 月から年 月
小 川 格	昭53.2～昭57.3
蓮 池 守 一	昭57.4～昭61.3
野 村 武 郎	昭61.4から

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きを開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、立川も一望でき、巨大な鳥瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく児童が学習する上での生きた教材を得た学校である。

学区は、京王電鉄が造成・分譲した平山1,2,3丁目に加えて、平山6丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に心している。故に静かでおちつきのある雰囲気維持されている。

4. 教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法の示す国民の育成につとめることを目指し、地域・児童の実態を基に次のように教育目標を定める。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自ら考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子
- 力を合わせて やりぬく子
- 心豊かな やさしい子
- 明るく たくましい子

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特活の指導の重点

ア、各 教 科

自ら課題を設定し児童の意欲的な取り組み及び授業の創造を目指す

- ① 基礎的・基本的事項の定着とやさしさと潤いに満ちた心を育てる。
- ② 児童が課題をもち、自力で解決し、完成した喜びが持てる授業をつくる。

イ、道徳

全教育活動を通じて、道徳的心情と実践力を育てることを目指す。

- ① 人や動物、植物の生命を大切にし、思いやりのある心を育てる。
- ② 望ましい行動様式を身につけさせ、正しい判断と行動がとれる児童の育成をはかる。

ウ、特別活動

集団・社会の一員としての自覚を高め、楽しく落着きのある学校生活の展開を目指す。

- ① 児童が創意を生かして活動できる学習の機会をつくる。
- ② 児童が学校生活に関する諸問題を自発的・自治的に解決する力を高める。
- ③ 高学年の活動の場を多く設定し、自覚と指導力を高めさせる。

(2) その他の活動

- ① 学校生活に喜びと潤いと充実感を与えるために、創意ある活動の時間を設定し、豊かな心を育てる。(菊づくり、七夕祭、オリエンテーリング)
- ② わかくさ学級との交流で、全校児童に障害を持つ児童について正しい理解と認識を育てる。
- ③ 学校がコミュニティーセンターとしての役割を果たすことを努め、地域の教育力を高める。

(3) 生活指導・進路指導

ア、生活指導

児童が集団の中で、生き生きとされる喜びの得られる機会を通して、個の確立を図る。

- ① 児童の個性・特性の把握につとめ、これを尊重、伸長する指導を進める。
- ② 社会生活規範の、あいさつ、ことばづかい、話を聞くの三点について習慣化をはかる。
- ③ 家庭・地域及び関連機関との連携を密にし、協力体制を強化する。

イ、進路指導

児童の個性・能力に応じた適性な指導をする。

6. 本年度の研究主題

「主体性のある児童の育成をめざし、心豊かなやさしい子」への取り組みをする。

7. 本校の特色

- 市内全域がほぼ見渡せる所にあり開校9年目の学校、自然環境に恵まれ教材化に活用。
- 主体性のある児童の育成を指導の重点として、特に本年度は、心豊かなやさしい子の育成を目指す。
- 心障学級設置校で心障児と健常児との交流をすすめている。
- 地域の要請に応える教育力の提供について具体化をはかっている。

8. その他(教職員の研究歴)

内訳 No.	中央研修	研究生等	研究員	開発委員	海外派遣
1	野村 武郎 (60)	野村武郎 (48体育)	野村武郎 (46体育)	野村武郎 (51体育)	野村武郎 (63ヨ-ロッパ)
2			藤田孝彦 (48特活)	久保 雅子 (57図工)	
3			村松 晴義 (62算数)		



学 校 名 日野市立東光寺小学校
所 在 地 日野市新町3丁目24番地1号
電 話 0425-84-6200・6201
順 路 中央線日野駅下車 徒歩10分
兄 童 数 男197名 女202名 計399名

校長氏名 志 村 桂 次 教頭氏名 石 川 耀 子

1. 沿革の概要

- 昭 52. 9. 30 学校用地買収予算市議会議決
昭 53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決
6. 2 学校開設準備委員会開催
8. 21 校舎建設工事着工～54. 5. 31
昭 54. 3. 10 体育館建設工事着工
～54. 10. 31
4. 1 日野市立東光寺小学校として
開校。日野第三小学校の学区
から、新町3丁目と栄町1, 2,
3, 4, 5丁目を東光寺小学校の
学区域と定める。児童数545
名(男287名、女258名)15学
級の規模で開放する。
7. 18 校樹決定「さくら」
11. 17 PTA創立総会
11. 20 校章・校旗・校歌制定
校舎・体育館・プール落成記
念式典、校章・校旗披露・校
歌発表
昭 57. 2～3 校地緑化、小鳥舎新設
昭 63. 3. 25 第8回卒業式挙行
卒業生総数791名となる。

2. 歴代校長

氏 名	年月日～年月日
高 田 智	昭 54. 2. 1～58. 3. 31
近 内 信 輝	昭 58. 4. 1～60. 3. 31
志 村 桂 次	昭 60. 4. 1～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区域の一部は多摩川と八王子市に接している。学区域は新町3丁目、栄町1, 2, 3, 4, 5丁目で、東西1.8km、南北0.8kmと東西に長く、学校は学区域の中央、南側に位置している。通学時間は、遠い児童で15分である。

学区には、天正16年、僧永海が旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地には農家が点在していたが、都市化にしたがって兼業農家がふえ、まわりには宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林、正門近くには田畑や果樹園等があり、自然条件にめぐまれている。

また、施設、設備、校庭が完備され、教育の環境は優れている。

父母の学校によせる関心も高い。

4. 教育目標

憲法及び教育基本法に基づき、自ら考え正しく判断できる児童の育成をめざし、次のような教育目標を定める。

- 明るい子ども
○考える子ども
○強い子ども
- (教育重点目標)
進んでやる子ども

＜学校の教育目標を具現化するための基本方針＞

教育重点目標「進んでやる子ども」に向け、一貫した方向を主軸に、全ての教育活動が整合性をもって位置づけ、組織的に運営する。

- (1) 各分掌においては、目標の具体化と指導計画の策定を行ない、学年、学級及び関連

分掌との連携のもと、「進んでやる子ども」の達成を図るべく教育活動を主導する。

- (2) 各学年、学級は、各分掌の意向を児童の実態に応じてより具体化、細案化し、それを学年学級における日々の教育活動を通して達成すべく努める。
- (3) 運営委員会は、各分掌及び各学年、学級を統括し、重点目標を達成する立場から、常に実態のは握に努めると共に課題を明らかにしつつ、全教育活動の調整と推進に努める。
- (4) 教育重点目標「進んでやる子ども」は学校内外のあらゆる教育の場と機会を通して達成すべきものである。全教職員の一体となった協力指導体制はもとより、家庭、PTA、地域、関係諸機関などにより密な連携を図るべく積極的に取り組み推進する。

以上、教育重点目標「進んでやる子ども」は、年度末学校評価においてもその中心的な観点として機能させ、達成を図る方針である。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- 進んで考え、やりとげる自主的な学習態度を育てる。
- ひとりひとりの能力に応じた指導法を工夫し、基礎的な学力の向上をはかる。

イ 道徳

- 思いやりの心を持ち、進んで友だちを大切にする態度を育てる。
- 進んで考え行動する積極的な態度、物事を最後までやりとげる意志の強さを身につける。

ウ 特別活動

- 学級、学校の一員としての役割や責任を自覚し、進んで働く実践的な態度を育てる。
- 自分の特性を知り、発揮し、伸ばそうとする向上意欲を育てる。

(2) その他の活動

学校生活に変化を与え、ひとりひとりの児童の個性を伸ばし、学校生活に喜びと充実感を持たせる指導を工夫する。

(3) 生活指導・進路指導

- 公共心を持ち、みんなのために進んで貢献しようとする実践的な態度を育てる。
- 集団の一員としての自覚を持ち、規律ある生活を確立し、将来に向かって目標を持ち、意欲的に学校生活が送れるようにする。

6. 本年度の研究主題

「楽しみながら運動量をふやす指導法の工夫」——体育科——

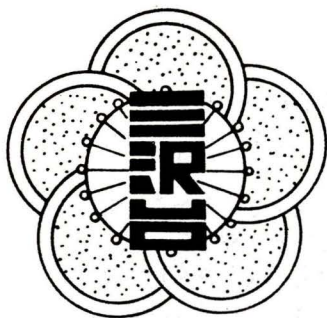
7. 本校の特色

開校10年目、「進んでやる子ども」の育成を目指し、教職員はもちろん、家庭との相互理解による連携の強化、PTA、地域との協力など密にし、教育を推進する。

- (1) 「進んでやる子ども」に向けて、目標の整合化
- (2) 学級、学年、各分掌など組織の一体化
- (3) 家庭との相互理解による連携の強化
- (4) 学校で指導することと家庭での役割を明確にした教育の推進

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研究員	研究生	道徳助言研
1		志村桂次（43 国語）	石川耀子（53 体育）	石川耀子（61）
2		上山美智子（43 保健）		
3		中尾公治（58 図工）		



学 校 名 日野市立三沢台小学校
所 在 地 日野市百草896-1
電 話 0425-93-2351~2
順 路 京王線百草園駅下車 徒歩15分
児 童 数 男226名 女209名 計435名

校長氏名 福 地 保 教頭氏名 平 山 毅

1. 沿革の概要

- 昭55. 4. 1 開校
日野第八小学校より分離
児童数 666 名 (男 319 名 女 347 名)、教職員 34 名で発足
4. 7 第 1 回入学式 111 名入学
6. 10 プール完成
8. 4 体育館完成
9. 1 校庭使用開始 (芝生、アンツーカーの運動場)
9. 10 市主催による落成式
- 昭56. 2. 10 校歌・校章発表会
開校記念日とする
3. 25 第 1 回卒業式
126 名卒業
4. 6 第 2 回入学式 114 名入学
学級数 18
9. 22 校庭改修工事完了 (ダスト舗装に)
- 昭57. 3. 25 第 2 回卒業式
125 名卒業
4. 6 第 3 回入学式 90 名入学
学級数 17
- 昭58. 3. 25 第 3 回卒業式
110 名卒業
4. 6 第 4 回入学式 66 名入学
学級数 16
- 昭59. 3. 24 第 4 回卒業式
110 名卒業
4. 6 第 5 回入学式 82 名入学
学級数 16
- 昭60. 3. 25 第 5 回卒業式 117 名卒業
- 昭60. 4. 6 第 6 回入学式
学級数 15

6. 28 音楽室冷房設備工事完了
- 昭61. 3. 25 第 6 回卒業式
131 名卒業
4. 7 第 7 回入学式 79 名入学
学級数 14
- 昭62. 3. 25 第 7 回卒業式
119 名卒業
4. 6 第 8 回入学式 60 名入学
学級数 13
- 昭63. 3. 25 第 8 回卒業式
104 名卒業
4. 6 第 9 回入学式 55 名入学
学級数 13

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
初代 深 尾 眞	昭55.2～昭59.3
二代 松日楽 敬治	昭59.4～昭62.3
三代 福 地 保	昭62.4～現在

3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂きを開発した住宅街 (西武・日本信販) の中心にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれているうえ、静かな住宅環境でおちついている。

4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基づき、地域・児童の実態をふまえ、調和のとれた人間形成をめざして行う。

- からだをきたえる子
- 最後までやりぬく子

- よく考えて行動する子
- みんなと仲よくする子

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

- 児童が主体的に学び、楽しさの中にも充実した学習ができるよう指導法のくふうに努める。
- 教材・教具の効果的な活用をはかり、学習効果の向上に努める。
- 指導計画、指導法の改善やくふうを重ね児童の発想を豊かにする授業を推進する。

イ. 道徳

教育活動全体を通して、道徳的心情を豊かにし、実践力を育てる。そのために、各教科、特別活動とのつながりを深めた指導の展開に努力する。

- 広い心をもち互いに助けあう。そして、実践力にたけた子を育てる。
- 望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ. 特別活動

児童の主体的な活動を重んじ、個性や能力の発見と育成に努めると共に、児童相互の交流を深め、協力して働き、よい校風づくりに励む態度と実践力を育成する。

(2) その他の活動

- 新興住宅地と古い集落とを合わせもつ本校では、教育活動にいっそうの創意とくふうを生かし、児童相互の連帯意識と地域社会を大切にする心と実践力の高揚をはかる。
- 遊びの指導を通し、児童相互、児童、教師の交流をさかんにする。
- 学年を越えた児童のふれあいの場を多くし、学校と地域とのつながりを深める。

(3) 生活指導・進路指導

- 楽しい学校生活を送れるように、全教育活動を通して、おもいやりの心を育てる。
- 集団活動を通して、児童の各々が自己の役割を果たし、自己の長所を知り、より高く向上しようとする指導を推進する。
- 集団としての規律を理解させ、基本的生活習慣の徹底を図る。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導・非行防止の手だてに万全を期す。
- 児童ひとりひとりを正しく理解し、個別指導の徹底を図り、生涯学習を指向する基礎づくりをめざす。
- 各教科・道徳との関連を密にして、職業に対する正しい理解と判断を育て働くことの大切さを体得させる。

6. 本年度の研究主題

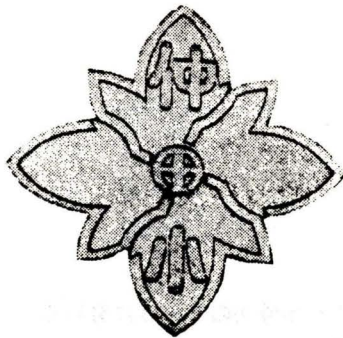
「自ら学ぶ力を育てるための手だての工夫」

7. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりをめざす。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き学ぶ教職員の後姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員	道 徳 助 言 研
1		福 地 保（49 教育経営）	平 山 毅（58）
2		平 山 毅（48 道徳）	川 田 浩 子（62）
3		斎 藤 正 子（63 書写）	



学 校 名 日野市立仲田小学校
所 在 地 日野市日野本町6丁目1の74
電 話 0425-81-8511・8512
順 路 中央線日野駅下車 徒歩10分
児 童 数 男159名 女175名 計334名

校長氏名 岩 下 和 夫 教頭氏名 小 林 繁 人

1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収民有地に新設された学校である。

- 昭 58. 3. 30 仲田小学校新設の為の市条例
一部改正を市議会が可決
6. 22 現在地に建設着工
昭 59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任
4. 1 開校
4. 6 第1回入学式
5. 23 校庭・プール竣工
7. 31 体育館竣工
10. 12 市主催落成式举行
11. 12 校歌・校章披露式举行
昭 60. 3. 25 第1回卒業式
4. 6 第2回入学式
昭 61. 3. 25 第2回卒業式
4. 7 第3回入学式
昭 62. 3. 25 第3回卒業式
4. 1 2代校長 岩下和夫就任
4. 6 第4回入学式
昭 63. 3. 25 第4回卒業式
4. 6 第5回入学式

2. 歴代校長

氏 名	就 任 期 間
山口 武彦	昭 59. 2. 1 ~ 62. 3. 31
岩下 和夫	昭 62. 4. 1 ~ 現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道（国道20号線）、西に JR 中央線北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿として栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋めたて宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々、比較的新しく移住してきた人々とが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場（日野第一桑園）跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川都いう自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる知、徳、体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざし、次のように教育目標を設定する。

- すすんで 学ぶ子
自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる力を養う。
- からだを きたえる子
生涯にわたってたくましく生きるためのすこやかな体を育てる。
- おもいやりの ある子
自己を抑制しつつ、他者を尊重し、好ましい人間関係を築く。
- さいごまで やりぬく子

困難に立ち向かい、障害を乗り越えて自己実現を図るための基礎を培う。

※昭和63年度は、教育目標を改善するための検討期間とする。

5. 指導の重点

ア 教科

- 各教科の特性を踏まえ、個性に応じた指導を工夫し、学ぶ喜びの味わえる授業を展開する。
- たくましく生きる人間の育成をめざし、体力の向上・健康の増進に視点をあてた体育指導の充実につとめる。

イ 道徳

- 人の命の尊さに目を向けさせ、あらゆる場面で生きることの大切さを知り、行動できるようにする。
- 社会の一員としての自覚を持たせ、相手の立場を思いやる心情を育てる。

ウ 特別活動

- 健康・安全や給食等に関する事項を重視した学級指導を充実する。
- 日常の学習を総合的に発展させた秩序と変化のある学校行事を行う。

エ その他の活動

- ゆとりの時間を確保し、個別指導や補充指導、及び相互交流を図る集団活動の場として、人間関係を深める。
- 児童と教師が一体となって、学習環境をより美しく、より豊かにしていく。
- 児童自らが進んで、健康づくりに取り組み、健康増進と生命の安全を守る能力と態度を養う。

オ 生活指導

- 一人一人の児童理解に力を注ぎ、カウンセリング・マインドに徹した個別指導を行う。
- 家庭との連携を深め、基本的生活習慣の定着につとめる。

6. 本年度の研究課題

「楽しく運動にとりくみ、たくましく生きる児童の育成」

- 体力づくりをめざして、給食・保健・体育等の授業研究を実施する。
- 実技指導の研修を行う。

7. 本校の特色

新設校として開校し、五年目を迎えた。今年は「教育内容の充実」をめざし、

- (1) 児童が明るく楽しい生活が過せるように学級経営を充実させる。
- (2) 児童と保護者の信頼を高める。

そのために、一人一人の児童にわかる喜びを味わわせる研修の実践や、わけへだてなく公平に明るく接することや、情熱を傾け全力を尽くすことなどに努める。

- (3) 地域や家庭との相互理解を深め、一致協力して共通実践する。

等に努力する。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研究員	研究生	No.	内訳	研究員
1		岩下和夫 (49体育)		4		佐藤典子 (61学養職員)
2		小林繁人 (53課題)	小林繁人 (44経営)	5		品田敏男 (63社会)
3		雨宮 充 (61道徳)				



学 校 名 日野市立日野第一中学校
所 在 地 日野市日野本町7-7-7
電 話 0425-81-0009 (代)
順 路 J R 日野駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男435名 女371名 計806名

校長氏名 高 橋 豊 彦

教頭氏名 古 屋 登 吾

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 30 公立中学校として設置許可、
日野中学校と称する。
- 昭24. 4. 1 校歌制定
- 昭29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
- 昭37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成
- 昭38. 9. 9 プール落成
- 昭39. 5. 1 特別教室落成
- 昭42. 11. 4 20周年記念式典挙行
- 昭48. 3. 10 校舎増築（普2、特別2）
- 昭51. 3. 9 校舎増築（普3、教材室1、
生徒相談室2）
- 昭52. 11. 4 30周年記念、校歌刻字の記念
碑建立記念誌発行
- 昭55. 4. 1 大坂上中の新設に伴い学区縮
小
- 昭58. 8. 31 窓枠改修
- 昭59. 3. 31 給食棟増築（食堂1、特別2）
- 昭59. 6. 4 学校給食開始（一年生は食堂
方式）

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
町 田 勘之助	昭22. 4～25. 9
飯 塚 節 三	昭25. 10～37. 3
大 沢 彰	昭37. 4～40. 3
大 沢 量 作	昭40. 4～45. 3
安 部 達 郎	昭45. 4～49. 3
東 恭 朝	昭49. 4～53. 3
松 延 耕 作	昭53. 4～57. 3
小 林 節 夫	昭57. 4～59. 3
奥 村 節 生	昭59. 4～63. 3
高 橋 豊 彦	昭63. 4～現在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第
四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が
発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えて
きた。

近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に
中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業
も見られる。

4. 教育目標

- 1 よく考え やりぬく人
- 2 協力し 全体につくす人
- 3 心豊かで 思いやりのある人
- 4 進んで 心身をきたえる人

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

学習意欲を高め、基礎学力の充実を図る。

- 発表の場や表現の機会を多くする。
- 学習の計画を立てさせ、予習・復習の習
慣をつける。
- よく考える態度を養い、学力の伸長を図
る。指導内容の精選、指導方法の改善に
努める。

イ. 道 徳

実践活動を通して道徳的心情を高める。

- 一人一人を尊重する態度を養う。
- きまりを守り、行動する態度を養う。
- 感謝の気持ち育てる。
- 身のまわりをきれいにし、物を大切に
する心と実行力を育てる。

ウ. 特別活動

教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを大切に指導する。

- 生徒自身に深く考えさせ、自主的実践的な活動を伸ばす。
- 集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め協力する態度を育てる。
- 図書館教育、給食指導の充実と発展を図る。

(2) その他の活動

ゆとりあるしかも充実した学校生活の実現をめざす。

- 学校行事への取りくみを通して、生徒の自主活動を推進させる。
- 個別指導を実施し基礎学力の充実に努める。

地域社会との連携を密にし、生徒の健全育成と郷土愛の育成に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

教師の共通理解を深め、全員一致して指導にあたる。

- 基本的生活習慣を身につけさせる。
- 勤労意欲を向上させ、学習環境の美化に努めさせる。

イ. 進路指導

個々の生徒の能力・適性の把握に努め、自ら進んで進路を選択する態度と能力を育てる。

6. 本年度の研究主題

(1) 学年・学級経営の充実

(2) どの子にもわかる授業

7. 本校の特色

教育目標の具体化の一つとして、次の3点に特に意を用いている。

- (1) 基礎学力の向上をめざす指導法の工夫を通して、生徒の学習意欲を高め、またよく考え、やりぬく態度を養うため、他校の参観や、ゆとりの時間の活用等、校内での授業研究を基に、資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室、廊下などの掲示指導に意を用い、また校舎内外の美化のために、清掃に意を用い実施している。登下校時刻の厳守には教師、生徒会が一体となつてつとめている。
- (3) パーソナルコンピューターを活用し、教科の学習プログラム成績の処理、学級編成、生徒名簿・地区名簿の作成、各文書の作成等に活用する。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	研 究 生	開 発 委 員	現 代 化
1	高橋 豊彦 (47保体)		佐藤 至正 (60技)	
2	古屋 登吾 (44保体)			
3	石堂 正行 (61特活)			
4	田中 伸佳 (62特活)			
5				
6				



学 校 名 日野市立日野第二中学校
所 在 地 日野市多摩平4丁目5の2
電 話 0425-81-0056・0262
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男 443名 女 421名 計 864名

校長氏名 大 野 隆 久

教頭氏名 北 原 景 昭

1. 沿革の概要

昭29年度 設立認可、開校式、入学式
(生徒200名)
第二期工事八教室増築落成
昭31年度 第三期工事竣工落成
昭32年度 第1回卒業式(卒業生204名)
昭33年度 校旗・校歌制定
昭34年度 産業教育研究校に指定される
昭35年度 特別教室(工作、調理、理科)
竣工落成
昭36年度 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行
研究発表会
昭37年度 プール竣工落成
昭38年度 保健体育研究発表会
昭39年度 普通教室3教室竣工、創立10周
年記念式典挙行
昭40年度 体育館竣工
昭41年度 防音校舎第一期工事完成(6教
室)
昭42年度 防音校舎第二期工事完成(18教
室)、プール用更衣室工事完成
昭43年度 南校舎前、境裁花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭44年度～ プレハブ教室使用
昭47年度
昭48年度 四中新設のため34学級より25学
級に縮小
創立20周年記念式典挙行
昭49年度 南校舎3階塗装。技術科教室及
同準備室改造整備。中庭・他整
備

昭50年度 南校舎6教室増設、南校舎2階
塗装
昭51年度 理科室、家庭科調理室、机、床
整備
昭52年度 体育館照明工事、暗幕完成
校舎電気配線整備
昭55年度 大坂上中新設のため26学級より
20学級に縮小
第二技術室の新設
昭56年度 北校舎内部塗装工事、校長室・
事務室の床張替え工事
昭57年度 南校舎窓枠改修工事。プールサ
イド改修工事。体育館床塗装工事
昭59年度 創立30周年記念式典挙行
昭60年度 給食棟建設工事着工
昭62年度 給食始まる
南校舎内部塗装工事

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
橋 本 貴 一	昭29. 3. 31～30. 9. 31
増 山 恒	昭30. 10. 1～41. 3. 31
飯 田 栄 一	昭41. 4. 1～46. 3. 31
河 村 俊一郎	昭46. 4. 1～48. 3. 31
飯 田 卯 吉	昭48. 4. 1～51. 3. 31
小 林 政之助	昭51. 4. 1～55. 3. 31
渡 辺 吉 彦	昭55. 4. 1～59. 3. 31
小 林 節 夫	昭59. 4. 1～63. 3. 31
大 野 隆 久	昭63. 4. 1～現在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社を中心としたサラリーマンの住宅地として発展したベッドタウンの中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊重し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

5. 本年度指導の重点

ア. 各教科

- 生徒ひとりひとりの能力適性の伸長を図り、自ら学びとる態度・意欲を育成し、基礎学力の充実をはかる。

イ. 生活指導

- 徹底した生徒理解に立ち、組織的指導をもとに、基本的生活習慣の確立を図る。

ウ. 進路指導

- 系統的指導計画の実践を通じて自己を理解させ、正しい職業観を養い将来の進路を選択する能力を育成する。

6. 本年度の研究主題

- お互いを高めあう学級会活動の工夫
- 副題 わがまま、甘えの克服

7. 本校の特色

北に日野市最大の中央公園に接し、多摩平団地のほぼ中央に位置し、けやき、白かし、くぬぎ、こなら、赤松、ゆりの木等々の木々に囲まれ、自然環境は良好である。広い校庭は桜に囲まれ、体育系のクラブ活動は活発で優秀な成績を上げている。都の愛鳥モデル校にも指定されており、生徒も自ら小鳥・小動物の飼育を行い、情操面の高揚も見られる。青桐祭（運動会・文化祭）も12年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会、合唱祭は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員	現 代 化 委 員	研 究 生
1		富 士 堯 (41特活)	池 田 友 彦 (43英語)	
2		永 谷 豊 (45教育方法)		
3		永 谷 豊 (52特活)		



学 校 名 日野市立七生中学校

所 在 地 日野市南平 6-7-1

電 話 0425-91-0174・0175

順 路 南平駅(京王線) 下車徒歩7分

豊田駅(J R) 下車徒歩17分

生 徒 数 男353(4・1) 女370(2・0) 計723(5・2)

() 内は心障・訪問学級の生徒外数、合計730

校長氏名 川 崎 昭 三

教頭氏名 野 澤 昭 兆

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置
5. 15 七生村役場を仮校舎として開校式挙行2部授業で発足
- 昭23. 2. 15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定地鎮祭を挙行
9. 4 新校舎完成、当日より授業開始
- 昭32. 12. 1 P T A結成第1回総会を挙行創立十周年の記念授業典及び校歌制定の発表を挙行
- 昭33. 2. 1 日野町立七生中学校と校名変更
- 昭37. 7. 31 プール開きを挙行
- 昭37. ~ 39 鉄筋3階3教室・6教室完成
- 昭41. 7. 1 体育館落成
- 昭42. 11. 33 創立二十周年記念式典挙行
- 昭45. 3. 31 鉄筋防音校舎九教室完成
- 4 ~ 9 七生中学校に三中分校設置
- 昭46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成
8. 24 プール浄化装置・更衣室完成
- 昭47. 3. 20 観察用水槽完成
5. 22 訪問学級開級式
- 昭50. 5. 22 南校舎西側(4階)増築工事完成 訪問学級教室完成
7. 1 地番変更日野市南平6-7-1
- 昭52. 11. 3 創立三十周年を祝う会挙行
- 昭54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了
- 昭57. 3. 31 社教による夜間照明工事完了
- 昭58. 4. 1 心障学級開設(2教室改造)
5. 心障特別教室完成

- 昭59. 5. 校庭南フェンス改修(歩道完成)
- 昭59. 8. 全教室窓枠アルミサッシに交換・外装吹付け工事实施
- 昭60. 3. 廊下塗装工事实施
5. 給食棟(厨房・食堂)完成
- 昭61. 3. 校庭南フェンス(高)延長
- 昭62. 9. 12 創立四十周年記念式典・祝賀会を挙行

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
飯 塚 節 三	昭22. 4. ~昭25. 9
増 山 悟	昭25. 10 ~昭30. 10
飯 島 一 吉	昭30. 10 ~昭37. 3
木 村 功	昭37. 4 ~昭40. 3
芳 西 幸 三	昭40. 4 ~昭44. 3
羽 崎 一 男	昭44. 4 ~昭47. 3
高 橋 太 一	昭47. 4 ~昭51. 3
吉 岡 孝二郎	昭51. 4 ~昭55. 3
山 本 保	昭55. 4 ~昭61. 3
川 崎 昭 三	昭61. 4 ~現在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩7分、中央線豊田駅より南へ17分、浅川にそう静かな位置にある。学区域は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に住宅が増えてきた。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区近くには、高幡不動、また多摩動物公

園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

基本的人権を尊重し、平和で民主的な人間を育成するために、つぎのことを目標とする。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- ・自ら学び、考え、行動しよう。
- ・責任と思いやりの心をもとう。
- ・健全な心とからだをつくろう。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 人権を尊重し、実践活動を通して生徒の個性の伸長をはかり、人間性豊かな生徒を育成する。
- 基礎的・基本的内容を身につけさせるため、日常の継続的研究をすすめる。
- より効果的に教育活動を進めるため、教師と生徒の心のふれ合いを深めるとともに、教育環境の整備向上に努める。
- 障害児に対する理解を深めるため、心障・訪問学級との交流をはかる。
- 全職員の共通理解を深め、あわせて父母との連携を密にする。

★心障学級・訪問学級の方針★

- ・情緒豊かで、健康な身体を育てる。
- ・一人ひとりの発達段階に応じて、言語（表現活動）認識を豊かに育てる。
- ・生活に必要な技能や、自分から進んで行動できる力を育てる。
- ・お互いの個性をだいじにし、助け合って働ける人を育てる。
- ・親密な人間関係を通じて、生徒一人ひとりの健全な成長と民主的人格の発達をはかる。
- ・力を合わせ、きょう一日きてよかったと思える学級にする。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 基礎的・基本的事項の指導の徹底と、応用力の向上をはかる。

イ. 道徳

- 健康で明るく、互いに協力する態度を養う。
- 物事を正しく理解し、判断して、建設的に実践していく態度を養う。

ウ. 特別活動

- 生徒の自主活動を高め、規律正しい学校生活を通して、心身ともに調和のとれた生徒を育成する。

(2) その他の活動

- 集団生活をとおして、互いに協力する態度を育成する。
- 生徒理解を深め、個性の伸長をはかるとともに、生活意欲の向上に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 諸活動を通じ、生徒の自主性と自治能力の向上に努める。
- 基本的生活習慣の指導を通し、中学生としての生活態度を養う。

イ. 進路指導

- 自己理解を深め、自分の特性にあった進路を選択するとともに、自ら向上しようとする態度を養う。

6. 本年度の研究主題

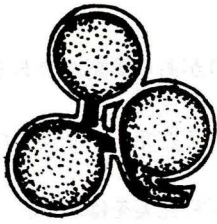
基礎学力の定着をめざす指導

7. 本校の特色

- 生徒は明るく、素直であり、父母も教育熱心である。P T A 活動も伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。
- 研修会や授業研究等を通して、基礎学力の定着、授業の充実を図っている。
- 生徒の自主活動が盛んで、合唱コンクール、三年生を送る会等の行事が、例年、活発に行われている。

8. その他（教職員の研究歴）

No. 内訳	研 究 員	現代化委員	開 発 委 員	研 究 生	道徳助言研
1	川崎 昭三 (40・理科)	野澤 昭兆 (51・国語)	柳沢 美澄 (56・英語)	野澤 昭兆 (49・国語)	野澤 昭兆 (61)
2	野澤 昭兆 (53・国語)		瀬川 昭英 (63・国語)	大谷 良光 (61・技術)	
3	柳沢 美澄 (55・英語)				
4	大谷 良光 (59・技術)				
5	管野 剛 (63・教育課題)				



学 校 名 日野市立日野第三中学校
所 在 地 日野市程久保650番地
電 話 0425-91-2228 (代)
順 路 京王線高幡不動下車 百草団地行バスで
高幡台団地下車 徒歩7分
生 徒 数 男491名 女443名 計 934名

校長氏名 清 水 春 海

教頭氏名 村 田 志 信

1. 沿革の概要

- 昭45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三
中分校として、七生中学校内
で授業開始。生徒数26名、教
職員数12名
- 昭45. 10. 1 日野市立日野第三中学校開校
七生中学校内で授業。生徒数
44名、教職員14名。百草、高
幡の両団地を学区にする。
- 昭46. 3. 27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区変更、程久保地区の全
部、三沢地区上、中を加える。
7. 1 学区変更、西部百草団地を
加える。
10. 2 開校式を挙行 10月2日を開
校記念日とする。校章・校歌
を発表
- 昭48. 1. 31 体育館工事竣工
- 昭50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭55. 10. 5 創立十周年記念式典
- 昭59. 4. 1 学区変更、西部百草園住宅
および日本信販西部百草園住
宅地域を除外、三沢中学校区
に移す。
- 昭59. 9. 1 第四期特別教室増築竣工 プ
ール管理棟竣工
- 昭62. 3. 31 プール改修工事竣工

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
橋 本 敏 一	昭45. 9～48. 3
松 延 耕 作	昭48. 4～53. 3
田 中 引 明	昭53. 4～56. 3
長 岡 宗 次	昭56. 4～59. 3
千 葉 廣 志	昭59. 4～63. 3
清 水 春 海	昭63. 4～現在

3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。
学区は住宅公団の高幡・百草の両団地、民
間分譲の三井、電建の諸団地及び在来の程久
保、三沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川が流れ、その北に起
状に富み緑豊かな武蔵野台地を一望すること
ができ、西方遥か富士の秀峰も眺められる。
学区内には都立多摩動物公園、明星大学があ
り、付近には百草園、東電学園、帝京大学、
中央大学などがあって、文教地区を形成して
いる。

4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人とな
る。

- ① 基礎学力を充実し、文化を創造する人となろう。
- ② 豊かな心を養い、力を合わせて進もう。
- ③ 若い人らしい気力、体力を養おう。

5. 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育目標を学年・学級に具体化して経営の充実をはかり、思いやりがあり協調性のある、人格の形成をめざす。
- ② 指導方法の改善、工夫、基礎、基本の重視をととして生徒の自主性を啓発し、充実した学校生活をおくらせる。
- ③ 生徒の自主的、自律的活動を促すため、生徒活動・クラブ活動の経営充実をはかる。

6. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

教材を精選するとともに、ゆとりのある学習をととし、自主学習を促進し、学習の効率化をはかる。

イ 道徳

他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに、責任ある行動ができるように、指導内容をくふうする。

ウ 特別活動

- ① 小集団を基礎に、個人の自発性をうながし、学級集団の質を高める。
 - ② 学級・学年の活動を母体として、生徒会活動の充実をはかる。
- (2) その他の活動
- ① 教育目標の具体化をめざして、生徒ひとりひとりの指導にあたるとともに、国際社会の一員として、思いやりの精神を養う。
 - ② 諸行事において、計画の段階から生徒の参加場面を設定し、自主・自律的な活動ができるように指導する。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織をととしての自律ある生活態度を身につけさせる。
- ② 問題行動に対しては、全職員の共通理解にもとづき、一致した指導の徹底をめざす。

イ 進路指導

教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的、個別的指導の徹底をめざす。

7. 本年度の研究課題

ア. 主題「個性・創造性・自主性を高める指導法の工夫」

イ. 研究内容

- ① 「学級活動に支えられた生徒会活動のあり方」についての実践事例研究。
- ② 授業研究

8. 本校の特色

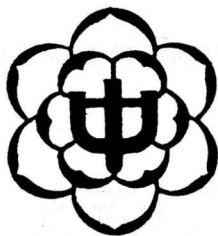
- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校18年目で、市内で最大の学級数（22）、学区内の小学校は、潤徳小、高幡台小、程久保小の4校ある。
- 開校以来、「自ら判断し、責任を持って実行する人となる」の教育目標の具体化をめざし、

全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成に努めている。

- 団地、分譲地を主体とした地域で、保護者の約3分の1が技術的、管理的な職業に従事し、子弟の教育に寄せる関心は大変高い。

8. その他（その他教職員の研究歴）

	中央研・海外派遣	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	樋口 恢武 (55海)	福田 慶罔 (42英)	橘 陽臣 (57体)	樋口 恢武 (54社)
2		大宅 寛 (42音)	鈴木 渉 (59音)	
3		村田 志信 (44音)	高見登志子 (61家)	
4		飯島 利三 (47技)		
5		高野 徐一 (51美)		
6		樋口 恢武 (53社)		
7		乙黒 義夫 (57国)		
8		松沢 茂久 (59特)		
9		飯島 利三 (60課)		
10		乙黒 義夫 (62書)		



学 校 名 日野市立日野第四中学校
 所 在 地 日野市旭が丘 2-42
 電 話 0 4 2 5 - 8 3 - 3 9 0 5 ・ 3 9 0 6
 順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
 バス（長房団地行、都立工科短大下車 5 分）
 生 徒 数 男484名 女403名 計887名 21学級

校長氏名 桑 原 和 正

教頭氏名 會 田 武 夫

1. 沿革の概要

- 昭 47. 8. 21 四中校舎起工式（工事費19億
 円 施工小田急建設）
 昭 48. 1. 18 屋内体育館着工
 4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教
 員24名発令 開校
 7. 2 屋内体育館完成 使用開始
 （工費約 4 千 6 百万円 施工
 小田急建設）
 7. 18 本校シンボル「泰山木」決定
 8. 7 プール完成（工費 2,700 万円）
 10. 13 校歌作詞完成
 10. 16 校章決定
 教育目標設定
 11. 10 校歌作曲完成（寺原伸夫）
 11. 16 校旗完成
 11. 17 落成式挙行
 11. 22 第一回開校記念日
 昭 49. 2. 2 標準服制定
 5. 30 保健室冷房装置取付
 7. 1 増築工事開始
 7. 3 保健室 空気清浄装置取付
 9. 6 駐車場舗装
 10. 19 玄関コンクリート舗装
 昭 50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
 3. 8 増築完成（校舎 3 スパン体育
 倉庫、校庭砂場、物置き機械
 室）工費約 1.6 億円 施工小
 田急建設
 4. 26 テニスコート完成
 校庭の校舎側 U 字溝設置
 昭 51. 1. 16 図書館開館

- 昭 51. 12. 22 玄関前アスファルト舗装
 昭 52. 4. 1 二代校長 山口幸雄発令
 9. 13 第三期工事開始（東端 3 スパ
 ン美術室を理科室に改造）工
 事費 9500 万円 施工 小田急
 建設 年度末完成
 昭 53. 3. 28 校庭防球フェンス設置
 昭 54. 5. 15 校庭東側防球フェンス設置
 昭 55. 1. 8 仮称第八中学校準備委員会発
 足
 6. 26 校庭南側防球フェンス設置
 昭 56. 4. 1 三代校長 花牟礼哲発令
 昭 58. 4. 10 学校警備機械化に変更
 11. 21 創立十周年記念式典校歌碑建
 立
 昭 59. 1. 10 配膳室アスファルト舗装
 8. 1 体育館床の研磨
 昭 60. 4. 1 四代校長 立川泰司発令
 昭 62. 1. 17 給食棟建設工事着工
 9. 30 給食棟及び関連改修工事完了
 昭 63. 4. 1 五代校長 桑原和正着任
 5. 16 給食開始

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
河 村 俊一郎	昭 48. 4. 1 ～ 52. 3. 31
山 口 幸 雄	昭 52. 4. 1 ～ 56. 3. 31
花牟礼 哲	昭 56. 4. 1 ～ 60. 3. 31
立 川 泰 司	昭 60. 4. 1 ～ 63. 3. 31
桑 原 和 正	昭 63. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的には北半の洪積台地（日野台）と南半の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく昭和12年、小西六写真工業（株）（六桜社）、昭和18年富士電機製造（株）の進出まで、ほとんど見るべきものはなかった。

しかし、戦後にここにも都市化の波が押しよせ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに、人口は急増しはじめた。平山工業団地・JR豊田電車区、多数の住宅、アパートなど、畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年ぐらいで、いちじるしく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

平和で民主的な国家、社会の形成者として、世界にひらかれた日本人の育成をめざし、つぎの目標を定めます。

- 1 進んで学習し、向上する人
- 2 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
- 3 進んで心身を鍛え、やりぬく人

○学校の教育目標を達成するための基本方針

- 1 年間の授業時数を確保し、生徒の思考過程を重視した授業をすすめる。
- 2 生徒の自主的実践的活動を重視した行事の実施、及び学年・学級経営を図る。
- 3 家庭の理解と協力をえて、ともに人間性豊かな生徒の育成につとめる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

1. 生徒の活動を生かす指導につとめ、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
2. 教材の精選につとめ、基礎学力の充実を図る。

イ. 道徳

1. お互いの人権を尊重し、思いやりの心を養う。
2. 物を大切にすることを育てる。
3. よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

ウ. 特別活動

1. 教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを深める。
2. 集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい集団生活を営むようにする。

(2) その他の活動

充実した中学校生活を送るために

1. 学校行事への取り組みを通して、自主的・実践的活動を重視する。
2. 教師と生徒のふれあいを重視し、生徒一人ひとりの学習や生活の悩みの解決を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

1. 自主的に規律正しい生活習慣を身につけると共に、個人の責任を自覚させる。
2. 勤労意欲を向上させ、教育環境の整備・美化に努めさせる。
3. 心身の健康安全に対する意識を高め、事故防止に努めさせる。
4. 集団生活の意義や個人の果たす役割を理解し、集団の質を高める態度を養う。

イ. 進路指導

系統的な指導に努め、自己理解・情報の分析を通し、将来の進路を選択する能力と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

生徒の学習（教科・行事など）意欲を高めるために、どう指導の手立てを考えるか。

7. 本校の特色

(1) 教育活動

各領域の調和に心掛けつつ、校風を発展させる意気に燃えている。

ア. 授業 校内研究を深め、1時間1時間を大切に。授業打ち切りをさけ、まじめな学習態度を育てる。

イ. 特別活動 学級活動・生徒会活動・クラブ活動と学校行事の調和をめざし、時間を厳守して活動し、自発・自律心を育てると共に感動する体験を多くするように努める。

(2) 授業研究の推進

市の学校教育の指導目標にのっとり、授業研究の推進に努める。

(3) 父母との連携

学校通信（学校のような、生徒の創作）を家庭に配布し、学年・学級通信と合わせて共通理解・共通指導に努める。

(4) 美化緑化の推進

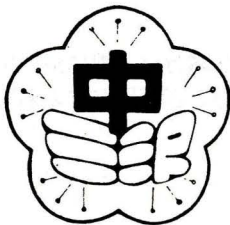
校樹（泰山木）を育て、緑多く美しい学園の環境整備に努める。

(5) 勤労体験学習の推進

学校行事を通して、特に、全校清掃の日々の実践から、自ら気づき・考え・実行する力を育てる。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	研 究 員	開発委員・現代化委員	研 究 生
1	桑原 和正 46年教育方法	桑原 和正 52年 道徳	
2	桑原 和正 48年 社会	會田 武夫 50年 保体	
3	會田 武夫 48年 保体	高橋 清子 57年 家庭	
4	高橋 清子 61年 家庭		
5	原田 憲一 62年 技術		
6	吉田 俊明 63年教育課題		
7	40年 生指		



学 校 名 日野市立三沢中学校

所 在 地 日野市三沢25番地

電 話 0 4 2 5 - 9 2 - 5 0 1 7 ・ 5 0 1 8

順 路 京王線百草園より西へ徒歩10分

高幡不動駅より東へ徒歩12分

生 徒 数 男486名 女443名 計929名

校長氏名 綿 引 正 己

教頭氏名 塙 健 郎

1. 沿革の概要

- 昭 51. 9. 18 仮称 5 中学校校舎起工式
昭 52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令
4. 1 日野市立三沢中学校開校 教
頭以下教職員22名発令
4. 6 始業式（2年156名、3年147
名）
4. 7 第1回入学式（1年188名、
全校生徒491名）
9. 16 第1回開校記念日
昭 53. 3. 22 第1回卒業式（男80名女66名）
4. 7 第2回入学式（男109名女85名）
昭 54. 3. 19 第2回卒業式（男75名女88名）
4. 7 第3回入学式（男111名女91名）
昭 55. 3. 18 第3回卒業式（男93名女91名）
4. 8 第4回入学式
（男107名 女105名）
昭 56. 3. 20 第4回卒業式（男105名女86名）
4. 6 第5回入学式（男131名女94名）
昭 57. 3. 19 第5回卒業式（男108名女95名）
4. 1 二代校長 降簇経雄発令
4. 7 第6回入学式
（男137名 女108名）
昭 58. 3. 19 第6回卒業式
（男110名 女108名）
4. 7 第7回入学式
（男107名 女122名） 18
学級 教職員35名
昭 59. 3. 19 第7回卒業式（男130名女95名）
4. 1 校舎増築、給食室完成
4. 7 第8回入学式
（男174名 女161名）

- 昭 60. 3. 19 第8回卒業式
（男136名 女102名）
3. 31 西側第二グラウンド完成
4. 8 第9回入学式
（男171名 女153名）
昭 61. 3. 20 第9回卒業式
（男110名 女119名）
3. 31 前庭、中庭緑化完成
4. 8 第10回入学式
（男169名 女170名）
24学級 教職員55名
昭 62. 3. 20 第10回卒業式
（男174名 女169名）
4. 1 三代校長 綿引正己発令
4. 7 第11回入学式
（男173名 女142名）
23学級 教職員55名
11. 7 創立10周年記念式典
昭 63. 3. 18 第11回卒業式
（男175名 女164名）
4. 7 第12回入学式
（男142名 女129名）
23学級 教職員56名

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
古 川 豊	昭 52. 2. 1～57. 3. 31
降 簇 経 雄	昭 57. 4. 1～62. 3. 31
綿 引 正 己	昭 62. 4. 1～現在

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区域は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名勝がある。

4. 教育目標

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。
- 教育目標を達成するための基本方針
 - ① 授業を大切にし、教材研究ならびに授業研究にとりくみ、基礎的事項の定着を図る。
 - ② 学級・学年活動、学校行事等を通じて、生徒の存在感や成就感をうながす活動を展開する。
 - ③ 体位・体力の向上を図ると共に、生徒理解に立った心の指導をすすめる。
 - ④ 規律ある校風を築き、教育環境を整え、教職員は和をもってこれにあたる。

5. 本年度の指導の重点

- (1) 各教科
 - 基礎学力の充実のために教材を精選、系統化して学習の効率化をはかる。
 - 主体的かつ素直に学ぶ態度、習慣を身につけさせる。
 - 一人ひとりの学習者の立場に立った指導を工夫する。
- (2) 道 徳
 - 一人ひとりの人権を尊重する人間に育てる。
 - きまりを守り、集団や社会の一員として自覚し、行動する態度を伸ばす。
- (3) 特別活動
 - 自主性を育て、堅実な思考力と豊かな文化的創造性を育成するために、教師と生徒が一体となって、発表の場や機会を作る。
 - 生徒の自主性と仲間との協力や規律ある集団生活の習慣を養うため、クラブ活動を盛んに行う。
 - 生徒会活動の活発化により、生徒の自主的・自律的態度を育てる。
- (4) 生活指導
 - 立派な校風と伝統を築き上げるために
 - 規律ある集団づくりを進める。
 - 積極的に環境づくりに取り組む。
 - 善悪理非のけじめを自覚させ、実行させる。
- (5) 進路指導
 - 自己理解を深め、進路選択の能力を養うよう、学年に応じた系統的指導を実践する。
 - 学級指導における進路学習を位置づける。
- (6) その他の活動
 - 教育相談、学力補充を精力的にすすめる。
 - 中国引き揚げ子女に対して配慮をし、特に日本語の習熟をはかるように努める。
 - 国際理解教育の推進をはかる。

6. 本年度の研究主題

遅進生徒に対する有効な指導法のあり方を、実践を通して研究する。

7. 本校の特色

本校は開校以来11年が経過し、教職員の努力と地域、父母の協力により、学校の基礎が確立されたところである。施設の面では、この2、3年の間に校舎増築、給食施設の完成、第二グラウンドや前庭の完成など一段と充実をみた。

教職員は常に和の精神を堅持して、当面する多くの問題を解決し、教育内容の充実を図ってきた。特に、生徒一人一人の個性を伸ばし、能力を開発するために、厳しい中にも明るく伸びやかな雰囲気を大切にしている。その中で自から考えさせ、自主的な行動のとれる生徒の育成をめざしている。このことを可能にするため、授業研究、行事の充実、生活指導のための校内研修を重視している。生徒は素直であるが、目的意識が不十分であり、集中力に欠ける面がある。父母は教育熱心で協力的であり、父母と教師の会の活動も活発である。

本年度、国際理解教育の推進ならびに英語力の増進を目的に、外国人教師の導入を図った。

8. その他（教職員の研究歴）

中 央 研	教育研究員	開発委員等	道徳助言研
塙 健 郎 (56)	綿 引 正 己 (44. 教育方法)	綿 引 正 己 (51. 英語現代化)	綿 引 正 己 (57)
	西 村 美紗子 (44. 音)	熊 谷 静 一 (理 現代化)	中 根 勉 (62)
	角 田 宣 子 (50. 給食)	中 根 勉 (61. 社会開発)	
	広 瀬 昭 (52. 英)		
	中 根 勉 (56. 教育課題)		
	吉 池 美紀子 (62. 音)		



学 校 名 日野市立大坂上中学校
所 在 地 日野市大坂上4-17-1
電 話 0425-83-9755~6
順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
生 徒 数 男480(8) 女434(5) 計914(13)
() 内 心障学級生徒数

校長氏名 名 塚 三 雄

教頭氏名 小 高 辰 雄

1. 沿革の概要

- 昭55. 2. 1 初代 長谷川辰美校長着任
4. 1 日野市立大坂上中学校開校
教頭以下教職員 37名発令
4. 7 始業式(2年214名 3年235
名 心障15名)
4. 8 第1回入学式 男144名
女128名 心障2名
5. 15 校舎・校庭工事完成
6. 6 体育館工事完成
6. 28 プール工事完成
7. 12 落成式挙行
8. 11 生徒標準服・校章・校旗制定
11. 1 体育館 帳、暗幕工事完成
11. 8 校歌制定 校章、校旗、校歌
発表会挙行
昭56. 3. 9 第1回卒業式 男130名
女114名
4. 7 第2回入学式 男128名
女134名 心障12名
昭57. 3. 19 第2回卒業式 男112名
女110名
4. 7 第3回入学式 男123名
女102名 心障7名
昭58. 3. 9 第3回卒業式 男148名
女144名
3. 31 理科室、食堂、図書室、美術
室、普通教室4完成
4. 7 第4回入学式 男151名
女118名 心障5名
昭59. 3. 19 第4回卒業式 男142名
女143名

- 昭59. 4. 7 第5回入学式 男166名
女151名 心障6名
昭60. 3. 19 第5回卒業式 男127名
女130名 心障4名
4. 8 第6回入学式 男132名
女152名 心障4名
昭61. 3. 20 第6回卒業式 男150名
女120名 心障5名
4. 8 第7回入学式 男173名
女163名 心障5名
昭62. 3. 20 第7回卒業式 男166名
女154名 心障6名
4. 7 第8回入学式 男161名
女146名 心障3名
昭63. 3. 18 第8回卒業式 男131名
女154名 心障4名
4. 1 第2代 名塚三雄校長着任
4. 7 第9回入学式 男148名
女130名 心障4名

2. 歴代校長

代	氏 名	年月～年月
1	長谷川辰美	昭55. 2. 1～63. 3. 31
2	名塚 三雄	昭63. 4. 1～現在

3. 地域の環境

現在地は日野の発祥の地として知られてい
る。また、関東ローマ層の日野台地にあり、
昭和11年日野工場地帯の中に設立された神鋼
電気㈱のあと地に新設された中学校である。
学区内に日野自動車㈱をはじめ中小工場も

多く、また実践女子大学、日野台高校と隣接しており、教育環境は良好である。

近年、学区域は、住宅化が進んでいる。又、学区内に市役所もあり、朝の多摩川、夕の富士の眺めは、教育環境を特に引立てている。

4. 教育目標

進んで自己を開拓し向上しつづける人になろう。

- ① よく考え進んで学ぼう。（知性）
- ② 思いやりの心を持ち、他につくそう。（敬愛）
- ③ 心身を鍛え、全力でやりぬこう。（健全）

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

授業態勢の確立とわかる授業の工夫をすすめる

- ・基礎学力の充実をはかる
- ・生徒自ら学び考える態度を育てる

イ. 道 徳

正しい判断力と思いやりの心を培い、社会の一員としての自己のあるべき姿を求め、道徳的実践力の育成につとめる。

ウ. 特別活動

自主性を育て、主体的な実践活動を通して充実した学校生活を送らせる。

(2) その他の活動

- ・生徒会の諸活動の充実につとめる。
- ・教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係を育てよう学年・学級の諸活動の充実につとめる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・学級の小集団を基盤として学級・学年・全校集団の質を高める活動を推進する。
(生徒の組織的活動)
- ・生徒に責任の所在をわからせ、自分で解決していく力をつけさせる。
(生徒指導の内容)
- ・研修を深め、教師間の理解と連携を密にし、同一姿勢で指導にあたる。

イ. 進路指導

- ・生徒が自己の能力・適性を伸ばし、目的意識をもって将来の進路を選択できるよう、計画的に指導をすすめる。

6. 本年度の研究主題

- (1) 基礎学力の定着をはかるための指導
- (2) 生活指導の充実

7. 本校の特色

本校は一中と二中を母校とし、各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校9年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢30年を超える桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢100年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は非常に良い。日野台高校と隣接し、

生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

開校以来、地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の基礎固めに全校教職員が力を結集して努力してきた。教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、おちついた雰囲気のある学校となり、生徒が意欲的に活動する学校となった。58年度より学校給食が始まり 396 名入る食堂が完備し、各地よりの参観者がある。

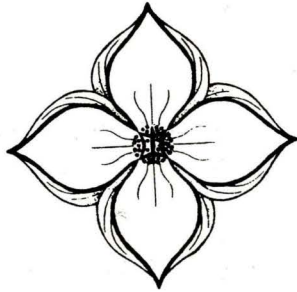
また、本校は心障学級設置校であり、交流学习等教育内容の充実に努めている。幸にして在学する生徒の一人一人が明るく生き生きとした姿で学んでいる。

63年度は ①研修会や授業研究を通じて指導技術を高め、授業の充実をはかり ②生徒会活動を重視し、計画的な指導により生徒の自浄能力と意識をさらに高め ③生活環境を全校あげて整備し、安全・清潔・静粛な学校の維持・向上につとめていく方針である。

以上のことを通じて教育目標に示された思いやりの心もち、他につくす心情を大切にする生徒の育成を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳	研 究 員	現代化委員	研 究 生	そ の 他
1		名 塚 三 雄 (43 特活)	小 高 辰 雄 (43 理科)		小 高 辰 雄 (56 道德助言)
2		小 高 辰 雄 (36 理科)		村 上 敏 雄 (51 音楽)	
3		宮 田 和 子 (37 学活)			
4		内 田 耕一郎 (41 特活)		丸 山 尚 夫 (52 数学)	村 上 敏 雄 (62開発委音楽)
5		六本木 茂 (45 社会)			
6		村 上 敏 雄 (47 音楽)			
7		田 熊 祐 (49 数学)			
8		加 藤 常 光 (49 進路)			木 嶋 健 (62開発委社会)
9		丸 山 尚 夫 (49 進路)			
10		鈴 木 良 身 (54教育課題)			



学 校 名 日野市立平山中学校
所 在 地 日野市平山4丁目21番地の3
電 話 0425-93-3015・3016
順 路 JR 豊田駅下車 徒歩18分
生 徒 数 男子406名・女子394名・計800名

校長氏名 高 木 宏 文

教頭氏名 佐 藤 英 洋

1. 沿革の概要

- 昭 55. 6. 14 校舎建設工事着工
8. 25 給食室建設工事着工
12. 15 プール建設工事着工
12. 16 体育館建設工事着工
昭 56. 2. 1 初代校長 河野寿忠着任
3. 26 校舎使用開始
4. 1 開校 乙戸教頭以下教諭29、
主査1、市職員11名着任
5. 11 アラームシステムによる自動
警備開始
5. 19 校庭造成工事終わる
5. 27 プール完成
7. 15 東テニスコート完成
8. 21 体育館完成
9. 21 西テニスコート完成
12. 25 校旗完成
昭 57. 1. 7 校歌完成
2. 6 校歌、校章発表会
3. 1 中国日本語教師団の来校
4. 11 学校スポーツ開始
4. 23 家庭教育学級開講
昭 58. 1. 24 平山中PTA規約成立
2. 8 体育館自動警備設備工事完了
4. 1 第二代校長 川崎昭三着任
昭 60. 11. 30 校庭南側防音工事完了
昭 61. 4. 1 第三代校長 高木宏文着任

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
河 野 寿 忠	昭 56. 2 ～ 58. 3
川 崎 昭 三	昭 58. 4 ～ 61. 3
高 木 宏 文	昭 61. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

多摩丘陵北麓にひらけた低地に学校がある。校舎南側にある校庭の目先きを京王線が走り、校舎北側は、堤防道路をへだてて、浅川の河川敷につながっている。緑豊かで自然環境には恵まれている。

学区域は、東西の最長部分が約2.3 km、南北が約1.5 kmにわたり、学校は学区域の最も北東部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴ない、ベッドタウンのたたずまいを濃くし、人口の急増が見られたが、生徒数は62年度を峠に漸減に向っている。父母の教育への関心度は極めて高い。

4. 教育目標

- 考え、工夫する人
(主体性のある人間の育成)
- 協力し、進んで働く人
(社会性のある人間の育成)
- 自然や人々を大切にする人
(人間性豊かな人間の育成)
- 心身を鍛え、やりぬく人
(健康な人間の育成)

5. 指導の重点

(1) 各教科

わかる授業、楽しい学習を展開するための工夫や努力をし、基礎学力の充実を図ることにより、生徒がゆとりをもった自主的学習態度を身につけられるようにする。

(2) 道徳

温かい人間を基盤として、他人を理解し、尊重する心情の育成を図る。

物事を自ら正しく考え、客観的・合理的な判断に基づいて、意欲をもって実践する能力・態度を養う。

社会の一員としての基本的な生活習慣、生活態度の育成を図る。

(3) 特別活動

生徒会活動、クラブ活動への参加の意欲を高め、これらの活動を通して、連帯の精神と責任感及び実践力を育成する。

学校行事への参加を拡充させることにより、奉仕や他人に対する思いやりの心情の育成を図り、物事を計画的・組織的に進める能力・態度を高める。

(4) 生活指導

望ましい習慣や生活態度を育てる日常の指導を徹底する。

指導体制を整え、全職員が一致して指導にあたる。

一人一人の生徒との心の交流を深めるとともに、集団活動による相互規制により、問題行動の予防に努める。問題傾向は早期発見に努め、家庭や学校はじめ関係諸機関との連絡を密にし、早期指導を実施して健全育成につとめる。

(5) 進路指導

3年間を見通した進路指導の計画をたて、各学年各生徒に応じて系統的な指導を実施する。

自己の特性を知り、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。

(6) その他の活動

学校行事及び学年の諸計画を自主的に取り組むよう指導を推進する。また生徒会活動をもり上げ、学校生活の向上を図る。

個人的な悩みや不安を解消し、意欲を高めるため、個人面談・進路相談をすすめる。さらに教科学習の質問教室、学力補充指導の実施に努める。

6. 本年度の研究主題

生徒をとりまく環境を整え、わかる授業を展開し、「意欲的・自主的学習態度」を育成する。

7. 本校の特色

開校8年目の学校である。生徒も教職員も「学校へ来るのが楽しい」といえる学校を目指して、下記事項に重点をおき、事に当たっている。

○生徒をとりまく環境を整え、活気に満ちた学校にする。

○「勉強しようとする意欲に満ちた生徒がいて」「生徒のために力一杯やろうとする先生がいる」学校にする。

8. 教職員の研究歴

No. 内訳	研究員	現代化	研究生	開発委員等
1	川 端 祐 輝 (38 保体)	三 富 恒 男 (49 理)	和 田 孝 (都研60特活)	和 田 孝 (62特活動)
2	阿 部 晃 一 (43 美)	高 木 宏 文 (51 特活)		
3	高 橋 雅 子 (43 国)	上 原 純 子 (52 国)		
4	高 木 宏 文 (46 技)			
5	三 浦 義 次 (46 技)			
6	三 富 恒 男 (48 理)			
7	和 田 孝 (58 特活)			
8	三 浦 賢 治 (59 数)			
9	遠 藤 弘 (63 特活)			

